

受クヘシ

第二條 繫船免狀ヲ受ントスル船舶ハ前條ノ願書ヲ差出ト同時ニ登簿噸數一噸ニ付金四錢ノ割合ヲ以テ繫船料ヲ納ムヘシ但シ一噸未滿ノ噸數ハ之ヲ除棄ス

第三條 繫船免狀交付ノ時ヨリ起算シ七十二時ヲ過キ尙繫留セントスル船舶ハ第二號書式ノ願書ニ繫船免狀ヲ添ヘ税關ニ差出シ更ニ免許ヲ受クヘシ

前項ノ免許ヲ受ントスル者ハ其超過時間二十四時毎ニ第二條ノ繫船料三分ノ一ヲ納ムヘシ但シ二十四時未滿ノ噸數ハ二十四時トシテ計算ス

第四條 繫船免狀ヲ受ケタル船舶ハ税關長指定ノ場所ニ繫留スヘシ

税關長ハ必要ニ由リ繫留ノ場所ヲ變更シ若クハ一時棧橋ヲ離レシムルコトアルヘシ

第五條 繫船免許ノ時限ヲ經過シタルトキハ直ニ棧橋ヲ離ルヘシ

第六條 税關長ハ必要ニ由リ既ニ交付シタル繫船免狀ヲ取消スコトアルヘシ

此場合ニ於テ繫船免許ノ時限ニ滿タサルトキハ既納ノ繫船料ヲ還付スヘシ

第七條 既納ノ繫船料ハ前條ノ場合ヲ除クノ外事故ノ如何ヲ問ハス之ヲ還付セス

第八條 棧橋ヨリ陸揚シ若シクハ船積スル貨物ハ税關所屬ノ貨車ヲ以テ運搬スヘシ

運搬ノ爲メ使用スル人夫ハ税關ノ認可ヲ受ケタル者ニ限ルヘシ

第九條 前條ノ貨車ヲ使用スル者ハ左ノ使用料ヲ納ムヘシ

貨車一輛十二時間ニ付 金貳拾錢

但十二時未滿ノ噸數ハ十二時トシテ計算ス

第十條 爆發質若クハ高度燃燒質ノ物品竝石炭荷足其他他物ヲ汚染スヘキ貨物ハ棧橋ヨリ陸揚シ若クハ船積スルコトヲ得ス

第十一條 棧橋繫留中ノ船舶若クハ棧橋ニ於テ瀝青、釜兒其他燃燒質ノ物品ヲ煖ムルコトヲ得ス

第十二條 繫船免狀ヲ受ケタル船舶此規則ニ違ヒ若クハ税關長ノ命令ニ違背スルトキハ税關長ハ棧橋ヨリ退去セシムルコトアルヘシ

第十三條 此規則第三條ノ時限ニハ第四條第二項ニ依リ棧橋ヲ離レタル時間及税關ノ休日ヲ算入セス税關ノ休日ト雖モ税關規則ニ依リ貨物積卸ノ特許ヲ得タル場合ハ之ヲ算入ス  
(第一號書式)

繫船願

- 一 船種 蒸汽(又ハ帆走)
- 一 船名 何々
- 一 長さ 何尺
- 一 吃水 何尺
- 一 積量 登簿噸數何噸
- 一 繫船料 金若干

右橫濱税關棧橋使用規則ニ依リ當棧橋ニ繫留致度候ニ付免狀御交付相成度此段相願候也

何々船長(又ハ船主)



年月日

氏

名印

橫濱稅關長氏名殿

(第二號書式)

繫船繼續願

一 船種 蒸汽 (又ハ帆走)

一 船名 何々

一 積量 登簿噸數何噸

一 繫船免狀交付日時 何日何時

一 繫船料 金若干 (當續ヲ要スル時間ニ相  
當スル金額ヲ記スヘシ)

右橫濱稅關棧橋使用規則第三條ニ依リ尙ホ何時間繫留御免許相成度繫船免狀相添此段相願候也

何々船長(又ハ船主)

年月日

氏

名印

橫濱稅關長氏名殿

大藏省告示第三十三號 (明治二十八年五月二十八日)

本年三月當省告示第十號橫濱稅關棧橋使用規則中左ノ通改正シ本年六月一日ヨリ施行ス  
第二條中前條ノ願書ヲ差出ト同時ニ「ノ」十二字ヲ削リ「金四錢」ヲ「金貳錢」ニ改ム  
第三條第一項中「繫船免狀交付ノ時」ヲ「船舶繫留ノ時」ニ「七十二時」ヲ「二十四時」ニ「繫留セントスル船

船」ヲ「繫留セントスルキ」ニ改メ同條第二項中「繫船料三分ノ一」ヲ「繫船料半額」ニ改ム  
第十三條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十四條 稅關長ハ大藏大臣ノ認可ヲ得テ定期航海船ニ對シ或ル期間ヲ定メ繫船料ノ減額ヲ爲シ繫留ヲ許スノ特約ヲ爲スコトヲ得

明治二十八年四月一日棧橋繫船開始ヨリ同三十六年マテニ棧橋ニ繫留シタル國別船數並繫船料收入ノ表ヲ示セハ左ノ如シ

年別	國籍	日本	英國	獨國	佛國	米國	埃國	艘數計	噸數計	繫船料計
明治二十八年		1	28	8	5			41	85,815	1,548,690
同 二十九年		2	89	22	25			128	289,653	1,581,507
同 三十年		1	62	12	25			100	232,381	1,422,860
同 三十一年		2	48	14	26			90	226,960	1,422,280
同 三十二年		1	42	15	26			83	223,505	1,071,716
同 三十三年		2	27	29	26			85	254,000	1,271,080
同 三十四年		5	16	25	26			125	354,179	1,386,030
同 三十五年		136	6	21	19	2		184	516,047	1,202,195
同 三十六年		165	6	25	24	4		224	673,803	1,787,990

而シテ前表繫留船中日本郵船會社英國「ビ」オ「汽船會社」北獨逸「ロ」イ「汽船會社」及佛國「エム、エム」



汽船會社ノ船舶ハ棧橋使用規則第十四條ニ依リ稅關長ト繫船料ノ減額ヲ特約シタルモノニ係ル

### 第三款 臨時稅關工事部

本邦ノ外國貿易大ニ發達シ輸出輸入貨物著シク増加シタルカ爲メ之カ處理上ニ要スル稅關ノ營造物ハ其必要ヲ充タス能ハサルニ至レリ殊ニ橫濱稅關用地ノ如キ其區域甚タ狹隘ニシテ輸出入貨物輻湊スルトキハ之ヲ容ル、ノ餘地ナク且建物其他ノ不備ニ由リ事務上ノ敏捷ヲ妨クルヲ免レサルノミナラス當業者ノ不便亦尠ナカラサルモアリ因テ同稅關地先ノ海面ヲ埋立テ倉庫、上屋、貨物揚場、旅客昇降場等ノ増築ヲ爲シ又一方ニハ貨物ノ運搬ヲ一層便ナラシムルカ爲ニ構内ニ鐵道ヲ敷設シ官線ニ連絡セシムル等ノ設備ヲ充實シ以テ貿易ノ發達ニ適應セシムルノ急要ナルヲ認メ其海面埋立ニ要スル經費豫算ヲ帝國議會ニ提出シ該經費ハ明治三十二年度ヨリ同三十六年度ニ渉ル繼續費トシテ成立セリ其總額及年額ハ左ノ如シ

#### 橫濱稅關海面埋立費

總額	二三四五五九〇三八三
年額	
三十二年度	一八〇〇〇〇〇〇〇〇
三十三年度	九七七、四六四〇〇〇
三十四年度	六一四、七七四〇〇〇
三十五年度	四三五、一一八〇〇〇

三十六年度

一三八、二三四、三八三

然ルニ該工事タル頗ル大事業ナルヲ以テ特ニ之ヲ掌理セシムキ一部局ヲ設立スルノ必要ヲ認メ明治三十二年四月十五日ヲ以テ臨時稅關工事部官制案ヲ閣議ニ提出シ同年五月十九日勅令第二百七號ヲ以テ左ノ如ク公布アリタリ

#### 臨時稅關工事部官制

第一條 臨時稅關工事部ハ大藏大臣ノ管理ニ屬シ橫濱稅關ノ埋立工事ニ關スル一切ノ事務ヲ掌ル

第二條 臨時稅關工事部ハ左ノ職員ヲ置ク

部長	一人	勅任
副部長	一人	奏任
事務官	專任一人	奏任
技師	專任五人	
書記	專任八人	判任
技手	專任十六人	

第三條 部長ハ大藏省勅任官ヲシテ之ヲ兼ネシム

部長ハ大藏大臣ノ指揮監督ヲ承ケ部務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ監督ス

第四條 副部長ハ部長ヲ補佐シ部長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第五條 事務官ハ部長ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌ル



第六條 技師ハ上官ノ指揮ヲ承ケ工務ヲ掌ル  
 第七條 書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス  
 第八條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ工務ニ従事ス

該官制中明治三十六年十二月十四日勅令第二百十九號ヲ以テ左ノ如ク改正アリタリ

第二條中五人ヲ三人ニ八人ヲ七人ニ十六人ヲ十四人ニ改ム

又從前神奈川縣廳ノ所管タリシ横濱港灣維持ノ事務ヲ臨時稅關工事部ニ移スカ爲メ明治三十六年十二月一日勅令第二百一號ヲ以テ左ノ如ク公布アリタリ

明治三十年勅令第十三號中神奈川縣廳ヲ臨時稅關工事部ニ屬五人ヲ書記二人ニ六人ヲ三人ニ改ム

(參照)

勅令第十三號

横濱港灣維持ノ事務ヲ掌理セシムル爲メ左ノ職員ヲ置キ神奈川縣廳ニ屬セシム

技師	一人	判任
屬	五人	
技手	六人	

右勅令中同年十二月四日勅令第二十號ヲ以テ左ノ如ク改正アリタリ

明治三十年勅令第十三號中技師一人ヲ削ル

臨時稅關工事部官制發布後部長、副部长、事務官、技師共夫々任命アリタリ即チ左ノ如シ

部長	大藏省主稅局長正五位勳四等	目賀田種太郎
副部长	陸軍歩兵大尉從四位勳四等	高田善一
事務官	從七位	木本房太郎
技師	從五位勳五等工學博士	妻木賴黃
技師	從五位	丹羽鋤彦
同	從六位	矢橋賢吉
同	從七位	坂出鳴海

本工事ハ曩ニ横濱築港工事ノ爲調査測定セシ書類ニ基キ大體ノ計畫ヲ定メタリト雖海底ノ深淺地層ノ構成等ニ關シテハ未タ悉サ、ル所アルヲ以テ臨時稅關工事部設置以來直ニ稅關附近ノ地形竝海底深淺、測量ニ著手シ積テ埋立ツヘキ區域ノ内外ニ遍ク錐鑿ヲ施シ尙ホ浚渫機ヲ以テ其要部ヲ浚渫シ土丹盤ノ起伏土質ノ硬軟ヲ確メシニ土丹盤起伏ノ狀況ハ當初ノ豫想ト其趣ヲ異ニシ岸壁ノ基礎及壁外繫船區域内ニ於テ多量ノ土丹盤掘鑿排除ヲ要シ又外國貿易ハ年ヲ逐フテ發達シ一萬噸以上ノ大船ヲ港内ニ見ルノ今日ニ在テハ岸壁モ之ニ適當スル設備ヲ要スルヲ以テ種種調査ノ結果前設計ヲ變更シ土丹盤ノ位置ヲ利用シテ新設計ヲ定メタリ然ルニ岸壁ノ基礎及護岸工事ハ頗ル困難ニシテ許多ノ日子ヲ要シ到底既定年度内ニ竣工シ難キニ依リ繼續年限ヲ延長シテ三十七年度迄トスルノ必要ヲ認メ該豫算ヲ帝國議會ニ提出シ協贊ヲ得タリ其金額左ノ如シ

既定總額

二三四五五九〇三八三



内

三十四年度迄收出額	一七七二二三八〇〇
三十五年度以降支出額	五七三三五二三八三
此ノ改定年額左ノ如シ	
三十五年度	一二二六〇五五〇〇
三十六年度	三〇〇七四六八八三
三十七年度	一五〇〇〇〇〇〇〇

本埋立工事ハ工事部設置以來著々進行シタリ而シテ其工程ノ大要ハ最初ノ二年間即チ三十二年及三十三年ハ計畫調査及器械船舶ノ購入製造方塊製造用工場敷地ノ埋立竝其設備等ニ時日ヲ費シ三十四年及三十五年ハ岸壁基礎ノ掘鑿浚渫方塊工場ノ設備及方塊ノ製造等重ニ岸壁工事ノ準備時代ニ屬シ三十六年ニ至リテハ岸壁ノ築造海面ノ埋立等ニ全力ヲ盡スヲ得タリ今三十六年年末ニ於ケル各工事ノ概況ヲ舉クレハ左ノ如シ

一 岸壁工事

岸壁延長四百八十四間半ノ内凸出部ノ右邊干潮面以上三十二尺岸壁百二十一間ハ潜水函ヲ使用シ海底基礎地均中ニ屬シ凸出部ノ突端干潮面以下二十八尺岸壁六十間及左邊干潮面以下二十八尺岸壁百十一間ノ内基礎捨石ヲ要スル分四十八間此部分ハ既ニ捨石ヲ終リ上面均シ中ナリヲ除キ六十三間ハ干潮面以下混泥土方塊沈設ノ工事ヲ終リ又乙號物揚場接續ヨリ折廻リ順次干潮面以下十一尺五寸岸壁六間同二十尺岸壁四十八間同二十四尺岸壁五十四間半

同二十八尺岸壁九十間即三十二尺岸壁境界迄右邊一帶ハ干潮面以下混泥土方塊沈設ノ工事略竣功シ目下干潮面以上ノ石積工事竝繫船柱防舷材取付工事等施行中ナリ其他背部ノ物揚場護岸石垣等ハ全部竣功セリ岸壁築造ニ要スル大小ノ混泥土方塊ハ總數六千八百餘個ノ製造ヲ了ヘ剩ス所石張方塊約九十個内外ナリ

一 埋立工事

埋立總面積四萬六千九百三坪ノ内既成面積約三萬五千五百坪ナリ目下一部ノ工事ハ請負ニ付シ施行中ニシテ日々埋築ノ土量二百立坪内外ニ及フ此外未成功ノ部分ハ重ニ岸壁裏ニ屬スル一帶ノ區域ニシテ岸壁工事ニ關聯シ施行ノ必要アルヲ以テ工事ノ進行ニ伴ヒ埋築ヲナサントス

一 橋梁工事

橫濱市街連絡ノ爲メ新波止場ニ架設スル鐵工事ハ鐵部ノ組立架渡略成功シ目下橋面ノ工事ニ著手シ石材木材ノ搬入中ナリ

上記ノ如ク工事大ニ進行シ三十六年末ニ於テハ全工事ノ約七分餘ノ成效ヲ見ルニ至レリ

第四款 萬國關稅誌

明治二十年二月本邦駐在白耳義國公使書ヲ我外務省ニ致シ白國政府ニ於テ萬國關稅誌刊行局創設ノ舉アルニ依リ我政府ニ於テモ之ニ加盟セラレンコトヲ勸誘セリ右ニ付同年三月外務省ヨリ我政府ノ加盟如何ニ關シ大藏省ニ協議アリ蓋シ從來歐洲各國ニ於テ萬國關稅表ヲ刊行スル者夥



多ナリト雖モ多クハ不完全ニシテ互ニ吻合セス加之其出版迅速ナラサルヲ以テ白國、ブリュッセル府ニ刊行局ヲ設ケ以テ各國現行ノ關稅表及將來改正ノモノヲ反譯發刊シテ同盟各國へ通告スルニアリテ貿易上有益ノ事業ナルノミナラス各國關稅率ノ輕重異同ヲ迅速ニ知悉スルコトヲ得ル等外國貿易上極メテ有益ノ舉ナルヲ以テ大藏省ハ之ニ加入スヘキ旨ヲ外務省へ回答シ即チ我政府モ之ニ加盟スルコト、ナレリ

前記刊行局ノ設立ニ關シ明治二十一年三月該聯合各國委員ハ白耳義政府ノ調製ニ係ル萬國聯合條約假草案及該條約實施規則假草案ヲ討議スル爲メ同國、ブリュッセル府ニ於テ會議ヲ開キ後チ同二十三年七月更ニ同國外務省ニ於テ第二次聯合會ヲ開キ右條約及其實施規則ヲ議決セリ然ルニ該會議ニハ本邦ヨリ委員ヲ派遣セサルニ依リ同會議ニ於テ決定シタル書類ヲ添へ我加盟ノ諾否ニ關シ白耳義國公使ヨリ外務省へ照會シ來レリ即チ外務、大藏兩省協議ノ上該條約ニ加盟スルコトヲ白耳義國政府ニ通告セラレタリ爾後我關稅法令ニシテ同誌ニ刊行セラル、モノ多キニ至リタルハ國際上大ニ利益ヲ見ル處ナリ

萬國關稅誌刊行ニ關スル條約並其實施規則及費用分擔ノ割合條約實施ノ期限ヲ定メタル終結議事録ハ左ノ如シ

萬國關稅表刊行ニ係ル同盟設立條約書

「アルゼンタイン、共和國、埃地利、洪牙利國、白耳義國、ボリビヤ、智利國、コンゴ、獨立國、コスタリカ、共和國、丁抹國及其殖民地、西班牙國及其殖民地、北米合衆國、佛蘭西國及其殖民地、大不列顛及其殖民地、英領印度國、英領加奈太國、西濠洲殖民地、喜望峯殖民地、那太爾殖民地、新南威爾斯殖民地、新西

蘭殖民地、クインスランド、殖民地、タスマニヤ、殖民地、ニユー、ファウンドランド、殖民地、ヅィクトリヤ、殖民地、希臘國、グワテマラ國、ハイチ、共和國、伊太利國及其殖民地、墨西哥國、ニカラガ國、巴拉ゲー國、荷蘭國及其殖民地、秘露國、葡萄牙國及其殖民地、羅馬尼國、魯西亞國、サルバドル國、暹羅王國、瑞西國、土耳其國、ウルゲー國、及ウエネヱラ國ノ間ニ締結シタル萬國關稅表刊行同盟創設ニ係ル條約書

第一條 前ニ列記セル諸國並ニ將來此條約ニ加盟スヘキ諸國ノ間ニ萬國關稅表刊行同盟ト稱スル一ノ組合ヲ組成ス

第二條 右同盟ノ目的ハ共擔費ヲ以テ各國ノ現行關稅表並ニ將來之ニ改正ヲ加ヘタルモノヲ刊行シ可成の迅速ニ且確實ニ之ヲ同盟各國へ通告スルニアリ

第三條 前條ノ目的ヲ以テ右關稅表並ニ其改正ニ係ル立法上及ヒ行政上諸條款ノ反譯刊行ニ任スル萬國事務局ヲ比律悉府ニ設置スヘシ

第四條 右刊行物ハ萬國關稅誌(萬國關稅表刊行同盟機關)ノ名稱ヲ付シテ之ヲ刊行スヘシ右刊行ニハ商業上最モ普通ニ行ハル、數種ノ國語ヲ用フヘシ

第五條 萬國事務局職員ハ白耳義國外務省ニ於テ之ヲ任命シ該省ハ必要アル資金ヲ貸與シ且事務ノ施行ヲ監視スヘシ

第六條 萬國事務局ヨリハ同盟各國政府へ宛テ發送スル通信ニハ佛蘭西語ヲ使用スヘシ

第七條 毎年萬國事務局ノ事務並會計報告書ヲ同盟各國政府へ遞送スヘシ

第八條 事務局ノ歲費定額ハ其最高額ヲ佛貨拾貳萬五千法トス



右之外事務局創立ノ年ハ創立資金トシテ佛貨五萬法ヲ白耳義國外務大臣ニ依託スヘシ  
 第十四條ニ記スル加盟權ヲ利用シテ將來同盟ニ加入スヘキ諸國竝ニ諸殖民地ハ第九條ニ定  
 メタル分擔基礎ニ依リ右五萬法ノ分當額ヲ負擔スヘシ  
 初期七箇年ノ期限ニ至ツテ退盟スル諸國竝諸殖民地ハ共有資産ニ關スル共有權ヲ失フモノ  
 トス

共有資産ノ整理決算ヲ爲ス場合ニハ第九條ニ定メタル分擔基礎ニ依リ之ヲ同盟各國及ヒ殖  
 民地ニ分配スヘシ

第九條 同盟各國ノ分擔費額ヲ公平ニ定ムル爲メ同盟國ノ貿易高ニ依テ之ヲ六級ニ分チ相當  
 ノ割合ヲ以テ之ニ若干ノ株數ヲ分賦ス

第一級 年々四拾億法以上ノ貿易ヲ爲ス國ハ負擔株數ヲ五十五株トス

第二級 年々貳拾億法以上四拾億法以下ノ貿易ヲ爲ス國ハ負擔株數ヲ四十株トス

第三級 年々五億法以上貳拾億法以下ノ貿易ヲ爲ス國ハ負擔株數ヲ二十五株トス

第四級 年々壹億法以上五億以下ノ貿易ヲ爲ス國ハ負擔株數ヲ二十株トス

第五級 年々五千法以上壹億法以下ノ貿易ヲ爲ス國ハ負擔株數ヲ十五株トス

第六級 年々五千法以下ノ貿易ヲ爲ス國ハ負擔株數ヲ五株トス

第十條 萬國事務局ニ於テ關稅表編纂ニ用ヒサル國語ヲ使用スル諸國ノ負擔株數ハ其五分ノ  
 ニヲ減少ス其割合左ノ如シ

第一級ハ 三十三株ニ減ス

第二級ハ 二十四株ニ減ス

第三級ハ 十五株ニ減ス

第四級ハ 十二株ニ減ス

第五級ハ 九株ニ減ス

第六級ハ 三株ニ減ス

第十一條 萬國事務局歳費ノ全額ヲ前條ノ規定ニ從ヒ同盟各國負擔ノ全株數ヲ以テ除算スル  
 トキハ一株ニ對スル負擔額ヲ得ヘシ又同盟各國ノ分賦株數ヲ以テ國別ニ右一株ノ費額ヲ乘  
 算スルトキハ同盟各國ニ於テ負擔スヘキ萬國事務局歳費ノ分擔金額ヲ知ルヲ得ヘシ  
 第十二條 萬國事務局ヲシテ可成的確實ナル萬國關稅誌ヲ編纂セシムル爲メ各同盟國ハ直接  
 ニ且迅速ニ左ノ書類ヲ二部宛事務局へ遞送スヘシ

(甲) 關稅法及關稅表

(乙) 右法律及ヒ稅表ノ改正アルトキハ之レニ關スル法律規則布告類一切

(丙) 稅表ノ適用商品ノ類別ニ關シ同盟國政府ヨリ所屬稅關ニ達シタル回章訓令ニシテ公  
 衆ニ示スヲ得ルモノ

(丁) 通商條約萬國條約竝ニ現行關稅表ニ直接ノ關係ヲ有スル內國ノ諸法律規則

第十三條 本條約ト同一ノ效力ヲ有スル所ノ實施規則ヲ制定シテ以テ萬國關稅誌刊行ノ方法  
 竝ニ萬國事務局定額及ヒ其事務組織等ヲ規定スヘシ

第十四條 本條約ニ調印セサル諸國及ヒ諸殖民地ト雖モ將來之ニ加盟スルヲ得ヘシ



右加盟ハ書面ヲ以テ白耳義國政府へ通牒シ該政府ヨリ之ヲ同盟國政府へ通知スヘシ  
右加盟ハ當然本條約ニ規定スル諸定款ニ服從スルノ義務ヲ生シ又諸利益ヲ享有スルノ權利  
ヲ生ス

第十五條 本條約ハ來ル千八百九十一年四月一日ヨリ之ヲ實行シテ七年間效力ヲ有スルモノ  
トス

若シ七年ノ期限前十二箇月ニ於テ本條約ノ廢止ヲ宣告セサルトキハ尙七年間之ヲ繼續セシ  
ム第二期以後モ之レニ同シ

本條約ノ退盟ハ之ヲ白耳義國政府ニ通知スヘシ而シテ其退盟ノ效力ハ之レヲ通知シタル國  
ニ止マリ他ノ同盟諸國ハ依然本條約ヲ遵奉スヘキモノトス

同盟諸國同意シテ有益若クハ必要ト認メタルトキハ何時タリトモ本條約ノ改正ヲ爲スヲ得  
ヘシ

右保證ノ爲メ下名ノ全權委員本條ニ記名調印スル者也

比律悉府ニ於テ千八百九十年七月五日

アルゼンタイシ共和國

「カルロス、カルヴオ、キ、カブデウ」ヲ手署

澳地利洪牙利國

エ、ヘル、ジ、エ、シ、ー 同

(以下略ス)

萬國會議書記官本書ノ正當ナルコトヲ保證ス

エル、カ、ベル 手署

萬國關稅表刊行事務局創設ニ係ル條約書

實施規則 (條約書第十三條)

第一條 萬國稅關誌ハ獨逸語、英吉利語、西班牙語、佛蘭西語及伊太利語ノ五國語ヲ以テ刊行セラ  
ルヘシ

第二條 同盟各國ハ自國ノ費用ヲ以テ稅關誌ノ全部若クハ一部分ヲ要用ト認ムル國語ニ反譯  
セシメ且之ヲ刊行セシムルヲ得ヘシ但シ萬國事務局ニ於テ採擇シタル國語ニ反譯セシムル  
ヲ得サルモノトス同盟各國ハ稅關誌ノ一部分若クハ其稅表ノ單純ナル拔萃ヲ一地方ノ公文  
又ハ國會ノ公書中ニ掲載セシムルノ權利ヲ有スヘシ

同盟各國ハ從來ノ如ク自國語又ハ外國語ヲ以テ外國ノ關稅表ヲ刊行セシムルヲ得ヘシ但シ  
萬國事務局ノ編纂ニ係ル原文ハ此限ニアラス

第三條 萬國事務局ハ各國ノ稅關法竝ニ其解釋ニ係ル公文類ヲ反譯スルニ當リ最モ確實ナル  
ヲ主トスト雖モ各國政府ハ該反譯確否ノ責ニ任セス若シ爭論ヲ惹起スコトアルトキハ原文  
ヲ以テ之ヲ處斷スルモノトス

右ノ注意ハ稅關誌第一頁ノ下部ニ大字ヲ以テ之ヲ揭示シ置クヘシ

第四條 稅關誌ノ體裁ハ萬國事務局ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第五條 同盟國各國政府ハ萬國事務局歲費分擔株數ニ對シテ收受スル稅關誌ハ事務局使用語



ノ内執レノ國語ヲ以テ刊行シタルモノヲ欲スルヤ事務局ヘ報知シ置クヘシ  
又同盟國ハ稅關誌ノ若干部數ハ一國語ヲ以テ編纂シタルモノヲ受領シ殘餘ノ分ハ自他ノ國  
語ヲ以テ編纂シタルモノヲ受領スルヲ得ヘシ

第六條 萬國事務局ハ同盟國ノ政府ニ非サレハ豫約購讀ノ求メニ應セサルヘシ

第七條 同盟各國政府ノ應級負擔額ニ酬ユルニ稅關誌一部ノ代價ヲ凡ソ佛貨十五法ト見積リ  
其割合ヲ以テ遞送スヘシ

第八條 萬國事務局ノ歳費豫算額ヲ大略左ノ如ク定ム

(甲) 佛貨七萬五千法 萬國事務局官吏及傭員俸給但一割五分ノ補助費ヲ包含ス

(乙) 同 三萬法 稅關誌ノ印刷竝ニ遞送費

(丙) 同 二萬法 萬國事務局建物家賃竝ニ修繕費及薪炭點燈家具事務費一式

合計佛貨拾貳萬五千法

第九條 白耳義外務大臣ハ條約書竝本規ノ定ムル制限ヲ遵奉シテ萬國事務局ノ組織及ヒ執務  
ノ處理ニ任ス

第十條 萬國事務局長ハ白耳義國外務大臣ノ認可ヲ經テ前年度ノ豫算殘額ヲ現年度ノ定額ニ  
繰込ムヲ得而シテ右金額ハ臨時費ヲ支辨スヘキ豫備資金ニ充ツルモノトス

右豫備資金ハ如何ナル場合ト雖モ貳萬五千法ヲ超過スルヲ得ス而シテ若シ其超過額ヲ生ス  
ルトキハ同盟各國政府ノ保證スル稅關誌ノ部數ヲ增加スルコナクシテ唯タ其豫約購讀料ヲ  
減スルモ妨ケナシ又第一條ニ列記シタル國語ニ他ノ反譯國語ヲ追加スル爲メニ生スル費用

ヲ支辨スル爲ニ右超過額ヲ使用スルヲ得ヘシ

前項末段ノ方法ハ同盟各國及ヒ殖民地一般ノ承認ヲ得ルニ非サレハ之レヲ實行スルヲ得サ  
ルモノトス本規則ハ本日締結ノ條約書附屬トシテ千八百九十年七月五日比律悉府ニ於テ制  
定ス

アルゼンタイン共和國

カルロス、カルヴオ、キ、カブデウヲ手署

澳地利洪牙利國

エ、ペ、ル、ジ、エ、シ、一、同

白耳義國

ラ、ン、ベ、ル、モ、ン、同

(外二名略ス)

(以下略ス)

萬國會議書記官本書ノ正當ナルコトヲ保證ス

エ、ル、カ、ベ、ル、手署

終決議事錄

萬國關稅法刊行ノ爲メ同盟創設ニ關スル萬國條約書竝ニ其規則ニ記名調印スル爲メ本日會合シ  
タル下ニ署名ノ全權委員ハ左ノ宣言ヲ取替ハセリ

第一 萬國事務局々員分擔ノ目的ニ由リ同盟各國ノ等級制定條約書第九號第十條及ヒ第十一



條ニ關シ全權委員ハ條約施行中右同盟國ハ各左ノ等級ニ加列シ左ニ定ムル所ノ株數ニ應シテ費用ヲ分擔スヘキコトヲ宣言ス

第一級

英吉利國及ヒ其殖民地(但次ニ特記スル)

五十五株

白耳義國

五十五株

北米合衆國

五十五株

佛蘭西國及其殖民地

五十五株

荷蘭國及其殖民地

三十三株

魯西亞國

三十三株

第二級

澳地利洪牙利國

二十四株

西班牙國及其殖民地

四十株

英領印度國

四十株

伊太利及其殖民地

四十株

第三級

アルゼンタイン共和國

二十五株

伯西爾國

十五株

英領加奈太國

二十五株

丁抹國及其殖民地

十五株

新南威爾斯國

二十五株

葡萄牙國及其殖民地

十五株

瑞西國

二十五株

土耳其國

十五株

ヅキクトリヤ國

二十五株

第四級

喜望峯殖民地

二十株

智利國

二十株

「コロンビヤ」國

二十株

埃及國

二十株

「エクワトール」國

二十株

希臘國

十二株

墨西哥國

二十株

新西蘭國

二十株

日本國

十二株

波斯國

十二株

「クキンスランド」國

二十株



羅馬尼國	十二株
「ウルゲイ」國	二十株
「ヴェネツエラ」國	二十株
第五級	
「ボリビヤ」國	十五株
「コスタリカ」共和國	十五株
「グワテマラ」國	十五株
「ハイチ」共和國	十五株
那太爾殖民地	十五株
秘露國	十五株
攝爾比國	九株
暹羅王國	九株
南亞佛利加共和國	九株
第六級	
西濠洲殖民地	五株
「ドミニカン」共和國	五株
「コンゴ」獨立國	三株
「ホンズラス」共和國	五株

「ニカラガ」國  
 「バラゲイ」國  
 「サルバトル」國  
 太斯馬尼國  
 「ニュー・ファウンドランド」國

同盟各國ノ分擔歳費額ハ同盟國數確定スルニ非ラサレハ之レヲ規定スル能ハスト雖モ參考ノ爲メ千八百九十年二月二十六日ニ假定シタル事務局費用分擔表ヲ左ニ掲クヘシ但條約實施中如何ナル事情アルモ左表ノ負擔金額ヲ超過セシムルヲ得サルモノトス

第 級	第 一 級	第 二 級
第 國	英吉利及其殖民地 白 耳 義 北 米 合 衆 國 佛 蘭 西 及 其 殖 民 地 荷 蘭 及 其 殖 民 地 魯 西 亞 澳 地 利 洪 牙 利 西 班 牙 及 其 殖 民 地	西 班 牙 及 其 殖 民 地
名		
歳費負擔額	六八三三 六八三三 六八三三 六八三三 六八三三 六八三三 四一〇〇 四一〇〇 四一〇〇 二九八二 四九七〇	
税關誌配賦ノ部數	四五六 四五六 四五六 四五六 四五六 四五六 二七四 二七四 二七四 一九九 三三二	



第三級		第四級
英領印度	四九七〇	三三三
伊太利及其殖民地	四九七〇	三三三
「アルゼンタイン」	三一〇六	二〇七
伯西爾	一八六三	一二四
加那太	三一〇六	二〇七
丁抹及其殖民地	一八六三	一二四
新南威爾斯	三一〇六	二〇七
葡萄牙及其殖民地	一八六三	一二四
瑞西	三一〇六	二〇七
土耳其	一八六三	一二四
「グキクトリヤ」	三一〇六	二〇七
喜望峯	二四八五	一六六
智利	二四八五	一六六
「コロンビヤ」	二四八五	一六六
埃及	一四九一	一〇〇
「エクワトル」	二四八五	一六六
希臘	一四九一	一〇〇
日本	一四九一	一〇〇

第五級	
墨西哥	二四八五 一六六
新西蘭	二四八五 一六六
波蘭	一四九一 一〇〇
「クキンスランド」	二四八五 一六六
羅馬尼亞	一四九一 一〇〇
「ウエルゲイ」	二四八五 一六六
「グエネヅエラ」	二四八五 一六六
「ボリビヤ」	一八六三 一二四
「コスタリカ」	一八六三 一二四
「グワタマラ」	一八六三 一二四
「ハチチ」	一八六三 一二四
那爾	一八六三 一二四
秘露	一八六三 一二四
攝爾比	一一一八 七五
暹羅	一一一八 七五
南亞弗利加共和國	一一一八 七五
西瀛洲殖民地	六二一 四二
「ドミニカン」共和國	六二一 四二



第六級	
「コンゴ」獨立國	三七二
「ホンヅラス」共和國	六二一
「ニカラガ」	六二一
「パラゲイ」	六二一
「サルバドル」	六二一
太 斯 馬 尼	六二一
「ニューファウンドランド」	六二一
	二五
	四二
	四二
	四二
	四二
	四二

第二 各同盟國分擔費ハ各年度ノ初三箇月以内ニ白耳義國ノ正當通貨ヲ以テ比律悉府ニ於テ其支拂ヲ爲スコトヲ宣言ス

第三 千八百九十一年四月一日ヨリ實施スト定メタル條約書ノ實行前ニ若シ之ヲ爲スヲ得ハ同盟國政府ヨリ締盟ノ確報ヲ爲スヘシト雖モ右手續ハ省略スルヲ得ルモノトシ條約ニ調印ノ同盟國ニシテ千八百九十一年四月一日ノ期日マテニ公然退盟ノ報知ヲ爲サ、ルニ於テハ其國名ヲ同盟表中ニ存シ置クヘキコトヲ宣言ス

右保證ノ爲メ各全權委員此終決議事録ニ署名スル者也

比律悉府ニ於テ千八百九十年七月五日

「アルペンタイン」共和國

カルロス、カルウ、キ、カプデウ、ラ子署

澳地利 洪牙利國

エベルジエレー

手署

白耳義國

ランベルモン

同

レオン、ビエビック

同

ケベルス

同

「ポリビヤ」國

ジオアキン、カソ

同

智利國 (以下委員氏名略ス)

「コンゴ」獨立國

「コスタリカ」共和國

丁抹國及其殖民地

西班牙國及其殖民地

北米合衆國

佛蘭西國及其殖民地

大不列顛國及其殖民地

英領印度國

英領加奈太國



- 西濠洲殖民地 (他日記名調印ノ積リ)
- 喜望峯殖民地
- 那太爾殖民地
- 新南威爾斯殖民地
- 新西蘭殖民地
- 「クキンスランド」殖民地 (他日記名調印ノ積リ)
- 「タスマニヤ」殖民地
- 「ニュー・ファウンドランド」殖民地
- 「グキクトリヤ」殖民地
- 希臘國
- 「グワテマラ」國
- 「ハイチ」共和國
- 伊太利國及其殖民地
- 墨西哥國
- 「ニカラガ」國 (他日記名調印ノ積リ)
- 「パラグアイ」國
- 荷蘭國及其殖民地
- 秘露國

- 葡萄牙國及其殖民地
- 羅馬尼國
- 魯西亞國
- 「サルバドル」國
- 暹羅王國
- 瑞西國
- 土耳其國
- 「ウルグアイ」國
- 「ヴェネツエラ」國
- 「エルカベル」

手署

萬國會議書記官本書ノ正當ナルコトヲ保證ス

我政府ニ於テハ已ニ前記ノ條約ニ加盟シタレハ購讀希望者ハ之ヲ主稅局ヘ申出ツルコト、シ明治二十四年八月官報ニ左ノ廣告ヲ爲セリ

我政府ハ千八百九十年七月白耳義國比律悉府ニ於テ歐米各國ノ間ニ條約締結セシ萬國關稅誌刊行同盟ニ加入セシヲ以テ該關稅誌購讀ヲ望ム者ハ其購讀セントスル關稅誌用語ノ種類ト部數ヲ明記シ大藏省主稅局ヘ申出ヘシ

但本誌ハ同盟各國ノ海關稅則竝ニ關稅表類ヲ英吉利、佛蘭西、獨逸、西班牙、伊太利ノ五國語ニ區別編纂シ毎月一回若ハ數回刊行スルモノトス



### 第五款 外國貿易統計

#### 第一項 外國貿易年月表

外國貿易ノ未タ振興セサルノ時ニ在テハ大藏省ノ調製ニ係ル統計表モ頗ル粗笨不備ナリシカ貿易ノ進歩ニ伴ヒ漸ク以テ改良ヲ加ヘ遂ニ今日ノ體裁ヲ爲セリ

外國貿易表ニ二アリ一ヲ貿易月表ト云ヒ一ヲ貿易年表ト云フ其ニ輸出入貨物ノ名稱及數量價格ヲ始トシ金銀貨幣外國往來船舶及收稅額等凡ソ外國貿易ニ關スル事項ハ悉ク之ヲ統計シテ本表中ニ掲ケ且閱覽ニ便センカ爲メ其種目ヲ數十表ニ分類シテ之ヲ編纂セリ而シテ月表ハ毎年年表ハ毎年一回之ヲ頒刊シテ世上ニ頒布ス(貿易長販賣ノ創始ハ明治六年十二月ナリ)茲ニ往時ニ於ケル輸出入物品表調查ニ關スル雛形類ヲ掲ケ當時ノ狀況ヲ示サントス  
明治三年四月大藏民部兩省ヨリ開港場所所在ノ府縣ニ合達シテ輸出入物品表及收稅額ヲ毎月進達セシム其雛形左ノ如シ

(雛形)

- 一 生絲何程  
此代金何程  
此稅銀何程
- 一 煎海鼠何程  
此代金何程

- 此稅銀何程
- 一 干鮑何程  
此代金何程  
此稅銀何程
- 一 鱈鱈何程  
此代金何程  
此稅銀何程
- 一 蠶種何程  
此代金何程  
此稅銀何程
- 一 蠶何程  
此代金何程  
此稅銀何程
- 一 絲皮苧何程  
此代金何程  
此稅銀何程
- 一 茶何程  
此代金何程



此稅銀何程

一 諸品何程

此代金何程

此稅銀何程

何月中

合 代金何程  
稅銀何程

右ハ輸出品數竝代金稅銀高トモ書面ノ通相違無之候也

何處

運

上

所

何月

一 支那米何程

一 砂糖何程

此代金何程

此稅銀何程

一 織物何程

此代金何程

此稅銀何程

一 諸品何程

此代金何程

此稅銀何程

何月中

合 代金何程  
稅銀何程

右ハ輸入品數竝代金稅銀高トモ書面ノ通相違無之候也

何處

運

上

所

何月

同年十一月大藏省ヨリ輸出入物品價格及税金ノ調査ハ左ノ定則ニ依リ取扱フヘキ旨ヲ開港場府縣ニ達セラル

定 則

一 各港輸出入物品代金稅銀等日々計算致シ別紙體裁ヲ以テ日締表ヘ記載シ其月盡日ヲ限リ

仕上月締表ヘ記載シ翌月上旬ニ至リ日締月締共無遲滯東京商司ヘ可被相違候事

一 總計一箇年分計表ノ儀ハ其十月分ヨリ翌九月分迄ノ計算致右同様可被相違候事

一 計表界紙ノ儀ハ諸港輸出入ノ物品種類及有無多少ヲ計リ別紙體裁ヲ以テ於其地方官彫刻

致可申事

一 右計表界紙ヘ記載ノ體裁ハ輸出入數品悉ク銘ヲ掲クルニ不及例ヘハ輸出干魚ノ部ニ干鮑

干海老、鱧、鰯等ノ類一銘ニ記シ輸入吳呂服ノ部ニ絹、吳呂、縮緬、吳呂等ノ類一銘ニ記シ其他右

ニ準シ稅銀歩合ノ差別無之似寄ノ種類ハ一銘ニ纏メ記載可申事

輸出入日締表

洋銀相場



輸出稅總計	輸入稅總計
輸出內譯	輸入內譯
何月何日	斤數或ハ個數
斤數	代金
代金	稅銀
稅銀	斤數或ハ個數
生絲	代金
屑絲	稅銀
蠶紙	羅紗
蠶種	天鵝絨
藥種	吳呂服
干魚	金巾
塗器	毛織木綿
反物	銃
小間物	彈藥
陶器	酒
無稅品	時計
	小間物
	無稅品
輸出入月末總計表	洋銀相場
輸出稅每月總	
輸入稅總計金	

輸出內譯	輸入內譯
庚午月	斤數或ハ個數
日仕上	代金
斤數或ハ個數	稅銀
代金	斤數或ハ個數
稅銀	代金
生絲	稅金
屑絲	羅紗
蠶紙	天鵝絨
蠶種	吳呂服
藥種	金巾
干魚	毛織木綿
塗器	銃
陶器	彈藥
反物	時計
小間物	酒
無稅品	小間物
	無稅品

明治四年三月外務省ヨリ左ノ照會書ヲ各港運上所ニ發シテ其計數ヲ報告セシム蓋シ輸出入物品ヲ國別トナシ調査シタル始メナラン

其港ニテ輸出入ノ物品何品何程ハ何國ヘ輸出致シ輸入品モ同様何程何國ヨリ輸入致シ候哉其行先入先モ不辨候テハ全國ノ損益ニ拘ハリ候義ニ付以來ハ上木ニ致シ各港輸出入品ノ如ク布告可致見込ニ付毎日輸出致候品々積出シ人輸入致シ候品々引取人共何國商人ニテ積出シ候哉







何月中輸出從價稅品ノ高		品	員	數	代	金	稅	金
何月中輸出無稅品ノ高		品	員	數	代	金		
何月中他港稅濟輸出品ノ高		品	員	數	代	金		
何月中輸入品ノ高		品	員	數	代	金	稅	金
何月中輸入從價稅品ノ高		品	員	數	代	金	稅	金

又同年十二月貿易表ノ編製及其提出期限等ニ關シ大藏省ヨリ開港場府縣ヘ左ノ如ク令達セリ  
 各國貿易輸出入物品調書ノ義ハ當五月中書式ノ體裁雛形ノ通記載シ月々差出候様御達相成居  
 候處書式不一樣且差出方及遲滯調方不都合ニ付左ノ雛形通り相認當未七月以來ノ分至急差出  
 可申候尤來申年正月ヨリ八月々諸港輸出入物品價稅ノ計表ヲ製作シ普ク天下ニ公布シ人民ヘ  
 輸出入ノ多寡及品價ノ高低ヲ了知セシメ大ニ興起ノ志ヲ生シ産業ニ勵精セシメントノ御趣意  
 ヲ能々體認シ等閑ニ打過サス其翌月十日迄ニ編集シ急便ヲ以テ送達可致事

干支何月中何港輸出品價定額稅ノ高

何月中輸入無稅品ノ高		品	員	數	代	金		
何月中他港稅濟輸入品ノ高		品	員	數	代	金		







合代金	何拾何圓何錢	何拾何圓何錢	何拾何圓何錢	何拾何圓何錢
何	品	員	數	代
何	品	何百何拾何斤	何百何拾何圓何錢	金
何	品	何百何拾何斤	何百何拾何非何セント	
合代金	何百何拾何非何セント	何百何拾何非何セント	何百何拾何非何セント	何百何拾何非何セント

干支何月中他港稅濟輸入物品價メ高調書

何港入船取調雛形

何年何月中

英	一 蒸汽船 均何艘	一 帆前船 均何艘	合噸數何萬何千何百何ト
米	一 蒸汽船 均何艘	一 帆前船 均何艘	合噸數何萬何千何百何ト
合船艘	何百何十艘	合噸數何萬何千何百何ト	何百何十何萬何千何百何ト

此除ノ國名竝其外共右ニ準シ取調可申事

明治五年八月輸出入物品表ハ自今西洋數字ヲ以テ之ヲ記載シ且西洋紙若ハ厚紙ヲ用ユヘキ旨ヲ稅關ニ示達セラル

右ニ掲ケタル事項ハ舊時ニ於テ外國貿易表ノ編纂ニ關シ稅關ヨリ之カ資料ヲ報告セシメタル狀況ノ概略ナリ爾後表式ノ變更若ハ改良ヲ施シタルモノ實ニ數十回ニ及ヒ而シテ遂ニ現今ニ於ケル外國貿易月表及年表ノ編成ヲ見ルニ至レルナリ

第二項 外國貿易概覽

大藏省主稅局ニ於テ發行スル外國貿易概覽ノ由來ヲ案スルニ明治十一年五月關稅局長ヨリ各港稅關ニ達示シテ輸出入物品中ノ主要ナルモノヲ舉ケ之ヲ前年ノ輸出入額ニ對比シ其増減ヲ示シテ毎年之ヲ報告セシメ而シテ稅關稅局ハ此報告ニ依リ各港ノ貿易額ヲ統括シ其狀況ヲ調査編成シテ貿易年報ト稱シ關稅事務ノ參考ニ資スルコト、セルニ在リ爾來貿易額年々増進スルニ從ヒ該貿易年報書ノ編成モ一層精密ナルヲ要スルヲ以テ明治十九年十二月編纂例ヲ定メ同時ニ外國貿易年報ノ題名ヲ外國貿易報告ト改ム

外國貿易報告書ノ編纂タル當時ニ在テハ單ニ當局者ニ於テ事務調査上ノ參考ニ供スルニ過キス僅ニ一二本ヲ照寫シタルノミ然ルニ貿易ノ趨勢益發達スルニ隨ヒ右報告書ノ如キ當事者ノ參考トシテ之ヲ需要スルモノ尠ナカラス茲ニ於テ明治二十三年六月始メテ二十二年中ノ外國貿易報告書ヲ印行セリ右刻本成ルニ及ンテ稅關稅局長有島武ヨリ松方大藏大臣ニ進達シタル卷首ノ緒言左ノ如シ

謹テ案スルニ海關稅率ノ當否ハ殖産興業ノ隆替ニ關シ殖産興業ノ隆替ハ國家ノ貧富盛衰ニ關ス則チ稅率ノ如何ヲ研究スルハ實ニ國家經濟ニ關スル最大要事ノ一タリ而シテ稅率ヲ研究セ



ントスルモノハ貿易ノ盛衰物産ノ消長増減ノ狀況ヲ知悉セサルヘカラス其資料ハ本局已刊ノ月表年表ノアルアリト雖モ表ハ只其消長ノ蹟ヲ看ルニ止ル然ルニ歲時ニ豐歉アリ需給ニ消長アリ其蹟ニ由リ其由ヲ尋ネ其消長盛衰スル所以ヲ研究スルハ特リ稅率討究ノミナラス殖産興業上亦缺クヘカラサルノ要件タリ是ニ於テ二十二年外國貿易年表ニ據リ其最モ顯著ナル者ニ就テ其狀況ヲ推シ實蹟ヲ訊ネテ此稿ヲ草ス是レ本書ノ成ル所以ナリ乃チ名ケテ明治二十二年外國貿易概覽ト云フ而シテ本書ハ内外官民ノ報導スル所ニ依リ或ハ耳目ノ觸ル、所ニ隨ヒ之ヲ摺拾シテ記述セルニ過キス固ヨリ事ノ謬傳ニ出テ或ハ誤聞ニ屬スルモノナキコトヲ保セス之ヲ要スルニ本書ノ記スル所決シテ之ヲ以テ斷案トナスニアラス唯見聞ノ及フ所ヲ摘録シテ之ヲ研究セントスルモノ、疑題ニ供シ以テ討究ノ材料トナサンヲ期スルノミ茲ニ一本ヲ呈シ謹テ瀏覽ニ供ス

右緒言ニアル如ク外國貿易概覽ノ稱ハ明治二十三年初刊ノ時ニ起リタルナリ爾後毎年之ヲ刊行シテ當事者ニ頒ツテ例トセリ

### 第九節 臺灣ニ於ケル關稅制度

臺灣ニ於ケル關稅ニ關スル政務ハ内地ニ於ケルモノト統一ヲ要スルヲ以テ先ニ明治三十年勅令第九號ヲ以テ大藏大臣ノ管理ニ屬セシメタル貨幣及銀行ニ關スル政務ト共ニ大藏大臣ノ管理ニ屬セシムルノ必要ヲ認メ大藏内務兩大臣ヨリ之ヲ閣議ニ提出シ即チ明治三十六年勅令第十八號ヲ以テ關稅ニ關スル政務ハ大藏大臣ノ管理ニ屬セラレタリ而シテ臺灣ニ於ケル關稅制度ハ其大

體ニ於テ内地ノ制度ト大差ナシト雖モ又自ラ異ルモノナキニアラス是レ同島ノ我版圖ニ屬シテ以來日尙淺ク内地一般ノ法律規則ヲ以テ直ニ臺灣ニ施行シ難キモノアルヲ以テナリ從テ明治二十九年法律第六十三號ニ基キ臺灣總督ハ律令又ハ總督府令ヲ以テ關稅及噸稅等ニ關シ特ニ諸般ノ規定ヲ設定シタルモノ尠ナカラサルナリ

### 第一 開港

明治二十七八年日清戰役ノ結果臺灣島ノ我版圖ニ屬スルヤ明治二十九年二月外務省ハ告示ヲ發シ締盟各國臣民ヲシテ淡水、安平、臺南及打狗ニ於テ商業ヲ營ミ且右等諸國ノ船舶ヲシテ淡水、基隆、安平及打狗ノ諸港ヘ寄港シ且積荷ヲ輸出入スルコトヲ得セシメタリ外務省ノ告示左ノ如シ

外務省告示第一號 (明治二十九年 月)

通商航海ノ條約アル歐米各國臣民及人民ヲシテ臺灣ニ於テ淡水、基隆、安平、臺南及打狗ニ居住シ商業ヲ營ミ且右等諸國ノ船舶ヲシテ淡水、基隆、安平及打狗ノ諸港ヘ寄港シ且積荷ヲ輸出入スル事ヲ得セシメ又臺灣ハ特殊ナル情形アリト雖現行通商航海條約稅則及其他ノ諸取極ハ出來得ヘキ限リ臺灣ニ居住シ又ハ同地ニ往來スル歐米各締盟國ノ臣民人民船舶ニモ之ヲ適用スヘシ明治三十年一月臺灣島開港外ニ於テ帝國臣民及臺灣島住民所有ノ船舶ヲ以テ外國貿易ヲ爲サシムルノ特例ヲ設ケ尋テ其特別輸出入港ヲ指定セリ之ニ關スル律令及府令左ノ如シ

律令第一號 (明治三十年 月)

第一條 開港外ニ於テ外國貿易ノ爲帝國臣民及臺灣住民所有ノ船舶ノ出入及貨物ノ輸出入ヲ



爲スヘキ港ハ府令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 前條船舶ノ出入及貨物ノ輸出入ニ關シテハ稅關法及稅關規則ヲ適用ス但日本形船舶及支那形船舶ノ納ムヘキ出入港手數料ハ別ニ府令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 臺灣總督ハ何時ニテモ其必要ト認ムル場合ニ於テ第一條ニ依リ定メタル特別輸出入港ヲ閉鎖スルコトヲ得

府令第四號 (明治三十年)

明治三十年律令第一號第一條ニ依リ特別輸出入港當分ノ内左ノ通指定ス

臺北縣管下蘇澳

臺北縣管下舊港

臺中縣管下後壠

臺中縣管下梧棲

臺中縣管下鹿港

臺南縣管下東石港

臺南縣管下東港

澎湖島廳下媽宮

臺中縣管下下湖口

(明治三十一年一月府令第九號ヲ以テ追加)

府令第二十三號 (明治三十一年三月)

明治三十年律令第一號第一條ニ依リ特別輸出入港當分ノ内左ノ通指定ス

本令ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

明治三十年一月府令第四號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

臺北縣管下舊港

臺中縣管下後壠

臺中縣管下梧棲

臺中縣管下鹿港

臺中縣管下下湖口

臺南縣管下東石港

臺南縣管下東港

澎湖廳管下媽宮

明治三十二年七月律令第二十號臺灣關稅規則第一條ニ於テ從來ノ開港ノ外開港トナスヘキ場所ハ府令ヲ以テ之ヲ定ムト規定セルニ依リ同年八月府令第八十七號ヲ以テ左ノ八港ヲ開港ト爲ス而シテ三十年律令第一號ニ基キ指定セラレタル從前ノ特別輸出入港ヲ廢止セリ

府令第八十七號 (明治三十一年)

明治三十二年律令第二十號第一條ニ依リ從來ノ開港ノ外開港トナスヘキ場所左ノ通指定ス但當分ノ内支那形船舶ニ限リ出入スルコトヲ得

臺北縣管下舊港

臺中縣管下後壠

臺中縣管下梧棲

臺中縣管下鹿港

臺中縣管下下湖口

臺南縣管下東石港

臺南縣管下東港

澎湖廳管下媽宮

附則

本令ハ明治三十二年八月四日ヨリ施行ス

明治三十二年三月府令第二十三號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

## 第二 關稅

### 一 關稅法規



明治二十九年八月十九日勅令第二百九十三號ヲ以テ稅關法ヲ臺灣ニ施行スルコト、シ同時ニ勅令第二百九十四號ヲ以テ稅關規則第四十三條第二項ニ掲クル稅關長ノ判定ニ不服アル者ハ臺灣ニ在テハ總督ノ裁定ヲ請フヘキモノトセリ即チ左ノ如シ

勅令第二百九十三號 (明治二十九年)

臺灣ニ稅關法施行ノ件

明治二十三年法律第八十號稅關法ヲ臺灣ニ施行ス

勅令第二百九十四號 (明治二十九年)

稅關規則第四十三條裁定ノ件

明治二十三年勅令第二百三號稅關規則第四十三條第二項ニ掲クル裁定ハ臺灣ニ於テハ臺灣總督之ヲ行フ

次テ同年十二月ニ至リ律令第十一號ヲ以テ臺灣ノ開港ニ出入スル支那船舶ニ對シ稅關法及稅關規則ヲ適用スヘキモノトシ翌三十年一月總督府令第三號ヲ以テ其出入船舶ノ納付スヘキ出入港手数料ヲ定ム

律令第十一號 (明治二十九年)

開港ニ出入スル支那形船舶ニ稅關法及規則適用

第一條 外國貿易ノ爲開港ニ出入スル支那形船舶ニハ稅關法及稅關規則ヲ適用ス

第二條 前條船舶ノ納ムヘキ出入港手数料ハ府令ヲ以テ之ヲ定ム

總督府令第三號 (明治三十年)

開港ニ出入スル支那形船舶出入港手数料ノ件

明治二十九年律令第十一號第二條ニ依リ外國貿易ノ爲開港ニ出入スル支那船舶ノ納ムヘキ出入港手数料左ノ通相定ム

一 入港手数料 金 貳 圓

一 出港手数料 金 壹 圓

明治三十年一月律令第一號ヲ以テ開港以外ノ貿易港ハ府令ヲ以テ之ヲ定ム船舶及貨物ノ出入ニ付テハ稅關法及稅關規則ヲ適用スヘキモノトセルコト開港ノ部ニ述フルカ如シ而シテ其出入港手数料ニ付テハ同月總督府令第五號ヲ以テ之ヲ定ム

總督府令第五號 (明治三十年)

特別輸出入港ニ出入スル日本形船舶及支那形船舶手数料ノ件

明治三十年律令第一號第二條ニ依リ外國貿易ノ爲特別輸出入港ニ出入スル日本形船舶及支那船舶ノ納ムヘキ出入港手数料左ノ通相定ム

一 入港手数料 金 貳 圓

一 出港手数料 金 壹 圓

翌明治三十二年三月ニ至リ法律第六十一號ヲ以テ關稅法ノ發布アリタルヲ以テ同年七月律令第二十號ヲ以テ臺灣關稅規則ヲ定メ船舶ノ出入及貨物ノ輸出入ニ關シテハ該法ニ依ルモノトス此ニ於テ同年八月總督府令第九十一號ヲ以テ之カ施行細則ヲ定メ關稅ノ賦課徵收及擔保船舶貨物異議犯則執務時間及臨時開港等ニ就テ規定セリ而シテ明治三十年律令第一號特別輸出入港ニ關



スル規定ハ關稅規則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

律令第二十號 (明治三十二年七月)

臺灣關稅規則

第一條 船舶ノ出入貨物ノ輸出入ニ關シテハ明治三十二年法律第六十一號關稅法ニ依ル但第三十五條ノ關稅通路及第九十九條ニ依リ開港トナスヘキ場所及其開港ニ於テ輸出又ハ輸入スヘキ貨物ノ種類ハ府令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 關稅法中大藏大臣ノ職務ニ屬スルモノハ臺灣總督之ヲ行フ

附則

第三條 此規則ハ明治三十二年八月四日ヨリ施行ス

明治三十年律令第一號ハ此規則施行ノ日ヨリ廢止ス

臺灣總督府令第九十一號 (明治三十二年八月四日)

臺灣關稅規則施行細則左ノ通相定ム

臺灣關稅規則施行細則

第一章 關稅ノ賦課徵收及擔保

第一條 關稅法第一條第一項但書ニ依リ特別協定ノ便益ヲ受ケントスル者ハ特別協定ノ適用ヲ受クヘキ地域内ノ產出品又ハ製造品ナルコトヲ證明スヘシ但郵便物及課稅價格百圓ヲ超エサル貨物ハ此限ニアラス

第二條 前條ノ證明ハ貨物ノ產出地製造地若ハ積出地ノ帝國領事館若クハ貿易事務官帝國領

事館及貿易事務官ナキトキハ其地ノ稅關其他ノ官廳公署又ハ商業會議所ノ證明シタル製產原地證明ヲ以テスルヲ要ス

前項ノ製產原地證明書ニハ貨物ノ記號、番號、品名、個數、數量及產出又ハ製造ノ地域ヲ記載スヘシ

第三條 關稅ヲ徵收セントスルトキハ納金額及納付金庫ヲ指定シタル文書ヲ以テ納稅人ニ告知スヘシ但金庫ニ納付セシムル場合ノ外告知書ヲ要セス

第四條 納稅人前條ノ告知書ヲ受ケタルトキハ之ニ稅金ヲ添ヘ指定ノ金庫ニ納付スヘシ

第五條 旅客ノ携帶品關稅法第二十四條但書ニ掲ケタル貨物等ニ付貨物ヲ檢査シタル官吏直ニ關稅ヲ徵收スルトキハ他ノ官吏若ハ公吏ノ立會アルヲ要ス

前項ニ依リ關稅ヲ徵收シタルトキハ立會官吏若ハ公吏ノ證明ヲ受ケ稅關ニ報告スヘシ

第六條 關稅法第四十二條ニ依リ郵便局ニ於テ稅金額ノ通知ヲ受ケタルトキハ郵便物交付前ニ之ヲ名宛人ニ通知スヘシ

第七條 前條ノ通知ヲ受ケタル者ハ稅金ニ相當スル收入印紙ヲ通知書ニ貼付シ郵便局ニ提出スヘシ

第八條 郵便局ニ於テ前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ當該稅關ニ送付スヘシ

第九條 關稅法第二條ニ依リ減稅ヲ請ハントスル者ハ損傷貨物ノ記號、番號、品名、數量、原價、諸費及請求ノ要領ヲ記載シタル文書ヲ稅關ニ提出スヘシ

第十條 關稅ノ擔保トシテ提供スヘキモノハ金錢及有價證券ニ限ル



第十一條 擔保ヲ提供スルトキハ之ヲ供託シ供託受領證ヲ稅關ニ提出スヘシ

第十三條 關稅法第六條但書ニ依リ擔保物ヲ公賣ニ付スヘキトキハ之ヲ公告シ最初公告ノ日ヨリ少クトモ三日ヲ經過シタル後之ヲ競賣スヘシ

第十四條 前條ノ公告ハ擔保提供者ノ住所又ハ居所氏名證券ノ種類金額競賣ノ場所及時其他必要ノ事項ヲ記載スヘシ

第十五條 公賣決行前ニ關稅及費用ヲ完納シタルトキハ公賣ヲ中止スヘシ

第十六條 關稅法第六條但書ニ依リ擔保提供者ニ還付スヘキ殘金アルトキハ之ヲ供託スルコトヲ得

第二章 船舶ニ關スル手續

第十七條 船舶入港届ハ船舶ノ名稱、國籍、登簿噸數、仕出港、入港ノ時及乘組海員ノ數ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第十八條 積荷目録ニハ船舶ノ名稱、國籍、貨物ノ仕出地、仕向地、記號、番號、品名、個數、數量及荷受人ヲ記載スヘシ

第十九條 船口申告書ニハ船口ノ所在、個數、船用品目録ニハ船用品ノ種類、數量及見積價格、旅客氏名表ニハ旅客ノ國籍、氏名、乘込地及上陸地ヲ記載スヘシ

第二十條 外國貨物ヲ積載セル船舶積荷目録提出前ニ於テ貨物積卸ノ認許ヲ得ントスルトキハ其理由ヲ詳記シタル申請書ヲ稅關ニ提出スヘシ

第二十一條 船舶ノ出港届ハ船舶ノ名稱、國籍、仕向港及出港ノ時ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第二十二條 外國貿易品出港ノ免許ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ出港ヲ免許シタルトキハ擬ニ預リタル船舶、國籍證書其他ノ書類ヲ還付スヘシ

第二十三條 外國貨物ヲ積載セル船舶日没ヨリ日出マテノ間又ハ稅關ノ休日ニ於テ貨物ノ積卸ヲ爲ス爲メ稅關長ノ特許ヲ受ケントスルトキハ其理由ヲ記載シタル申請書ヲ稅關ニ提出スヘシ

第二十四條 前條ノ特許ヲ受ケタルモノハ特許手数料ヲ納付スヘシ但外國貨物ヲ積載セル沿海通航船内國貨物ノ積卸ヲ爲スニ止マルトキハ此限ニアラス

第二十五條 警察官吏關稅法第十八條第二項ノ届出ヲ受ケタルトキハ所轄稅關又ハ稅關出張所ニ急報スヘシ

第二十六條 關稅法條第十九條ニ掲ケタル外國貨物ヲ不開港ヨリ開港ニ回漕スルノ認許ヲ受ケントスルトキハ船長ヨリ船卸港貨物ノ品名、個數及數量ヲ記載シタル申請書ヲ提出スヘシ

第二十七條 外國貨物ノ假陸揚ヲ爲サントスルトキハ其記號、番號、品名、個數及數量ヲ記載シタル文書ヲ以テ船長ヨリ稅關ニ稅關ノ設置ナキ地ニアリテハ稅關官吏又ハ警察官吏ニ申告スヘシ但海難其他已ムヲ得サル事故ニ因リ豫メ申告スル能ハサルトキハ陸揚シタル後直ニ申告スヘシ

第二十八條 關稅法第二十一條ノ申告ハ物品ノ種類、數量及價格ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ



爲スヘシ

第二十九條 沿海通航船海難其他已ムヲ得サル事故ニ依リ外國ニ寄港シタルトキハ歸港後其地所轄ノ稅關ニ申告スヘシ

前項ノ船舶外國ニ於テ船用品ヲ積入レタルトキハ其種類、數量及原價ヲ記載シタル目錄ヲ歸港地所轄ノ稅關ニ提出スヘシ

第三章 貨物ニ關スル手續

第一節 總 則

第三十條 日没ヨリ日出マテノ間又ハ稅關ノ休日ニ於テ貨物ヲ稅關ニ送致シ又ハ貨物ノ引取者若ハ發送ヲ爲ス爲メ特許ヲ受ケントスル者ハ其理由ヲ記載シタル申請書ヲ稅關ニ提出スヘシ

第三十一條 前條ノ特許ヲ受ケタル者ハ特許手数料ヲ納付スヘシ

第三十二條 稅關ニ於テ定メタル場所以外ニ於テ貨物ノ陸揚、船積其他船舶ト陸地トノ交通ヲ爲ス爲メ特許ヲ受ケントスル者ハ其場所、期間、貨物ノ種類等ヲ記載シタル申請書ヲ稅關ニ提出スヘシ

特許ノ條件ニ違反シタルトキハ稅關ハ特許ヲ取消スヘシ

第三十三條 稅關又ハ稅關出張所ノ構外ニ於テ貨物ノ検査ヲ受ケントスル者アルトキハ稅關ハ之ヲ特許スルコトアルヘシ但關稅法第二十四條但書ノ場合ニ於テハ特許ヲ受クルヲ要セス

前項ノ特許ヲ受ケントスル者ハ其場所、期間、貨物ノ種類ヲ記載シタル申請書ヲ提出スヘシ本條ノ特許ヲ受ケタル者ハ特許手数料ヲ納付スヘシ

第二節 貨物ノ輸出及積戻手續

第三十四條 輸出申告ハ積載スヘキ船舶ノ名稱、國籍、貨物ノ記號、番號、品名、個數、數量、價格及仕向港ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但旅客攜帶品ニ關スル申告ハ文書ヲ以テスルヲ要セス

輸出貨物外國產ナルトキハ仍其產地ヲ記載スヘシ

修繕ノ爲メ輸出シ再輸入スヘキ貨物ノ輸出申告書ニハ仍輸出ノ目的、再輸入ノ場所及期限ヲ記載スヘシ

前項再輸入ノ場所ヲ變更シタルトキハ文書ヲ以テ輸出港稅關ニ申告スヘシ

第三十五條 關稅定率法第六條ニ依リ關稅ヲ免除セラレタル貨物ヲ輸入ノ日ヨリ滿六箇月以内ニ輸出セントスル者又ハ通過ノ爲輸入シタル貨物ヲ輸出セントスル者ハ輸出申告ヲナスト同時ニ輸入免狀又ハ之ニ代ハルヘキ稅關ノ證明書ヲ稅關ニ提出スヘシ

前項ノ貨物ニ付輸出ノ免許ヲ爲シタルトキハ輸入免狀又ハ證明書ニ輸出濟ノ旨ヲ記入シ提出者ニ交付スヘシ

第三十六條 第三十四條第一項ノ規定ハ積戻申告ニ之ヲ準用ス

第三節 貨物輸入ノ手續

第三十七條 輸入申告書及通過貨物ノ目錄ニハ積載船舶ノ名稱、國籍、貨物ノ仕入地、產出地又ハ



製造地記號、番號、品名、個數、數量、原價及諸費ヲ記載スヘシ

第三十八條 旅客携帶品ニ關スル申告ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第三十九條 關稅定率法第五條第十號及第十一號ニ該當スル貨物ヲ輸入セントスル者關稅免  
除ヲ得ントスルトキハ輸入申告ヲ爲スト同時ニ輸出免狀又ハ之ニ代ハルヘキ稅關ノ證明書  
ヲ提出スヘシ

第四十條 關稅定率法第六條ニ掲ケタル貨物ノ輸入ヲ爲サントスル者ハ輸入申告書ニ仍輸入  
ノ目的及輸出港ヲ記載スヘシ

輸出港ヲ變更シタルトキハ文書ヲ以テ輸入港稅關ニ申告スヘシ

第四十一條 通過ノ爲輸入スル貨物ノ輸入申告書及通過貨物ノ目錄ニハ仍輸入ノ目的及輸出  
地ヲ記載スヘシ

第四十二條 關稅法第三十四條但書ニ依リ輸入免許前ニ貨物引取ノ認許ヲ得ントスルモノハ  
其理由ヲ記載シタル申請書ヲ稅關ニ提出スヘシ輸入申告書ニ記載シタル貨物ヲ分割シテ引  
取ノ認許ヲ得ントスルモノハ仍該貨物ノ記號、番號、品名、數量及輸入申告ノ年月日ヲ記載スヘ  
シ

第四十三條 貨物ノ仕入書ハ輸入免許ヲ爲スト同時ニ之ヲ提出者ニ還付スヘシ

第四十四條 郵便局ニ於テ輸入郵便物ヲ陸揚シタルトキハ當該稅關ニ通知スヘシ

郵便物ヲ通知スルトキハ郵便局員立會ノ上之ヲ行フヘシ

第四節 貨物ノ回漕

第四十六條 貨物回漕ノ申告ハ積載スヘキ船舶ノ名稱、國籍、陸揚地、内外國貨物ノ區別、貨物ノ記  
號、番號、品名、個數、數量及價格ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第四十七條 回漕貨物船卸ヲ爲スヘキ地ニ到達シタルトキハ回漕免狀ヲ稅關ニ提出スヘシ  
稅關ニ於テ前項ノ免狀ヲ受ケタルトキハ貨物ノ検査ヲ爲シ免狀ト符合スルトキハ該免狀ニ  
回漕濟ノ旨ヲ記入シテ提出者ニ還付スヘシ

第五節 貨物ノ收容ニ關スル手續

第四十八條 關稅法第四十七條ノ揭示及第四十八條ノ申告書ニハ貨物ノ記號、番號、品名及個數  
ヲ記載スヘシ

第四十九條 關稅法第五十一條ノ公告ニハ前條ニ掲ケタル事項競賣ノ事由競賣ノ場所及時其  
ノ他必要ノ事項ヲ記載スヘシ

第五十條 收容貨物ノ數料ハ府令ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第四章 異議

第五十一條 關稅ノ賦課ニ關スル異議ノ申立書ニハ不服ノ要領、理由、要求及處分ヲ受ケタル年  
月日ヲ記載シ付屬書類又ハ物件アルトキハ之ニ表示スヘシ

第五十二條 異議判定書ニハ住所又ハ居所、氏名、異議申立ノ要領、判定ノ理由及判定主文ヲ記載  
スヘシ

第五十三條 判定書ノ交付ハ使丁ノ送書ニ依リテ之ヲ爲ス但書留郵便ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ  
得



第五十四條 判定書ヲ送達シタルトキハ受領證ヲ徴スヘシ

第五十五條 異議者ノ住所、居所不明ナルカ又ハ其他ノ事故ニ因リ判定書ヲ交付スル能ハサルトキハ其要領ヲ揭示スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ揭示ノ日ヨリ七日ヲ經過シタルトキヲ以テ判定書ノ交付アリタルモノト見做ス

第五十六條 關稅法第六十三條ニ依リ貨物ヲ買上ケ又ハ評價人ヲシテ評價セシメントスルトキハ之ヲ異議者ニ通知スヘシ

第五十七條 異議者、前條ニ依リ貨物評價ノ通知ヲ受ケタルトキハ七日以内ニ評價人ヲ選定シ其職業、住所又ハ居所、氏名ヲ申告シ、稅關長ノ認可ヲ受クヘシ、但本條ノ期間ハ異議者ノ申請ニ依リ稅關長ニ於テ必要ナリト認メタルトキハ之ヲ延長スルコトヲ得

第五十八條 稅關長ハ異議者ノ選シタル評價人ヲ不適當ト認ムルトキハ期間ヲ指定シテ其改選ヲ命スヘシ

第五十九條 稅關長評價人ヲ認可シタルトキハ評價ノ時期及場所ヲ指定シテ之ヲ異議者ニ通知スヘシ

第六十條 評價人評價ヲ終リタルトキハ評價ノ理由ヲ詳記シタル評價書ヲ作り之ヲ稅關ニ提出スヘシ

第六十一條 評價終リタルトキハ稅關長ハ課稅價格ヲ異議者ニ通知スヘシ

第五章 犯則事件ノ調査及處分

第六十二條 差押物件ハ差押ヲナシタル官吏之ヲ封印スヘシ

第六十三條 差押目錄ニハ物件ノ品名、數量、差押ノ場所及時、物件所持者ノ住所又ハ居所、氏名ヲ記載スヘシ

第六十四條 差押物件ヲ所持者若ハ所在警察官署ニ保管セシメタルトキハ其受領證ヲ徴シ所在警察官署ニ保管セシメタルトキハ其旨、差押當時ノ所持者ニ通知スヘシ

第六十五條 關稅法第九十條ニ依リ差押物件ヲ公賣スルトキハ之ヲ公告シテ競賣ニ付スヘシ、前項ノ公告ニハ物件ノ品名、數量、競賣ノ事由、競賣ノ場所及其他必要ノ事項ヲ記載スヘシ

第六十六條 臨檢搜索及訊問調書ニハ臨檢搜索又ハ訊問ノ事實、場所及時、並供述ノ要領ヲ記載スヘシ

第六十七條 稅關官吏犯則事件ノ調書ヲ終リタルトキハ稅關長ニ報告スヘシ

第六十八條 關稅法第九十四條ノ處分通告ハ通告書ヲ送達シテ之ヲ爲スシ

處分通告書ニハ關稅法第九十四條ニ掲ケタル事項ノ外、犯則ヘ關スル詳細ノ事實、物品ノ數量、納付ノ場所及期間ヲ記載スヘシ

第六十九條 第五十三條及第五十四條ノ規定ハ處分通告書ノ送達ニ之ヲ準用ス

第七十條 沒收ニ該當スル物品ニシテ所在警察官署ノ保管ニ係ルモノハ保管ノ儘納付ノ手續ヲ爲スヘシ

第七十一條 稅關長犯則事件ヲ告發シタル場合ニ於テ差押物件アルトキハ差押目錄ト共ニ法院ニ引繼クヘシ



前項ノ差押物件所持者又ハ所在警察官署ノ保管ニ係ルトキハ差押物件引繼ノ旨ヲ保管者ニ通知スヘシ

第七十二條 犯則ノ調査及處分ニ關スル書類ニハ每葉契印スヘシ文字ノ挿入削除若クハ欄外ノ記入ヲ爲シタルトキハ之ニ認印スヘシ  
文字ヲ削除スルトキハ其字體ヲ存シ置キ其字數ヲ記載スヘシ

第六章 稅關ノ執務時間及臨時開廳

第七十三條 稅關ノ執務時間ハ休日ヲ除キ午前十時ヨリ午後四時迄トス

第七十四條 稅關ノ執務時間ニ於テ臨時開廳ノ特許ヲ請ハントスル者ハ開廳ノ期間及其期間中ニ爲スヘキ事項ヲ記載シタル申請書ヲ稅關ニ提出スヘシ

前項ノ特許ヲ受ケタル者ハ特許手数料ヲ納ムヘシ

第七章 雜 則

第七十五條 關稅法第九十八條ノ特許ヲ得ントスルトキハ港名船舶ノ名稱國籍碇泊期間及理由貨物ノ陸揚ニ係ルトキハ其品名數量ヲ記載シル文書ヲ以テ船長ヨリ稅關長ニ申請スヘシ  
前項ノ特許ヲ得タルトキハ船長ヨリ特許手数料ヲ稅關ニ納付スヘシ

第七十五條 稅關ノ證明又ハ船舶貨物ニ關スル計表ヲ請フ者ハ手数料ヲ納ムヘシ

第七十七條 棧橋起重機其他稅關所屬土地建設物又ハ備品ヲ使用スル者ヲシテ使用料ヲ納付セシムルコトアルヘシ

第七十八條 手数料及使用料ノ額ハ府令ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第七十九條 手数料及使用料ハ申請書又ハ納付書ニ收入印紙ヲ貼付シテ之ヲ納付スヘシ

第八十條 稅關官吏及收稅官吏ハ差押物件沒收物件收容貨物關稅ノ擔保物等ニシテ當該官吏ノ賣却スルモノハ直接ト間接トヲ問ハス之ヲ買受クルコトヲ得ス

第八十一條 臺灣關稅規則若ハ此細則ニ依リ當該官吏ニ於テ作ルヘキ文書ニハ官廳名若ハ官氏名及年月日ヲ記載シ之ニ捺印スヘシ

第八十二條 申告書其他ノ文書ニハ提出者ノ國籍住所又ハ居所及提出ノ年月日ヲ記載シ提出者之ニ署名スヘシ

第八十三條 臺灣關稅規則又ハ此細則ニ依リ稅關又ハ稅關長ニ提出スヘキ文書ハ稅關出張所管轄内ニアリテハ稅關出張所ニ提出スヘシ

前項ノ外稅關ニ關スル規定ハ稅關出張所ニ之ヲ準用ス

第八十四條 此細則ハ臺灣關稅規則施行ノ日ヨリ施行ス但第一條及第二條ノ規定ハ臺灣關稅規則施行ノ日ヨリ六箇月ヲ經テ之ヲ施行ス

又臺灣及内地間ノ交通漸ク頻繁トナリ往復船舶ヲ取締ルノ必要アルヲ以テ明治三十二年八月總督府令第九十七號ヲ以テ之カ規定ヲ設ケタリ

府令第九十七號 (明治三十二年八月)

臺灣内地間往復船舶取締規則

第一條 臺灣内地間ヲ往復スル船舶臺灣各港ニ入港シタルトキハ船長ハ入港ノ時ヨリ二十四時間内ニ稅關ニ入港届ヲナシ内地ヨリ其港ニ輸送シタル貨物ノ積荷目錄ヲ提出スルト同時



ニ船舶國籍證書ヲ預クヘシ

第二條 前條ノ船舶出港セントスルトキハ船長ハ出港ノ時ヨリ四時前ニ税關ニ出港届ヲナシ其港ヨリ内地へ輸送スヘキ貨物ノ積荷目録ヲ提出シ船舶國籍證書ヲ受戻スヘシ

第三條 前條ノ船舶内地ヨリ臺灣各港ニ臺灣各港ヨリ内地ニ輸送スル貨物ノ積卸ヲナサ、ルトキハ第一條第二條ノ規定ヲ適用スルノ限リニ在ラス

第四條 積荷目録ハ其提出ノ日ヨリ七日内ハ税關ノ認許ヲ得テ之ヲ訂正補足スルコトヲ得

第五條 税關官吏職務ノ爲船舶ニ乗込ムトキハ船長ハ相當ノ便宜ヲ與フヘシ

第六條 第一條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ五圓以下ノ罰金ニ處ス

第七條 第二條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ貳百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條 出港ノ際貨物ト符合セサル積荷目録ヲ提出シタルトキハ船長ヲ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九條 此規則中船長ニ適用スヘキモノハ船長ニ代テ其職務ヲ行フ者ニモ又之ヲ適用ス

第十條 此規則ニ於テ税關ニ關スル規定ハ税關出張所税關監視署其之ナキ地ニ在テハ警察官署ニ之ヲ準用ス

附 則

第十一條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

府令第三號 (明治三十七年一月二十八日)

明治三十二年八月府令第九十七號臺灣内地間往復船舶取締規則中左ノ通改正ス

本令ハ明治三十七年二月十日ヨリ之ヲ施行ス

第一條中積荷目録ヲ提出スノ下、ルト同時ニ船舶國籍證書ヲ預クヲ削ル

第二條中積荷目録ヲ提出ノ下、シ船舶國籍證書ノ受戻ヲ削ル

第四條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第四條ノ二 第一條ノ船舶臺灣各港間ニ於ケル貨物ノ回漕ニ關シテハ臺灣沿海通航船取締規則ヲ準用ス

二 收容貨物敷料

又同時ニ總督府令第九十二號ヲ以テ收容貨物ノ敷料ヲ定ム即チ左ノ如シ

臺灣總督府令第九十二號 (明治三十二年八月四日)

明治三十二年八月府令第九十一號臺灣關稅規則施行細則第五十條ニ依リ收容貨物敷料左ノ通相定ム

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

番 號	品 名	每立方尺 十日間敷料	地 産 類	敷 料
一	第一類 布 帛 「ブランケット」	〇・一〇	五 綿純子	〇・三〇
二	旗 布	〇・一五	六 雲齋布	〇・一五
三	吳 呂	〇・一五	七 綿帆布	〇・一五
			八 綿「イタリアンス」	〇・一〇



九	更紗類	〇二五 <sup>円</sup>	二七	絹綿天鵝絨	〇一〇 <sup>円</sup>
一〇	綿繻子	〇二〇	二八	支那絹紬	〇四〇
一一	綿天鵝絨	〇二〇	二九	繻子	〇二〇
一二	柳條布	〇二五	三〇	支那絹繻子	〇二〇
一三	靴護謨布	〇二〇	三一	唐棧	〇二五
一四	「フランネル」	〇二〇	三二	浴巾	〇二〇
一五	毛綿「フランネル」	〇二五	三三	毛綿羅紗	〇二〇
一六	「ゴーンニー」布	〇二〇	三四	毛綿製旅氈	〇二〇
一七	綿製手巾	〇二〇	三五	毛製旅氈	〇二〇
一八	「イタリアン、クロイツ」	〇二五	三六	寒冷紗	〇二〇
一九	綾吳呂	〇二〇	三七	羅紗	〇二〇
二〇	麻帆布	〇二五	三八	毛製檯衣	〇二〇
二一	麻布類	〇二五	三九	第二類 絲織	
二二	縮緬吳呂	〇一五	四〇	綿縫絲	〇二〇
二三	「セルヂス」	〇二〇	四一	肩綿絲	〇一〇
二四	金巾類	〇一五	四二	麻織絲	〇一五
二五	絹綿布	〇二〇	四三	生絲	〇七五
二六	絹綿繻子	〇三〇			

四四	麻縫絲	〇一五 <sup>円</sup>	五九	「ブランドー」	〇一〇 <sup>円</sup>
四五	絹織絲	〇一五	六〇	「シャンパン」	〇一〇
四六	毛絲	〇一五	六一	吐松子酒	〇一〇
四七	第三類 衣服及附屬品		六二	「ホルト」	〇一〇
四八	帽子	〇一五	六三	「ウキスキー」	〇一〇
四九	肩衣	〇一五	六四	葡萄酒	〇二〇
五〇	編製「メリヤス」襪褲股引	〇一五	六五	第六類 煙草	
五一	毛製「メリヤス」襪褲股引	〇一五	六六	卷煙草	〇二〇
五二	毛綿製「メリヤス」襪褲股引	〇二〇	六七	紙卷煙草	〇一〇
五三	第四類 食物		六八	刻煙草	〇一〇
五四	乳油	〇二〇	六九	同（鐵入ノモノ）	〇二五
五五	乾酪	〇二〇	七〇	第七類 砂糖	
五六	咖啡	〇二〇	七一	葉煙草	〇二五
五七	生卵	〇二〇	七二	砂糖	〇二〇
五八	乳膏	〇二〇	七三	精糖	〇二〇
五九	胡椒	〇一〇	七四	冰糖及糖水	〇一〇
六〇	第五類 酒類		七五	第八類 藥材、化學藥及製藥	
六一	麥酒	〇一〇			



七四	石炭酸	〇一〇	九二	泊美蘭	〇三五
七五	撒里矢爾酸	〇一〇	九三	曹達灰	〇一〇
七六	明礬	〇一〇	九四	重碳酸曹達	〇一〇
七七	安知歌貌林	〇二〇	九五	苛性曹達	〇一〇
七八	安知必林	二三〇	第九類 染料、彩料及塗料		
七九	檳榔子	〇一〇	九六	「アニリン」染料	〇一五
八〇	次硝酸蒼鉛	〇一〇	九七	「アリザリン」染料	〇一五
八一	桂皮	〇一〇	九八	青銅粉	〇一〇
八二	桂皮油	〇二五	九九	乾藍	〇二〇
八三	丁香	〇二〇	一〇〇	「ログウッド」越總斯	〇二〇
八四	阿仙藥及檳榔膏	〇二〇	一〇一	栲皮	〇二〇
八五	屈里設林	〇二〇	一〇二	色油	〇二〇
八六	亞拉昆亞護謨	〇二〇	一〇三	同(樽入ノモノ)	〇三〇
八七	沃度	〇二五	一〇四	紅花	〇二五
八八	醋酸鉛(鉛糖)	二二〇	一〇五	蘇木	〇二〇
八九	靛羅謨刺篤亞斯	〇二五	一〇六	洋漆	〇二〇
九〇	規尼涅	〇二五	一〇七	支那漆	〇二五
九一	大黃	〇二〇	一〇八	朱	〇二五

第十類 金屬及金屬製品		第一		第二	
一〇九	真鍮管	〇一〇	一一五	散彈	〇一五
一一〇	「キャブシユール」(鋸ノロニ用ユル金具)	〇一〇	一一六	鋼線索	〇一〇
一一一	時計彈器	〇一〇	一一七	葉鐵	〇一五
一一二	電燈線	〇一〇	一一八	傘骨	〇一〇
一一三	鋸(箱入ノモノ)	〇一〇	一一九	車輪車軸及彈機	〇一〇
一一四	同(樽入ノモノ)	〇一五	一二〇	板亞鉛	〇一〇
一一五	日耳曼銀	〇一五	一二一	鐵、軟鋼及網	每百斤十日間敷料
一一六	鍍金銀器	〇一〇	一二二	條	〇一〇
一一七	鐵釘	〇一〇	一二三	塊	〇〇五
一一八	鐵線(樽入ノモノ)	〇一〇	一二四	竿	〇一〇
一一九	鉛管	〇一〇	一二五	筒及管	〇一〇
一二〇	板鉛(卷キタルモノ)	〇一五	一二六	板	〇一〇
一二一	茶鉛	〇一〇	一二七	軌條	〇一〇
一二二	橋梁其他建築用材	〇一〇	一二八	線(樽入ノモノヲ除ク)	〇一〇
一二三	水銀	〇二〇	一二九	電線	〇一〇
一二四	壓結爾	〇二〇	一三〇	鉛(塊)	〇一〇



一四二	錫(塊)	〇三〇	一五九	「ピアノ」	〇二〇
第十一類	時計學術器具及機械類	每立方尺十日間敷料	一六〇	縫衣機	〇二〇
一四三	手風琴	〇二〇	一六一	鑼 銃	〇二〇
一四四	掛時計	〇二〇	一六二	汽鐘及汽機	〇二〇
一四五	置時計	〇二〇	一六三	電話器	〇二〇
一四六	電燈機械	〇二〇	一六四	噴霧銃	〇一五
一四七	消防器及唧筒器	〇二〇	第十二類	角牙皮革類	
一四八	器具及工匠具	〇二〇	獸骨		〇二〇
一四九	發電器	〇二〇	鹽漬毛皮		〇二〇
一五〇	寫真器	〇二〇	生牛皮		〇二〇
一五一	旋盤	〇二〇	獸蹄		〇二〇
一五二	鐵道機關車	〇二〇	牛角及水牛角		〇二〇
一五三	鑛山機	〇二〇	鹿角		〇二〇
一五四	製紙機	〇二〇	熟皮		〇二〇
一五五	紡績機	〇二〇	海馬牙		〇二五
一五六	顯微鏡	〇四〇	象牙		〇三五
一五七	「オルゴール」	〇二五	塗 革		〇二〇
一五八	寫真銀鏡(寫真器ト同装シタルモノヲ除ク)	〇四〇	靴底皮		〇二〇

第十三類 玻璃及玻璃製品

一七六	空 瓶	〇一〇	一九一	印刷料紙	〇一〇
一七七	玻璃鏡	〇一〇	一九二	鉛筆	〇一五
一七八	「プレート」玻璃片(水銀ヲ塗リタルト否トノ別ナク)	〇一〇	一九三	寫真用紙	一三〇
一七九	玻璃器	〇一〇	一九四	封 蠟	〇一〇
一八〇	總玻璃片	〇一〇	一九五	莖紙	〇一〇
第十四類	油 蠟		第十六類	雜品類	
一八一	獸 脂	〇二〇	一九六	石 絨	〇一〇
一八二	機械用油	〇三〇	一九七	豆 類	〇一〇
一八三	阿列布油	〇一〇	一九八	護謨製品	〇一〇
一八四	無味香蠟	〇一〇	一九九	鐵道客車	〇一〇
第十五類	紙及文具類		二〇〇	「セリユロイド」	〇一〇
一八五	墨汁(活版用ノモノ)	〇一〇	二〇一	石 炭	〇一〇
一八六	唐紙類	〇一〇	二〇二	苧 麻	〇一〇
一八七	裝飾紙	〇一〇	二〇三	乾 綿	〇一〇
一八八	「マッチ」用紙	〇一〇	二〇四	革帶(機械用ノモノ)	〇一〇
一八九	包裝用紙	〇一〇	二〇五	自轉車	〇一五
一九〇	壁 紙	〇一〇	二〇六	帆布管	〇一〇
			二〇七	「ホルトランド、セメント」	〇一〇



二〇八	苧麻繩索 (船用ノモノ)	〇一〇	二二六	香水	〇一〇
二〇九	繭	〇一〇	二二七	陶器	〇一〇
二一〇	塞子	〇一〇	二二八	「バッチャー」	〇一〇
二一一	故綿	〇一〇	二二九	油精	〇一〇
二一二	綠綿	〇一〇	二三〇	藤	〇一〇
二一三	生綿	〇一〇	二三一	米、麥	〇一〇
二一四	屑絲	〇一〇	二三二	白檀	〇一〇
二一五	綿種子	〇一〇	二三三	靴墨	〇一〇
二一六	護謄紙	〇一五	二三四	化粧石鹼	〇一〇
二一七	電燈用「ランプ」	〇一〇	二三五	洗濯石鹼 (流動石鹼ヲ除ク)	〇一〇
二一八	金剛砂布	〇一〇	二三六	黑檀	〇一〇
二一九	阿膠	〇一〇	二三七	「ホルプ」	〇一〇
二二〇	石膏	〇一〇	二三八	海底電線及地下電線	〇一〇
二二一	香油	〇一〇	二三九	木材及板	〇一〇
二二二	護謄板	〇一五	二四〇	紫檀	〇一〇
二二三	麥芽	〇一〇	二四一	礦石燐	〇一〇
二二四	椰皮帶	〇一〇	二四二	小麥	〇一〇
二二五	帶	〇一〇	二四三	羊毛	〇一〇

二四四	毛打紐	〇二〇	二五七	裝藥	〇三〇
二四五	第十七類 貴重品	十日間散料 從價千分ノ三	二五八	古魯胃膜及意撒兒	〇三〇
二四六	「アルミニウム」	同	二五九	「ダイナマイト」	〇三〇
二四七	珊瑚	同	二六〇	煙火	〇三〇
二四八	金銀箔	同	二六一	氣油	〇三〇
二四九	金液及銀液	同	二六二	綿火藥	〇三〇
二五〇	金銀細貨類	同	二六三	火藥	〇三〇
二五一	麝香	同	二六四	「マツチ」	〇三〇
二五二	「ブラチナ」	同	二六五	石油	〇三〇
二五三	寶石及眞珠	同	二六六	松精油	〇三〇
二五四	金銀絲	同	二六七	格魯兒酸剝篤亞斯	〇三〇
二五五	懷中時計	同	二六八	赤燐	〇三〇
二五六	其他ノ貴重品	同	二六九	黃燐	〇三〇
	第十八類 危險品	每立方尺 十日間散料	二七〇	硝石	〇三〇
	酒精 (「アルコール」)	〇三〇	二七一	其他危險品	〇三〇

本表ニ掲ケサル物品ハ類似品ノ定率ヲ準用ス其類似物品ナキトキハ每立方尺十日間壹錢ノ敷料ヲ徴收ス



敷料ハ十日毎ニ計算ス其十日未滿ノトキモ仍ホ十日分ヲ徵收ス  
敷料ノ總額ニ厘位ヲ生スルトキハ切捨テトス

三 臨時開應

臺灣總督府稅關及稅關出張所ニ於ケル臨時開應及貨物積卸特許手数料ニ就テハ是ヨリ先キ明治三十年十二月總督府令第五十九號ヲ以テ之ヲ定メタルカ後明治三十二年八月臺灣關稅規則施行細則ノ發布アルニ及ヒ同時ニ總督府令第九十三號ヲ以テ該手数料ヲ改定セリ而シテ明治三十四年六月ニ至リ總督府令第四十號ヲ以テ更ニ之カ改正ヲ行ヘリ

總督府令第五十九號 (明治三十年九月九日)

臺灣總督府稅關及稅關出張所臨時開應及貨物積卸特許手数料左ノ通相定ム

稅關及稅關出張所平日臨時開應特許手数料

西洋形船	午後四時ヨリ同六時マテ	參拾圓
	午後四時ヨリ同十二時マテ	九拾圓
	午後四時ヨリ同十二時ヲ過クルトキ	百九拾圓
	日出ヨリ午前十時マテ	四拾圓
但前日ヨリ引續キ開應ノ場合ハ此限リニアラス		
支那形船	日出ヨリ午前十時マテ及 午後四時ヨリ日出マテ	五圓
稅關及稅關出張所休日臨時開應特許手数料		七圓五拾錢

稅關及稅關出張所休日臨時開應特許手数料

西洋形船

午前十時ヨリ午後四時迄	五拾圓
午前十時ヨリ午後六時マテ	八拾圓
午前十時ヨリ午後十二時マテ	百四拾圓
午前十時ヨリ午後十二時ヲ過クルトキ	貳百四拾圓
日出ヨリ午前十時マテ	四拾圓

但前日ヨリ引續キ開應ノ場合ハ此限ニアラス

支那形船	日出ヨリ日出マテ	五圓
	日没ヨリ日出マテ	七圓五拾錢

稅關及稅關出張所平日貨物積卸特許手数料

西洋形船	日出ヨリ日出マテ	參圓
支那形船	日出ヨリ日出マテ	壹圓五拾錢

稅關及稅關出張所休日貨物積卸特許手数料

西洋形船	日出ヨリ日出マテ	貳圓
	日没ヨリ日出マテ	參圓
支那形船	日出ヨリ日出マテ	壹圓
	日没ヨリ日出マテ	壹圓五拾錢

本令ノ特許手数料ハ船舶一艘毎ニ之ヲ徵收ス

臺灣總督府令第九十三號 (明治三十二年八月四日)



明治三十二年八月府令第九十一號關稅規則施行細則ニ依リ稅關ニ納付スヘキ手數料左ノ通相定ム

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十年十月二府令第五十九號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

稅關平日臨時開應特許手數料

一 午後四時ヨリ同六時迄

參拾圓

一 午後六時ヨリ同十二時マテ

九拾圓

一 午後四時ヨリ同十二時ヲ過クルトキ

百九拾圓

一 日出ヨリ午前十時マテ

四拾圓

但前日ヨリ引續キ開應ノ場合ハ此ノ限ニアラス

稅關休日臨時開應特許手數料

一 午前十時ヨリ午後四時マテ

五拾圓

一 午前十時ヨリ午後六時マテ

八拾圓

一 午前十時ヨリ午後十二時迄

百四拾圓

一 午前十時ヨリ午後十二時ヲ過クルトキ

貳百四拾圓

一 日出ヨリ午前十時マテ

四拾圓

但前日ヨリ開應ノ場合ハ此限リニアラス

稅關出張所平日及休日臨時開應特許手數料

一 日出ヨリ日沒マテ

一時間マテ毎ニ

五圓

一 日沒ヨリ日出マテ

同

七圓五拾錢

一 稅關平日貨物積卸送致引取及發送特許手數料

一時間マテ毎ニ

參圓

一 稅關休日貨物積卸送致引取及發送特許手數料

一時間マテ毎ニ

貳圓

一 日出ヨリ日沒マテ

同

參圓

一 日沒ヨリ日出マテ

同

參圓

一 稅關出張所平日貨物積卸送致引取及發送特許手數料

一時間マテ毎ニ

壹圓五拾錢

一 稅關休日貨物積卸送致引取及發送特許手數料

一時間マテ毎ニ

壹圓

一 日出ヨリ日沒マテ

同

壹圓

一 日沒ヨリ日出マテ

同

壹圓

一 稅關出張所平日貨物積卸送致引取及發送特許手數料

一時間マテ毎ニ

壹圓五拾錢

一 稅關休日貨物積卸送致引取及發送特許手數料

一時間マテ毎ニ

壹圓

一 日出ヨリ日沒マテ

同

壹圓

一 日沒ヨリ日出マテ

同

壹圓五拾錢

一 稅關及稅關出張所構外検査特許手數料

一時間マテ毎ニ

參圓

一 検査ニ要スル時間

一時間マテ毎ニ

參圓

一 但旅費ヲ要スルトキハ別ニ其實費ヲ加フ

外國貿易船不開港出入特許手數料

拾圓

一 一回ニ付

臺灣關稅規則施行細則第七十六條ニ依ル手數料

拾圓

一 臺灣關稅規則施行細則第七十六條ニ依ル手數料

拾圓

一 臺灣關稅規則施行細則第七十六條ニ依ル手數料

拾圓

一 臺灣關稅規則施行細則第七十六條ニ依ル手數料

拾圓

一 臺灣關稅規則施行細則第七十六條ニ依ル手數料

拾圓

一 臺灣關稅規則施行細則第七十六條ニ依ル手數料

拾圓

一 臺灣關稅規則施行細則第七十六條ニ依ル手數料

拾圓



一 證明	每一件	貳圓
一 輸出入貨物日計表	每一箇月	貳拾圓
一 其他船舶貨物ニ關スル計表	每一件	五拾錢
臺灣總督府令第一百十號 (明治三十二年九月八日)		
明治三十二年八月府令第九十三號稅關ニ納付スヘキ手数料中稅關休日臨時開應特許手数料ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ		
出港稅ヲ課スヘキ物品及日本形船支那形船ニ關スル稅關平日休日臨時開應特許手数料	一時間マテ毎ニ	五圓
一日出ヨリ日沒マテ	同	七圓五拾錢
一日沒ヨリ日出マテ	同	七圓五拾錢
臺灣總督府令第四十號 (明治三十四年六月十九日)		
臺灣關稅規則施行細則ニ依リ稅關ニ納付スヘキ手数料及使用料左ノ通相定ム		
本令ハ明治三十四年七月一日ヨリ施行ス		
明治三十一年府令第九十三號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス		
稅關及基隆打狗支署臨時開應特許手数料		
一 午前八時ヨリ午後六時マテ	一時間マテ毎ニ	拾圓
一 午後六時ヨリ同十二時マテ	一時間マテ毎ニ	拾五圓
一 午後十二時ヨリ午前六時マテ	一時間マテ毎ニ	貳拾圓
一 午前六時ヨリ同八時マテ	一時間マテ毎ニ	拾五圓

臨時開應ハ平日午前八時ヨリ同十時マテ及午後四時ヨリ同六時マテハ二時間未滿ヲ其他ハ三時間未滿ヲ許サス但シ内地輸送ノ貨物ニ對シテハ日出ヨリ日沒マテ一時間マテ毎ニ五圓日沒ヨリ日出マテ一時間毎ニ七圓五拾錢		
稅關支署 <small>(基隆及打狗支署ヲ除ク)</small> 臨時開應特許手数料		
一 日出ヨリ日沒マテ	一時間マテ毎ニ	五圓
一 日沒ヨリ日出マテ	一時間マテ毎ニ	七圓五拾錢
臨時開應ハ單ニ出入港屈ヲ爲スニ止マル時ハ稅關及稅關支署トモ其特許手数料ハ半額トス		
稅關及稅關支署貨物積卸送致引取及發送特許手数料		
一 日出ヨリ日沒マテ	四圓	
一 日沒ヨリ日出マテ	四圓	
稅關及稅關支署構外檢査特許手数料		
一 檢査ニ要スル時間	一時間マテ毎ニ	參圓
但旅費ヲ要スルトキハ別ニ其實費ヲ加フ		
外國貿易船不開港出入特許手数料		
一 一回ニ付		拾圓
臺灣關稅規則施行細則第七十六條ニ依ル手数料		
一 證明	每一件	貳圓
一 輸出入貨物日計表	每一箇月	貳拾圓



一 其他船舶貨物ニ關スル計表	每一件	五圓乃至五拾錢
臺灣關稅規則施行細則第九十七條ニ依ル使用料		
一 舢板	船舶一隻ニ付	五日
一 土地	一坪ニ付	一箇月
一 建物	一坪ニ付	一箇月
土地建物ノ使用料ハ一箇月未滿ナルトキ十五日マテハ半箇月分十五日ヲ超ユルトキハ一箇月分ヲ徵收ス		

臺灣總督府令第十六號 (明治三十五年二月二十八日)

明治三十四年六月府令第四十號臺灣關稅規則施行細則ニ依リ稅關ニ納付スヘキ手数料及使用料中稅關及基隆打狗支署臨時開應特許手数料中末尾ニ左ノ但シ書ヲ追加ス

但シ内地輸送ノ貨物ニ對シテハ日出ヨリ日沒マテ一時間迄毎ニ五圓日沒ヨリ日出マテ一時間マテ毎ニ七圓五拾錢

四 關稅訴願

稅關長ノ處分ニ對シテ不服アル者ハ臺灣總督ニ訴願スルヲ得ヘク而シテ訴願ヲ審查セシムル爲委員會ヲ設クヘキコト關稅法ノ規定スル所ナリ仍テ明治三十二年九月勅令第三百八十七號ヲ以テ臺灣關稅及出港稅訴願審查委員會規則ヲ定メ次テ明治三十四年十月律令第十三號ヲ以テ臺灣關稅規則並臺灣輸出稅及出港稅規則ニ依ル訴願ニ關シテハ明治二十三年法律第一百五號訴願法ヲ準用スヘキコトヲ定ム左ニ委員會規則ヲ示サン

勅令第三百八十七號 (明治三十二年九月)

臺灣關稅及出港稅訴願審查委員會規則

- 第一條 關稅法第六十九條ニ依ル委員會ハ臺灣關稅及出港稅訴願審查委員會ト稱シ會長一人委員五人ヲ以テ組織ス
- 第二條 會長ハ臺灣總督府民政長官委員ハ臺灣總督府高等官三人臺灣總督府法院判官二人ヲ以テ之ニ充ツ
- 第三條 特別ノ必要アル場合ニ於テハ前條定員ノ外臨時委員ヲ命スルコトヲ得
- 第四條 委員ハ臺灣總督ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス
- 第五條 會長事故アルトキハ其指名シタル委員ヲシテ事務ヲ代理セシム
- 第六條 關稅及ビ出港 訴願審查委員會ニ幹事一人ヲ置キ臺灣總督府高等官ヲ以テ之ニ充ツ 幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
- 第七條 關稅及出港稅訴願委員會ニ書記二人ヲ置キ臺灣總督府屬ヲ以テ之ニ充ツ 書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス
- 第八條 書記ニハ事務ノ繁閑ニ應シ相當ノ手當ヲ給スルコトヲ得

第三 關稅ノ稅率

次ニ關稅ノ稅率ニ付テハ明治三十年七月律令第八號臺灣鐵道會社鐵道材料輸入稅ヲ免ヌ翌三十一年五月勅令第九十一號ヲ以テ明治二十三年法律第八十二號即チ小包郵便ヲ以テ外國ニ輸出ス



ル物品ハ總テ關稅ヲ免除スルノ件ヲ臺灣ニ施行ス次テ同年九月勅令二百十三號ヲ以テ明治三十年法律第十四號關稅定率法ヲ内地ト同シク明治三十二年一月一日ヨリ施行スルコト、ス而シテ關稅定率法第三條ニ依リ明治三十一年九月勅令第二百二十號ヲ以テ輸入物品從量稅目ヲ定メタルカ該稅目中刻煙草ノ稅目ハ臺灣ニ施行セサルコト、シ明治三十一年十二月勅令第三百五十五號ヲ以テ之ヲ發布セリ後明治三十二年七月ニ至リ律令第十九號ヲ以テ臺灣輸出稅及出港稅規則ヲ定メ一般輸出及内地輸送ノ物品ニ對シ一定ノ稅率ニヨリ課稅シ其規則ヲ設ケサル事項ニ付テハ關稅法ヲ準用スヘキモノトシ次テ之カ施行規則ニ付テハ臺灣關稅規則施行細則ヲ準用スヘキモノトス即チ左ノ如シ

律令第八號 (明治三十年七月二十二日)

臺灣鐵道會社鐵道敷設用材料輸入稅免除規則

第一條 臺灣鐵道會社ニ於テ鐵道敷設ノ爲ニ要スル材料ニシテ左ニ掲クルモノハ輸入稅ヲ免除ス

- 一 汽關車、客車、貨車及其附屬品
- 二 軌鐵及其附屬品
- 三 橋梁用鐵材
- 四 軌道用木材

前各項ノ貨物ハ臺灣鐵道會社又ハ其代理者ニ於テ直接輸入スルモノニ限ル

第二條 輸入稅免除ヲ受ケタル貨物ヲ轉賣讓與若ハ他ノ物品ト交換セントスルトキハ臺灣鐵

道會社ハ臺灣總督ノ證明ヲ受ケ輸入港稅關ニ輸入稅ヲ納ムヘシ但會社ニ於テ之ヲ供用シタル後其使用ニ堪ヘサルニ至リ臺灣總督ノ認許ヲ受ケ不用物品トシテ轉賣讓與又ハ交換スルモノハ此限ニアラス

第三條 輸入稅免除ヲ受クヘキ貨物ノ數量ハ臺灣鐵道會社ニ於テ豫メ限定シ臺灣總督ノ認許ヲ受クヘシ

第四條 臺灣鐵道會社ハ帳簿ヲ設ケ輸入稅免除ヲ受ケテ陸揚シタル貨物ノ出納ヲ明ニスヘシ帳簿ノ様式ハ臺灣總督之ヲ定ム

第五條 第二條ノ規定ニ背キ輸入稅ヲ納メス又ハ臺灣總督ノ認許ヲ受ケスシテ轉賣讓與又ハ交換ヲ爲シタルトキハ輸入稅額ニ倍ノ罰金ニ處ス

第六條 本令ノ有効期限ハ本令發布ノ日ヨリ五箇年間トス

勅令第九十一號 (明治三十一年五月十一日)

明治二十三年法律第八十二號ヲ臺灣ニ施行ス

勅令第二百十三號 (明治三十一年九月十五日)

明治三十年法律第十四號關稅定率法ヲ明治三十二年一月一日ヨリ臺灣ニ施行ス

勅令第三百五十五號 (明治三十一年二月二十二日)

明治三十一年勅令第二百二十號輸入物品從量稅目刻煙草ノ稅目ハ臺灣ニ施行セス

律令第十九號 (明治三十一年七月)

臺灣輸出稅及出港稅規則



第一條 本島ヨリ輸出スル物品ニシテ附屬稅表ニ掲クルモノハ同表ノ稅率ニヨリ輸出稅ヲ課ス

第二條 附屬稅表中第五號第六號第八號第九號第十三號第十八號第十九號第二十號第二十一號第二十二號第二十三號第二十四號第二十六號及第三十三號乙ノ本島產物品ヲ内地ニ輸送スルトキハ出港稅ヲ課ス其稅率ハ第十九號ニアリテハ壹圓第二十號ニアリテハ六拾錢其他ノ物品ハ輸出稅ニ同シ

前項ノ物品ハ開港ニ由ルニアサレハ内地ニ輸送スルコトヲ得ス

第三條 此規則ニ規定セサル事項ハ關稅法ノ規定ヲ準用ス

附則

第四條 此規則ハ明治三十二年七月十七日ヨリ施行ス

輸出稅率表

番號	品名	數量	從量稅率	從價稅率	類別	每百斤
一	第一類 染料	每百斤	二五〇	四	豆	〇九〇
二	第二類 穀物及飲食物	每百斤	二五〇	五	乾	七七〇
三	第三類 麥	同	二五〇	六	鹹	二八〇
四	第四類 苧	同	二五〇	七	落花生	二五〇
五	第五類 肉	同	二五〇	八	乾	三九〇
六	第六類 龍	同	二五〇	九	肉	五四〇

一〇	菜子	每百斤	二五〇	五〇	粉	五五〇
一一	米	同	二五〇	三三	荳	五五〇
一二	胡麻	同	二二〇	二四	苧	五四〇
一三	鯨	同	七七〇	二五	苧	五〇
一四	赤砂	同	二五〇	二六	麻	五〇〇
一五	白砂	同	二二〇	二七	石炭及屑石炭	二五〇
一六	小麥	同	二五〇	二八	鳳梨織	五〇
一七	獸骨	同	七七〇	二九	田菁	五〇
一八	生皮	同	七七〇	三〇	藍	五〇
一九	烏龍茶	同	一六〇〇	三一	油	〇五〇
二〇	包種茶	同	一二〇〇	三二	蘆草及蘆草紙	五〇
二一	番茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
二二	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
二三	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
二四	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
二五	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
二六	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
二七	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
二八	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
二九	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
三〇	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
三一	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
三二	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
三三	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
三四	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
三五	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
三六	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
三七	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
三八	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
三九	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇
四〇	茶	同	五五〇	三三	籐	五〇



律令第九號 (明治三十四年八月十六日)

明治三十二年律令第十九號臺灣輸出稅及出港稅規則附屬稅表中左ノ通改正ス

番 號	品 名	數 量	從 量 稅 率
一四	赤砂糖	每百斤	四五〇
一五	白砂糖	同	五六〇

附 則

本令ハ明治三十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十九年同令第十一號糖業稅則第九號ニ依リ納稅シタル砂糖ヲ本令施行ノ日ヨリ三箇月以內ニ輸出スルトキハ赤砂糖ニハ百斤ニ付金拾五錢白砂糖ハ百斤ニ付金貳拾壹錢ノ輸出稅ヲ課スルモノトス

臺灣總督府令第九十四號 (明治三十二年八月十五日)

臺灣輸出稅及出港稅規則施行細則左ノ通相定ム

臺灣輸出稅及出港稅規則施行細則

第一條 臺灣輸出稅及出港稅規則ニ關スル施行細則ハ臺灣關稅規則施行細則ノ規定ヲ準用ス

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十六年九月ニ至リ律令第四號ヲ以テ夕錢ノ輸入ヲ禁止シ同時ニ律令第五號ヲ以テ粗銀ノ

輸入稅ヲ定ム

律令第四號 (明治三十六年九月二十六日)

夕錢(粗銀ナル方孔錢)ノ輸入ヲ禁止ス本令ハ明治三十七年四月一日ヨリ施行ス

律令第五號 (明治三十六年九月二十六日)

粗銀ノ輸入ヲ爲ス場合ハ其ノ價格百分五ニ相當スル輸入稅ヲ課ス  
本令ハ明治三十七年四月一日ヨリ施行ス

第四 保稅倉庫

臺灣ニ於ケル保稅倉庫ニ關シテハ明治三十一年十二月律令第二十六號ヲ以テ明治三十年法律第十五號保稅倉庫法ニ依ルヘキコトヲ規定シ而シテ明治三十二年一月總督府令第四號ヲ以テ之カ施行規則ヲ設ケ貨物ノ藏置及運搬預證券私設倉庫ノ特許及倉主ノ責任及雜則ニ付テ規定セリ

律令第二十六號 (明治三十一年十月)

第一條 輸入手數未濟ノ貨物ヲ藏置スル倉庫ニ關シテハ明治三十年法律第十五號保稅倉庫法ニ依ル

第二條 保稅倉庫法中主務大臣ノ職務ニ屬スルモノハ臺灣總督之ヲ行フ

附 則

第三條 本令ハ明治三十二年一月一日ヨリ施行ス

臺灣總督府令第四號 (明治三十二年一月十七日)



保税倉庫ニ關スル律令施行細則左ノ通相定ム

保税倉庫ニ關スル律令施行細則

第一章 貨物ノ藏置及運搬

第一條 官設保税倉庫ニハ左ノ各項ニ觸レサル物品ハ之ヲ藏置スルコトヲ得

一 無稅品

二 巨大ナルモノ及重量ナルモノ

三 損傷腐敗セシモノ又ハ損傷腐敗シ易キモノ

四 發火質燃燒質又ハ爆發質ノモノ

五 倉庫又ハ他ノ貨物ヲ汚損スヘキモノ

六 動物及植物

七 不潔物

第二條 私設保税倉庫ニ藏置スル貨物ノ種類ハ臺灣總督ノ認可ヲ得タルモノニ限ル

第三條 保税倉庫ニ貨物ヲ藏置セントスル者ハ庫入願書ヲ倉庫所在地ノ稅關又ハ稅關出張所ニ差出シ貨物ノ檢査ヲ經庫入免狀ヲ受クヘシ但回送貨物ナルトキハ第七條ノ回送免狀ヲ添

付スヘシ

第四條 藏置貨物ノ全部又ハ一部ヲ引取ラントスル者ハ輸入願書ヲ稅關又ハ稅關出張所ニ差

出シ輸入稅ヲ納メ輸入免狀ヲ受クヘシ

第五條 藏置貨物ヲ庫移セントスル者ハ庫移願書ヲ稅關又ハ稅關出張所ニ差出シ庫移免狀ヲ

受クヘシ但庫移ノ爲メ回送ヲ要スルトキハ此限リニアラス

第六條 藏置貨物ヲ外國ニ積戻サントスル者ハ積戻願書ヲ船積港ノ稅關又ハ稅關出張所ニ差出シ積戻免狀ヲ受クヘシ但回送貨物ナルトキハ第七條ノ回送免狀ヲ添付スヘシ

第七條 保税倉庫ニ庫入又ハ庫移ノ爲メ輸入手數未済貨物ヲ運搬セントスルトキハ回送願書

二通ヲ其發送地ノ稅關又ハ稅關出張所ニ差出シ檢査ヲ經回送免狀ヲ受クヘシ

保税倉庫ニ藏置ノ貨物ヲ外國ニ積戻ス爲メ運搬ヲ要スルトキハ亦前項ニ同シ

第八條 稅關又ハ稅關出張所ニ於テ必要アリト認ムルトキハ貨主ヲシテ回送貨物ニ對スル輸

入稅金ヲ假納セシムヘシ

第九條 回送貨物仕向地ニ到達スルトキハ其回送免狀ニ仕向地ノ稅關又ハ稅關出張所ノ證明

ヲ受ケ發送地ノ稅關又ハ稅關出張所ニ差出スヘシ其稅金ヲ假納シタルモノハ其際之ヲ拂戻スモノトス

第十條 回送貨物仕向地ニ到着セサルモノアルトキハ其貨物ニ對スル稅金ヲ徵收ス但納金アルトキハ其假納金ヲ以テ稅金ニ充ツルモノトス

第十一條 稅關又ハ稅關出張所ニ於テ必要ト認ムルトキハ貨物運搬ノ途中稅關官吏ヲシテ之ヲ監督セシムルコトアルヘシ

第十二條 官設保税倉庫藏置ノ貨物引取ノ權利ニ付訴訟アル場合ニ於テ其當事者ヨリ藏置期限ノ延期ヲ請ハントスルトキハ其期限ヲ豫定シ出訴ノ年月日事由及出訴シタル法院ノ名稱等ヲ記シタル藏置期限延期願書ヲ稅關又ハ稅關出張所ニ差出シ認可ヲ受クヘシ但延期豫定



期限内ニ訴訟事件終結セサルトキハ更ニ延期ヲ求ムルコトヲ得

第十三條 包裝ノ完全ナラサル貨物ハ改装シタル上ニアラサレハ庫入スルコトヲ得ス

第十四條 庫入シタル貨物ハ税關官吏ノ指定シタル場所ニ藏置スヘシ税關官吏ノ許可ヲ受クルニアラサレハ其場所ヲ變更スルコトヲ得ス

第十五條 他ノ貨物ヲ傷害若ハ汚損スヘキ虞アル貨物ハ他ノ貨物ト混同シテ藏置スル事ヲ得ス

第十六條 藏置貨物ノ見本ノ取出サントスル者ハ其品名及數量ヲ記シタル書面ヲ税關又ハ税關出張所ニ差出シ承認ヲ受クヘシ

官設保税倉庫ヨリ見本ヲ取出サントスルトキハ前項ノ書面ニ預證券ヲ添フヘシ税關又ハ税關出張所ハ其取出シタル見本ノ數量及取出ノ月日ヲ預證券ニ記入シタル上之ヲ還付スヘシ

第二章 預證券

第十七條 官設保税倉庫ニ貨物ノ庫入ヲ了シタルトキハ税關又ハ税關出張所ハ税關長若ハ税關出張所長ノ署名捺印シタル預證券ヲ貨主ニ交付スヘシ

預證券ニハ左ノ事項ヲ記入スヘシ

- 一 貨物ノ品名、記號、番號、個數、數量
- 二 陸揚申告及庫入年月日
- 三 貨主ノ住所氏名
- 四 倉庫所在地及番號
- 五 輸入稅額

六 庫敷料

第十八條 預證券ハ每品一通トス但貨主ノ請求ニヨリ分割スルコトアルヘシ

第十九條 預證券讓渡ノ裏書ハ其讓受人ノ氏名及讓渡ノ年月日ヲ記シ讓渡人之ニ署名捺印スヘキモノトス但便宜ニ依リ裏書ニ讓渡人ノ署名捺印ノミヲ以テ讓渡ヲ爲スコトヲ得

第二十條 預證券ニ記載シタル貨物ノ一部ヲ引取リタル者殘留スル貨物ニ對シ預證券ノ再渡ヲ請フヘシ

第二十一條 預證券盜難ニ罹リ又ハ紛失滅失シタルトキハ其證券ヲ發シタル税關又ハ税關出張所ニ届出ツヘシ

前項ノ預證券發見ノ場合ニ於テモ亦同シ

第二十二條 預證券盜難ニ罹リ又ハ紛失シタルトキ新證券ノ交付ヲ請ハントスル者ハ再渡願書ニ除權判決ノ謄本ヲ添ヘ其證券ヲ發シタル税關又ハ税關出張所ニ差出スヘシ

第二十三條 預證券ノ分割再渡又ハ書換ヲ請フ者ハ手数料トシテ一通ニ付金參拾錢ヲ納ムヘシ

第三章 私設保税倉庫營業ノ特許及倉主ノ責務

第二十四條 保税倉庫法ニ依リ保税倉庫ヲ設ケ輸入手數未済貨物ヲ保管スルノ業ヲ營マントスル者ハ其倉庫ノ位置、構造、棟數、坪數、藏置スヘキ貨物ノ種類、營業年限ヲ記シタル書面及倉庫並附近ノ圖面ヲ添ヘ其倉庫ヲ設立セントスル地ノ管轄地方廳ヲ經由シテ臺灣總督ニ出願スヘシ但シ會社ニ在テハ別ニ契約書又ハ定款ノ謄本ヲ添フヘシ



會社ヲ組織シテ本業ヲ營マントスル者ハ前項書類ノ外合名會社合資會社ニ在テハ其契約書ノ謄本ヲ添ヘ社員ヨリ株式會社ニ在テハ發起認可書ノ謄本及假定期謄本ヲ添ヘ發起人ヨリ出願スヘシ

第二十五條 私設保税倉庫營業ノ特許ハ三十箇年以内ニ於テ相當ノ期限ヲ定メ之ヲ與フルモノトス但特許期限ノ延期ヲ出願スル者アルトキハ調査ノ上之ヲ認可スルコトアルヘシ

第二十六條 私設保税倉庫營業ノ特許ヲ得タル者ハ少クモ開業ノ日ヨリ十日前ニ擔保物ヲ供託シ其供託受領證ノ寫ヲ添ヘ稅關出張所ニ届出ツヘシ

供託物ハ保税倉庫法ニ依リ庫主ニ屬スル義務ノ解除ニ至ルトキハ其旨ヲ稅關又ハ稅關出張所ニ申出テ稅關長又ハ稅關出張所長ノ證明ヲ得テ之カ返戻ヲ求ムルコトヲ得

第二十七條 擔保ハ左ノ割合ニ依リ之ヲ徵ス但石油ヲ藏置スル倉庫ハ半額トス  
平家建總坪數五十坪マテ 金千圓

以上五十坪マテヲ増ス毎ニ金千圓ヲ加フ  
二階建坪數五十坪マテ 金千五百圓

以上五十坪マテヲ増ス毎ニ金千五百圓ヲ加フ

第二十八條 私設保税倉庫坪數ノ増加若ハ構造ノ變更ニ依リ擔保ノ増加ヲ要スルトキハ庫主ハ稅關長又ハ稅關出張所長ノ指揮ニ從テ其増加額ニ相當スル擔保物ヲ供託スヘシ

第二十九條 私設保税倉庫坪數ノ減少若クハ構造ノ變更ニ依リ擔保ニ過剩ヲ生スルトキハ庫主ハ稅關長又ハ稅關出張所長ニ申出テ其減少ヲ求ムルコトヲ得

第三十條 私設保税倉庫ヲ改築シ又ハ構造ヲ變更シ若ハ之ヲ増設シ又ハ減少セントスルトキ

ハ庫主ハ稅關又ハ稅關出張所ニ申出テ認許ヲ受クヘシ

第三十一條 私設保税倉庫營業ノ特許ヲ得タル者ハ其開業前ニ又倉庫ノ改築構造ノ變更若ハ増減ノ認許ヲ得タル者ハ工事落成ノトキ稅關又ハ稅關出張所ニ申出テ其倉庫ノ検査ヲ受クヘシ

第三十二條 私設保税倉庫ノ修繕又ハ造作ノ變更ヲ爲サントスルトキハ庫主ハ稅關又ハ稅關出張所ニ申出テ承認ヲ受クヘシ

第三十三條 庫主私設保税倉庫ノ營業特許期限内ニ營業ヲ廢セントスルトキハ其旨ヲ稅關又ハ稅關出張所ニ届出ツヘシ

第三十四條 私設保税倉庫營業特許消滅ノトキ其業務ヲ引繼カントスル者ハ第二十四條ノ規定ニ準據シ臺灣總督ニ出願スヘシ但此場合ニ於テ其使用スル倉庫ニ異動ナキモノハ圖面ヲ添付スルヲ要セス

第三十五條 私設保税倉庫藏置ノ認可ヲ得タル貨物ノ種類ヲ變更セントスルトキハ臺灣總督ノ認許ヲ受クヘシ

第三十六條 發火質燃燒質又ハ爆發質ノ貨物ハ特ニ其貨物藏置ノ爲メ設ケタル倉庫ノ外之ヲ藏置スルコトヲ得ス

第三十七條 私設保税倉庫又ハ其藏置貨物ニ異狀アリタルトキハ直ニ其旨ヲ稅關又ハ稅關出張所ニ申出テ稅關官吏ノ臨檢ヲ受クヘシ



第三十八條 私設保稅倉庫藏置ノ貨物盜難ニ罹リ又ハ紛失滅失シタルトキハ庫主ハ其貨物ニ對スル輸入稅ヲ納ムヘシ

第三十九條 私設保稅倉庫藏置ノ貨物藏置期限ヲ經過シ貨主其貨物ヲ引取ラサルトキハ稅關又ハ稅關出張所ハ庫主ヲシテ納稅其他輸入ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第四十條 私設保稅倉庫ノ庫主自身ニ業務ヲ擔當スル能ハサルトキハ相當ノ代理者ヲ置キ其業務ヲ擔當セシムヘシ

第四十一條 私設保稅倉庫ノ庫主ハ稅關長又ハ稅關出張所長ノ指揮ニ從ヒ貨物検査上必要ノ場所ヲ設ケ器具機械ヲ備ヘ其他相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第四十二條 私設保稅倉庫ノ庫主ハ貨物ノ検査ヲ受クルトキ検査上一切ノ利便ヲ與フルノ義務アルモノトス

第四十三條 私設保稅倉庫ニハ二重鎖鑰ヲ設ケ其鑰一個ハ稅關又ハ稅關出張所ノ保管ニ付スヘシ

第四十四條 私設保稅倉庫ノ開閉又ハ貨物出入ヲ爲ストキハ稅關官吏ノ立會ヲ受クヘシ

第四十五條 私設保稅倉庫ノ業務ニ從事スル者ノ氏名ハ其庫主ヨリ稅關又ハ稅關出張所ニ届出ツヘシ其變更アルトキ亦同シ

第四十六條 庫主ノ雇人及其使用スル人夫ニシテ私設保稅倉庫内若ハ其構内ニ出入スル者ニ付テハ庫主ハ相當ノ取締方法ヲ設クヘシ

第四十七條 私設保稅倉庫ノ庫主ハ藏置貨物ニ關スル帳簿ヲ設ケ其出入ヲ明カニスヘシ

第四十八條 私設保稅倉庫ノ庫主ハ稅關又ハ稅關出張所ノ命令ニ從ヒ其營業ニ關スル諸般ノ報告書ヲ差出スヘシ

第四章 雜則

第四十九條 保稅倉庫ノ開扉ハ日出ヨリ日沒マテノ間ニ限ルモノトス

第五十條 稅關ノ休日ニ於テ保稅倉庫ノ開扉ヲ要スルトキハ臨時開庫願書ヲ稅關又ハ稅關出張所ニ差出シ特許ヲ受クヘシ

第五十一條 稅關ノ休日ニ於テ保稅倉庫ノ開扉ヲ要スルトキハ一時間ニ付金壹圓ヲ納ムヘシ

第五十二條 保稅倉庫法第十六條第十七條及第二十七條ノ公告ハ關係ノ稅關又ハ稅關出張所ニ揭示スルノ外三日以上府報又ハ新聞紙ヲ以テ公告スヘシ

第五十三條 貨物庫入ノ日ヨリ起算スル期間ハ庫入免狀交付ノ日ヨリ計算ス

第五十四條 貨主其藏置貨物ノ調査ヲ爲サントスルトキハ稅關又ハ稅關出張所ニ申出テ承認ヲ受クヘシ

第五十五條 庫内ニハ火氣ヲ入ルルコトヲ得ス但燈火ヲ要スル時ハ軍艦用ノ提燈ヲ用フヘシ

第五十六條 此規則ニ依リ左ノ願書ヲ稅關又ハ稅關出張所ニ差出ストキハ其取扱ノ手数料トシテ毎件金貳拾錢ヲ納ムヘシ

- 一 庫入願書
- 一 庫移願書
- 一 積戻願書



- 一 藏置期限延期願書
- 一 回送願書

第五十七條 官設保税倉庫ニ藏置ノ貨物ニ係ル運搬費公告料其他貨物取扱ノ費用ハ貨主ノ負擔トス

前項ノ諸費ニシテ政府ニ辨償スヘキモノハ貨物庫出ノトキ税關又ハ税關出張所ニ納ムヘシ  
第五十八條 此規則ニ依リ税關又ハ税關出張所ニ差出スヘキ願書及届書ハ税關一定ノ書式ニ依ルヘシ

又右施行規則ノ發布ト同時ニ總督府告示第十二號ヲ以テ官設保税倉庫ニ於ケル敷料ヲ定ム即チ左ノ如シ

臺灣總督府告示第十二號 (明治三十二年一月十七日)  
官設保税倉庫敷料左ノ通相定ム

番號	品名	每立方尺一箇月庫敷料
一	第一類 布帛	
一	ブランケット	〇一五
二	旗布	〇二〇
三	吳呂	〇二〇
四	地氈類	〇一〇
五	毛綿羅紗	〇一〇
六	綿純子	〇四〇
七	雲齊布	〇二〇
八	綿帆布	〇二〇
二七	支那絹紬	〇五五
二八	支那絹縞子	〇二五
二九	唐棧	〇二〇
三〇	浴巾	〇一〇
三一	毛綿製旅氈	〇一五
三二	毛製旅氈	〇一五
三三	寒冷紗	〇一五
三四	羅紗	〇三〇
三五	毛製襪衣	〇一五
三六	支那綿布	〇一五
三七	絹布類	〇五五
第二類 絲縷		
三八	綿縫絲	〇三〇
三九	綿織絲	〇二〇
四〇	麻織絲	〇二〇
四一	生絲	〇一〇
四二	麻縫絲	〇二〇

九	綿イタリアンス	〇一五	二七	支那絹紬	〇五五
一〇	更紗類	〇二〇	二八	支那絹縞子	〇二五
一一	綿縞子	〇一五	二九	唐棧	〇二〇
一二	綿天竺絨	〇一五	三〇	浴巾	〇一〇
一三	柳條布	〇二〇	三一	毛綿製旅氈	〇一五
一四	靴護謨布	〇一〇	三二	毛製旅氈	〇一五
一五	フランネル	〇一五	三三	寒冷紗	〇一五
一六	毛綿フランネル	〇二〇	三四	羅紗	〇三〇
一七	麻製襪衣	〇一〇	三五	毛製襪衣	〇一五
一八	綿製手巾	〇一〇	三六	支那綿布	〇一五
一九	イタリアン、クロース	〇二〇	三七	絹布類	〇五五
二〇	綾吳呂	〇三〇	第二類 絲縷		
二一	麻布類	〇二〇	三八	綿縫絲	〇三〇
二二	縮緬吳呂	〇二〇	三九	綿織絲	〇二〇
二三	セルヂス	〇三〇	四〇	麻織絲	〇二〇
二四	金巾類	〇二〇	四一	生絲	〇一〇
二五	絹綿布	〇三〇	四二	麻縫絲	〇二〇
二六	絹綿縞子	〇四〇			



四三	毛絲	〇二〇	五九	麥粉	〇一〇
第三類 衣服及附屬品			六〇	木耳	〇一〇
四四	肩衣	〇二〇	六一	茶	〇二〇
四五	綿製メリヤス襦袢股引	〇二〇	六二	索繩	〇一〇
四六	毛製メリヤス襦袢股引	〇二〇	六三	豆類	〇一〇
四七	毛綿製メリヤス襦袢股引	〇三〇	第五類 酒類		
四八	帽子類	〇二〇	六四	麥酒	〇一〇
四九	靴類	〇二〇	六五	ブランデー	〇一〇
五〇	手袋	〇一五	六六	シャンパン	〇一五
五一	足袋	〇一〇	六七	杜松子酒	〇一〇
各種衣類		〇二〇	六八	ホルト	〇一〇
第四類 食物			六九	ウキスキ	〇一〇
五三	乳油	〇一五	七〇	葡萄酒	〇一〇
五四	乾酪	〇一〇	七一	支那酒	〇一〇
五五	咖啡	〇一〇	第六類 煙草		
五六	乳膏	〇一五	七二	卷煙草	〇一五
五七	胡椒	〇一〇	七三	紙卷煙草	〇一五
五八	糖菓類	〇一五	七四	刻煙草	〇一五

七五	同(罐入ノモノ)	〇三五	九一	規尼涅	〇二〇
第七類 砂糖			九二	靛羅謨刺篤亞斯	〇二〇
七六	砂糖	〇一〇	九三	大黃	〇一〇
七七	精糖	〇一〇	九四	泊美蘭	〇五〇
七八	氷砂糖	〇一〇	九五	人參	〇二〇
第八類 藥材、化學藥及製藥			九六	重碳酸曹達	〇一〇
七九	明礬	〇一〇	九七	濃藥各種	〇一〇
八〇	安知狀貌林	〇二五	第九類 染料、彩料及塗料		
八一	安知必林	〇九〇	九八	(アニリン)染料	〇二〇
八二	檳榔子	〇一〇	九九	青銅粉	〇一〇
八三	桂皮	〇一〇	一〇〇	乾藍	〇三〇
八四	桂皮油	〇二〇	一〇一	栲皮	〇一〇
八五	丁香	〇一〇	一〇二	色油	〇一〇
八六	阿仙藥及檳榔膏	〇一〇	一〇三	同(樽入ノモノ)	〇四〇
八七	屈里設林	〇一〇	一〇四	紅花	〇二〇
八八	亞拉尼亞護謨	〇一〇	一〇五	蘇木	〇一〇
八九	沃度	〇二〇	一〇六	洋漆	〇一五
九〇	醋酸鉛(鉛糖)	〇一八〇	一〇七	支那漆	〇二〇



一〇八	朱	〇二〇	一三四	黃銅板	〇三〇
第十類 金屬及金屬製品					
第一					
一〇九	(キヤプシユール)(銀口ニ用ユル金具)	〇二〇	一二五	鐵、軟鋼及鋼條	〇一〇
一一〇	時計彈器	〇二〇	一二六	塊	〇〇五
一一一	鐘(箱入ノモノ)	二六〇	一二七	竿	〇一〇
一一二	同(樽入ノモノ)	〇二〇	一二八	板	〇一〇
一一三	日耳曼銀	〇二〇	一二九	線(樽入ノモノヲ除ク)	〇一五
一一四	鍍金銀器	〇二〇	一三〇	鉛(塊)	〇一〇
一一五	鐵釘	〇二〇	一三一	錫(塊)	〇四〇
一一六	鐵線(樽入ノモノ)	〇一〇	第十一類 時計、學術器具及機械類		
一一七	鉛管	〇一〇	一三二	手風琴	〇一〇
一一八	鉛板(卷キタルモノ)	〇二〇	一三三	掛時計	〇一〇
一一九	水銀	〇二五	一三四	置時計	〇一五
一二〇	暹結爾	〇三〇	一三五	寫真器	〇一五
一二一	散彈	〇二〇	一三六	顯微鏡	〇六〇
一二二	葉鐵	〇二〇	一三七	オールゴール	〇三五
一二三	傘骨	〇一〇	一三八	寫真眼鏡(寫真器ト同装シタルモノヲ除ク)	〇六〇

一三九	ピアノ	〇一〇	一五五	玻璃器	〇一〇
一四〇	縫衣器機	〇一〇	一五六	總玻璃片	〇一〇
一四一	望遠鏡	〇二〇	第十四類 油 蠟		
第十二類 角牙皮革					
一四二	牛骨	〇一〇	一五七	牛脂	〇一〇
一四三	鹽漬毛皮	〇一五	一五八	阿列布油	〇一〇
一四四	牛蹄	〇一〇	一五九	無味香蠟	〇一〇
一四五	鹿角	〇一〇	一六〇	蠟燭	〇二〇
一四六	牛角及水牛角	〇一〇	第十五類 紙及文具		
一四七	海馬牙	〇三五	一六一	墨汁	〇一〇
一四八	象牙	〇五〇	一六二	唐紙類	〇一〇
一四九	塗革	〇三〇	一六三	壁紙	〇一〇
一五〇	革	〇一〇	一六四	印刷料紙	〇一〇
一五一	靴底革	〇一〇	一六五	鉛筆	〇二〇
第十三類 玻璃及玻璃製品					
一五二	空瓶	〇一〇	一六六	寫真用紙	一九五
一五三	玻璃鏡	〇一〇	一六七	畫紙	〇一〇
一五四	プレート玻璃片(水銀ヲ塗タルト否トノ別ナク)	〇一〇	一六八	毛筆	〇二〇
			一六九	禮拜紙	〇一〇
			一七〇	封蠟	〇一〇



第十六類 雜品			
一七一 石絨	〇一〇 <sup>円</sup>	一八八 椰皮蓆	〇一〇 <sup>円</sup>
一七二 革帶(機械用ノモノ)	〇一五	一八九 香水	〇一五
一七三 自轉車	〇二〇	一九〇 陶器	〇一〇
一七四 帆布管	〇一〇	一九一 バツテキ	〇一〇
一七五 ボルトランド、セメント	〇一〇	一九二 藤	〇一〇
一七六 苧麻繩索(船用ノモノ)	〇一〇	一九三 白檀	〇一〇
一七七 塞子	〇一〇	一九四 靴墨	〇一〇
一七八 棉種子	〇一〇	一九五 化粧石鹼	〇一〇
一七九 護謨紐	〇二〇	一九六 洗濯石鹼(流動石鹼ヲ除ク)	〇一〇
一八〇 電燈用ランプ	〇一〇	一九七 黑檀	〇一〇
一八一 金剛砂布	〇一〇	一九八 紫檀	〇一〇
一八二 阿膠	〇一〇	一九九 毛打紐	〇三〇
一八三 石膏	〇一〇	二〇〇 紙箱	〇一〇
一八四 香油	〇一〇	二〇一 茶箱用板	〇一〇
一八五 護謨板	〇二〇	二〇二 鐵鍋	〇一〇
一八六 護謨器具	〇一〇	二〇三 蝙蝠傘	〇一〇
一八七 麥牙	〇一〇	二〇四 木器	〇一〇
		二〇五 鈕釦類(金銀寶石製ヲ除ク)	〇二〇

第十七類 貴重品			
二〇六 アルミニウム	二二二	二二一 麝香	同
二〇七 珊瑚	同	二二二 プラチナ	同
二〇八 金銀箔	同	二二三 寶石及眞珠	同
二〇九 金液及銀液	同	二二四 金銀絲	同
二一〇 金銀細貨類	同	二二五 懷中時計	同
		二二六 其他ノ貴重品	同

本表ニ掲ケサル物品ハ表中類似品ノ定率ヲ準用ス其類似物品ナキトキハ每立方尺一箇月壹錢五厘ノ庫敷料ヲ徴收ス

庫敷料ハ一箇月毎ニ計算ス一箇月未滿ナル時ハ十五日マテハ半箇月分十五日ヲ超ユル時ハ全月分ヲ徴收ス庫敷料ハ貨物庫出ノ時之ヲ徴收ス庫敷料ノ總額ニ厘位ヲ生スル時ハ切捨テトス

### 第五 關稅監視

臺灣ニ於テハ明治三十年二月勅令第二十四號ヲ以テ稅關長以下稅關監吏補ニ至ルマテノ服制ヲ定メ又明治三十二年十一月府令第百二十號ヲ以テ稅關官吏タル資格ヲ證明スル證票樣式ヲ定メタリ特ニ臺灣ニ於テハ危急ニ應スル必要上稅關監吏ニ銃器ヲ携帯セシムルコト、セリ

#### 一 制服

勅令第二十四號 (明治三十年二月二十二日)



























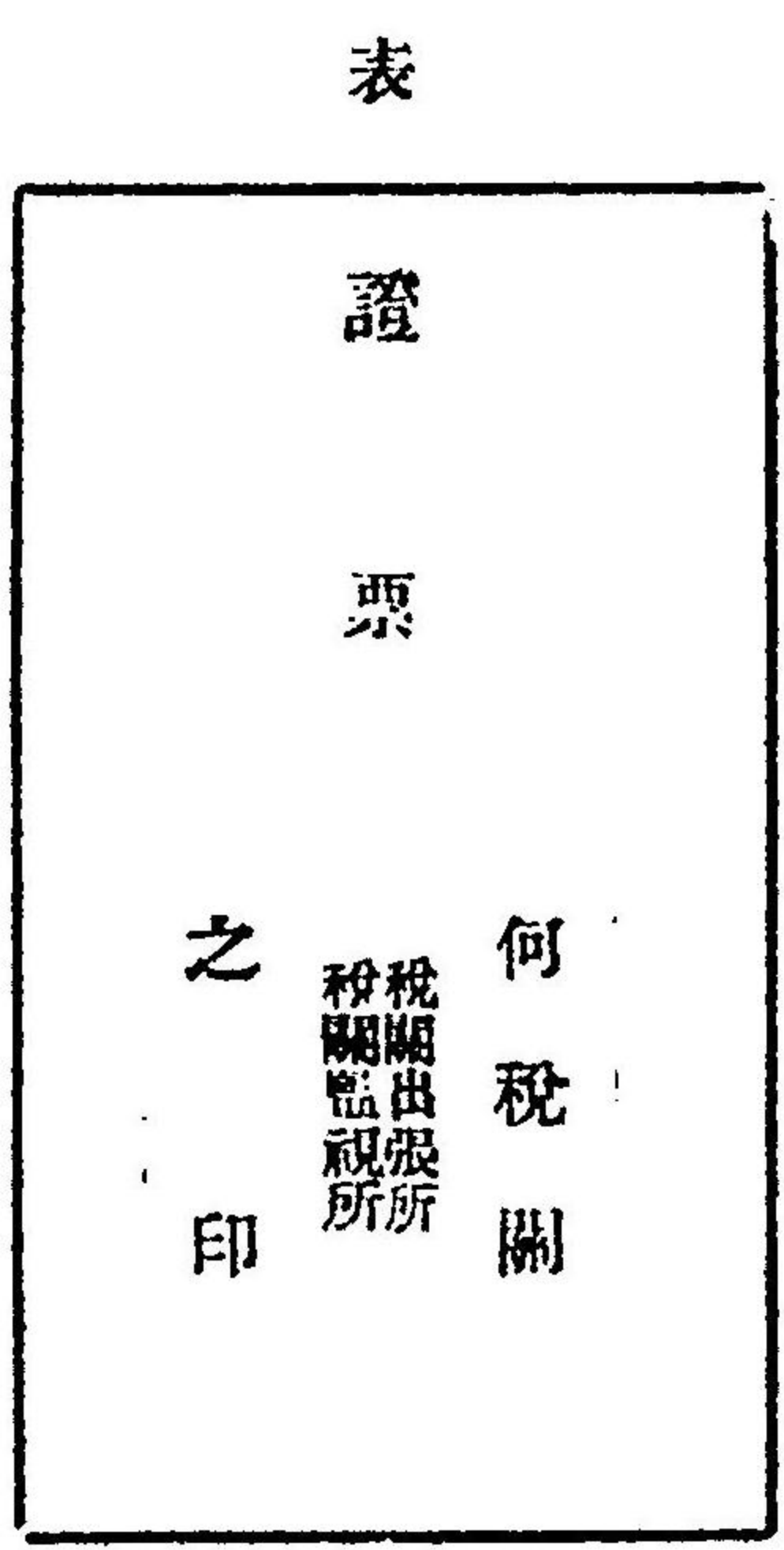
備考	劍	表裏革裏茶革 幅一寸三分長 尺五寸金具一 寸五分金具一 寸二分金具一 寸一分金具一 如シ	同	上	同上但シ裏革 赤色	同上但シ裏革 紫色	同上但シ裏革 赤色	同上但シ裏革 紫色	同上但シ裏革 赤色	同上但シ裏革 赤色
	劍	表裏革裏茶革 幅一寸三分長 尺五寸金具一 寸五分金具一 寸二分金具一 寸一分金具一 如シ	同	上	同上但シ裏革 赤色	同上但シ裏革 紫色	同上但シ裏革 赤色	同上但シ裏革 紫色	同上但シ裏革 赤色	同上但シ裏革 赤色
	劍	表裏革裏茶革 幅一寸三分長 尺五寸金具一 寸五分金具一 寸二分金具一 寸一分金具一 如シ	同	上	同上但シ裏革 赤色	同上但シ裏革 紫色	同上但シ裏革 赤色	同上但シ裏革 紫色	同上但シ裏革 赤色	同上但シ裏革 赤色
	劍	表裏革裏茶革 幅一寸三分長 尺五寸金具一 寸五分金具一 寸二分金具一 寸一分金具一 如シ	同	上	同上但シ裏革 赤色	同上但シ裏革 紫色	同上但シ裏革 赤色	同上但シ裏革 紫色	同上但シ裏革 赤色	同上但シ裏革 赤色

劍ハ必要ナキ場合ニハ之ヲ帶レサルモ妨ケナシ  
夏服ハ白衣ヲ代用スルモ妨ケナシ但シ此場合ハ立襟胸一行ジヤケツト製トシ袖  
章ハ金線ニ代フルニ白毛線ヲ以テス

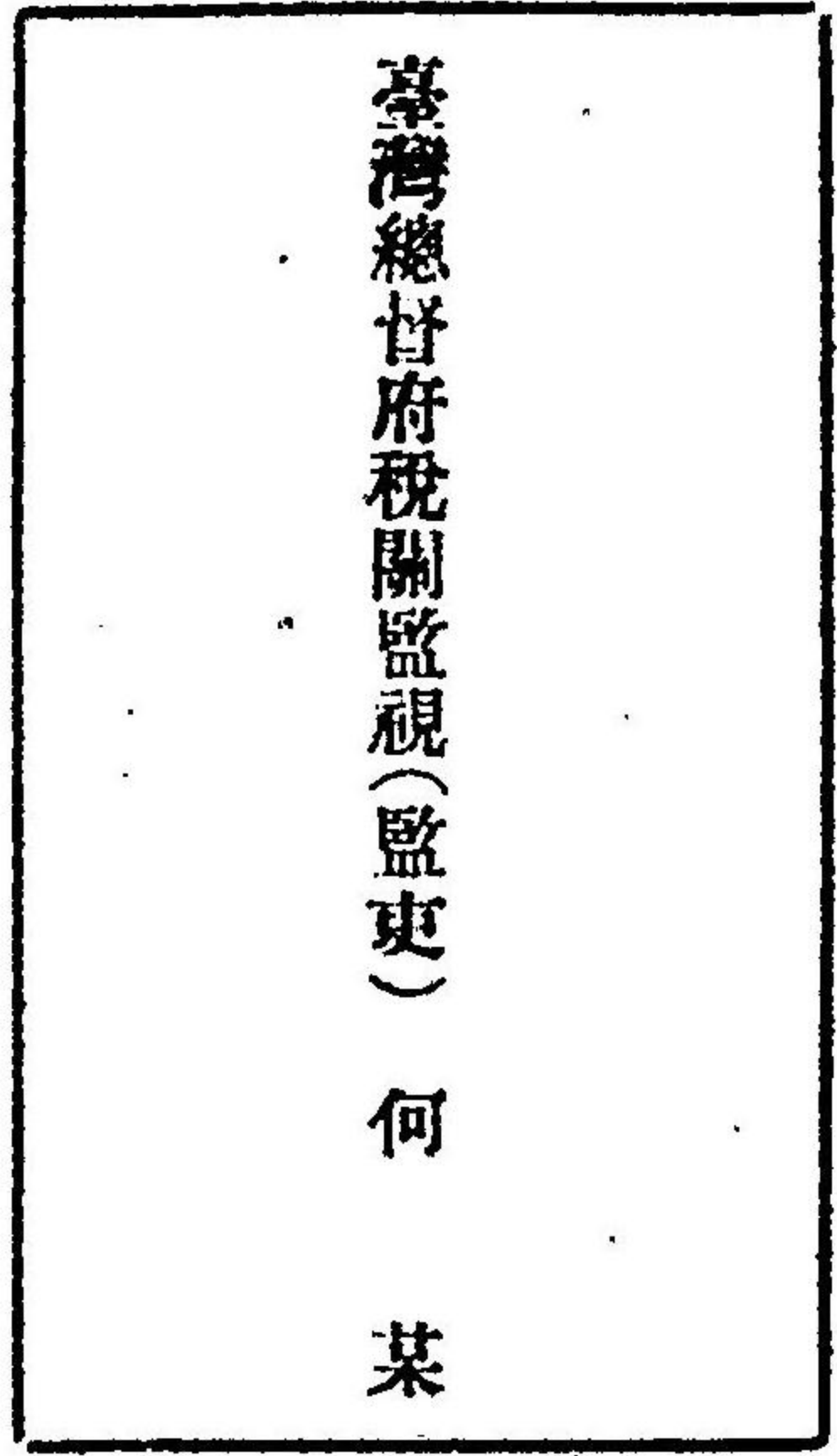
二 證 票

臺灣總督府令第二百十號 (明治三十二年十一月十五日)

關稅法第八十七條ノ稅關官吏タル資格ヲ證明スル證票樣式左ノ通相定ム  
地質象皮 縱二寸



分五寸一橫



三 銃器攜帶

勅令第二百七十八號 (明治二十九年七月二十九日)

臺灣總督ハ其所屬ノ稅關監吏補巡查及看守ヲシテ銃器ヲ攜帶セシムルコトヲ得其銃器ハ陸軍大臣ノ定メタルモノニシテ左ニ記載スル場合ノ外之ヲ用ウルコトヲ得ス

- 一 暴行ヲ受クルトキ
- 二 其監守スル場所或ハ物件又ハ人ヲ防衛スルニ銃器ヲ用ウルノ外他ニ手段ナキトキ又ハ銃器ヲ以テセサレハ抗抵ニ勝ツ能ハサルトキ

非常ノ場合ニ際シ前項ノ人員集團事ニ從フトキハ其地ノ守備隊長ノ指揮ニ從フモノトス

四 賞 罰

勅令第十二號 (明治三十三年一月二十四日)

臺灣總督府稅關監吏ノ賞罰ハ稅關監吏賞罰規則ニ依ル但シ大藏大臣ニ屬スル職務ハ臺灣總督之ヲ行フ

勅令第四百五十五號 (明治三十二年十月二十二日)

關稅其他ノ規則違反申告者賞與ノ件

臺灣阿片令臺灣關稅規則臺灣輸出稅及出港稅規則臺灣樟腦及樟腦油專賣規則及臺灣樟腦油製造規則ニ關スル犯罪ヲ申告ニ因リ發見シタル場合ニ於テハ現ニ沒收シ若クハ稅關ニ納付シタル貨物代價ノ半額ヲ其中告者ニ給與ス

附 則

本令ハ明治三十二年十二月二十日ヨリ施行ス



### 第六 噸稅

明治三十二年七月律令第二十二號ヲ以テ臺灣噸稅規則ヲ定メ開港ニ入港スル船舶ニ對シ一定ノ噸稅ヲ課シ該規則ニ規定ナキ事項ニ付テハ明治三十二年法律第八十八號噸稅ヲ適用スヘキモノトセシカ同月府令第七十九號ヲ以テ右噸稅規則ハ明治三十二年八月四日ヨリ施行シタリ而シテ該施行期日ニ至リ總督府令第九十號ヲ以テ之カ施行規則ヲ定ム即チ左ノ如シ

律令第二十二號 (明治三十二年七月)

#### 臺灣噸稅規則

第一條 外國貿易ノ爲外國ニ往來スル西洋形船舶開港ニ入港シタルトキハ其入港毎ニ登簿噸數一噸ニ付五錢ノ噸稅ヲ課ス

第二條 外國貿易ノ爲外國ニ往來スル日本形及支那形船舶開港ニ入港シタルトキハ其入港毎ニ千石以上ノモノニ在テハ五圓千石未滿ノモノニ在テハ參圓ノ噸稅ヲ課ス

第三條 此規則ニ規定セサル事項ハ明治三十二年法律第八十八號噸稅法ヲ適用ス

#### 附則

第四條 此規則施行ノ期日ハ府令ヲ以テ之ヲ定ム

臺灣總督府令第九十號 (明治三十二年八月四日)

臺灣噸稅規則施行細則左ノ通相定ム

#### 臺灣噸稅規則施行細則

第一條 稅關又ハ稅關出張所ニ於テ噸稅ヲ徵收セントスルトキハ其稅金額及納付金庫ヲ指定シテ納稅人ニ告知スヘシ

第二條 海難其他止ムヲ得サル事故ニ依リ開港ニ入港シタル外國貿易船ハ其事由ヲ稅關又ハ稅關出張所ニ證明スヘシ但噸稅ヲ納付スル場合ハ此限リニアラス

第三條 噸稅納付濟ノ證明又ハ噸稅法第四條ニ依リ測度ヲ受ケタル場合ニ於テ船舶測度證書ヲ受ケントスル者ハ稅關又ハ稅關出張所ニ申請シ證書一通ニ付手数料金壹圓五拾錢ヲ納付スヘシ

前項ノ手数料ハ申請書ニ收入印紙ヲ貼附シテ之ヲ納付スルトコヲ得

第四條 犯則ノ調査及處分手續ニ關シテハ臺灣關稅規則施行細則ヲ準用ス

#### 附則

第五條 本令ハ臺灣噸稅規則施行ノ日ヨリ施行ス

#### 附 關稅收入表

明治二十九年ヨリ明治三十六年ニ至ル八年間ニ於ケル臺灣關稅收入額ヲ擧クレハ左ノ如シ

年	輸出稅	輸入稅	噸稅	諸收入	合計
二十九年	一八九〇、三九九六	四六九、三七四三	〇	一七、八〇九〇	七八六、二二五、九九四
三十年	二三六、九二五、四八〇	四二一、七二九、四九八	〇	二九、七五三、八五八	七一五、四〇八、八三六
三十一年	二八二、二二五、四八五	五一九、九八八、二四四	〇	三〇、一五三、六四五	八三二、三六七、七七四



通計	三十二年	三十三年	三十四年	三十五年	三十六年
三〇六、六八二、三四一	一、一七八、四六八、三七三	一、一三二、五三二、六〇〇	一、二三五、六九九、四七〇	一、〇三四、九〇八、三八九	七〇四、一六〇、五七九
三、七六、二八一、三〇四	一、四八九〇、五四三	一、八五二〇、五二四	二、六、一三八、九三〇	一、五六二、二八〇、七	一、九三、五七一、八三四
三、四二、五〇八、四八一	一、二四七、四九五	一、八五二、〇五二	一、六、一六、八二、七六六	一、三、一八八、二〇六	一、五、七三三、二二一
四、六九、四八八、九八三	一、三、一八八、二〇六	一、五、六二二、八〇七	一、五、三三三、二〇八、三七八	一、四、五〇、七八六、三八九	一、四、九〇、七八六、三八九
三、六四、二五五、八一	一、二、九一六、八五一	一、五、七三三、二二一	一、四、五〇、七八六、三八九	一、四、五〇、七八六、三八九	一、四、五〇、七八六、三八九
二、六、九四、三六九、一五一	五、二四七、〇四九五	一、九三、五七一、八三四	九、九、九二、〇二〇、五九九	九、九、九二、〇二〇、五九九	九、九、九二、〇二〇、五九九

第七編 葉煙草專賣



# 第七編 葉煙草專賣

## 第一章 總說

葉煙草專賣ハ明治二十九年三月法律第三十五號葉煙草專賣法ニ依テ始メテ設ケラレタル制度ナリ蓋シ煙草ニ對シテハ從來印紙貼用ノ法ニ依リ煙草稅ヲ課シ來リタレトモ脫稅ノ弊甚シク空シク重要ナル好財源ヲ逸スルノ情況ナルヲ以テ政府ハ戰後經營ノ必要上從來ノ課稅制度ヲ廢シテ新ニ葉煙草專賣制度ヲ採用シテ如上ノ弊害ヲ除キ以テ歲入ノ增加ヲ圖リ併セテ他日煙草製造專賣實施ノ段階ト爲セリ葉煙草專賣法ハ明治二十九年ノ制定ニカ、ルト雖モ其實施期日ハ明治三十一年一月一日ニシテ同日以前ヨリ煙草製造營業者ニ於テ持越セル葉煙草ハ仍ホ從來ノ煙草稅則ヲ適用スルコト、シ又勅令ヲ以テ特定セル地方ニハ葉煙草專賣法ヲ適用セサルコト、ナセリ而シテ葉煙草專賣事業經營ノ爲メ葉煙草專賣資金ヲ設ケ其收支ヲ特別會計ト爲シ全國各地ニ葉煙草專賣所竝ニ同支所ヲ置キ大藏大臣管理ノ下ニ葉煙草ノ檢査收納保存賣渡ニ關スル事務ヲ支掌セシメタリ葉煙草專賣法ノ實施ニ關シテハ同法施行細則ヲ以テ規定シタル外ニ葉煙草ノ出納賣渡及保管ニ關スル取扱手續葉煙草ノ出納ニ關スル物品會計法上ノ細則竝ニ葉煙草賠償費ノ取扱ニ關スル會計規則上ノ細則等ヲ定メ專賣制度略備ハルニ至レリ但シ前掲諸法規ノ外各機關ノ組織所管區域特別任用及諸給等ニ關スル規定竝ニ葉煙草及葉煙草賠償費以外ニ葉煙草專賣所ノ金錢會計及物品會計ニ關スル特別規定等ノ設定セラレタルモノ尠カラスト雖モ此等ハ本章ニ之



ヲ省略ス

明治三十一年十月從來ノ官制ヲ改メ大藏大臣管理ノ下ニ專賣局ヲ新設シ葉煙草專賣所竝ニ同支所ヲ統轄セシメ明治三十二年三月ニ至リ從來ノ葉煙草專賣法中改正ヲ加ヘ葉煙草耕作區域及耕作段別ノ制限ヲ設ケ煙草營業者ヨリ免許料ヲ徵スルコト、シ又葉煙草ハ政府ノ外輸入スルヲ得サルコト、ナシ其他葉煙草ノ賣渡及犯則取締ニ關スル條項ヲ改正セリ更ニ同月製造煙草ヲ輸出スルモノハ其價格百分ノ二十ノ交付金ヲ下附スルノ制ヲ設ケタリ斯クテ明治三十二年四月葉煙草專賣法違犯事件ニ對シテ間接國稅犯則者處分法ノ規定ヲ準用スルノ制ヲ設ケ更ニ同月官制ニ改正ヲ加ヘ東京ニ專賣局ヲ置キ全國各地ニ專賣支局ヲ置キ又必要アル時ハ專賣局出張所ヲ設クルコト、セリ而シテ從來葉煙草專賣ニ關シテハ資金ヲ置キ特別會計ト爲シ來リシカ專賣事業ノ經營上作業特別會計ヲ設置スルノ必要ヲ認メタルヲ以テ明治三十三年度首現在葉煙草專賣資金ヲ以テ据置運轉資本トナシ漸次八百萬圓ニ増加スルコト、シ明治三十三年度ヨリ之ヲ實施セリ曩ニ明治三十二年改正ノ葉煙草專賣法ニ於テ政府ハ豫メ葉煙草ノ耕作地ヲ定ムルヲ得ルコト、爲シタリシカ明治三十三年十一月ニ至リ勅令ヲ以テ葉煙草耕作地區域表ヲ公布シ全國各地ノ耕作地ヲ限定シタリ而シテ葉煙草專賣法ハ明治二十九年制定後明治三十二年ニ於テ一度改正ヲ施シタリト雖モ未タ充分ノ結果ヲ見ルニ至ラザリシヲ以テ明治三十四年四月更ニ之ヲ改正シ耕作ニ免許主義ヲ採リ耕作ノ方法ハ政府ノ指定ニ依ラシメ葉煙草ノ納付額正當ノ事由ナクシテ收穫前査定額ニ不足スル時ハ相當金額ヲ納付セシムルコト、シ又葉煙草ノ納付期日場所通路方法ヲ制限シ輸出葉煙草ハ政府在庫品ヲ特定價格ニ依リ輸出者ニ賣渡スノ制ヲ設ケ竝ニ煙草製造免許

料賦課標準ヲ製造場ニ改メ又製造業者ニ組合ヲ設置セシムルコト、ナセリ而シテ右葉煙草專賣法改正ノ結果同年四月同法施行細則全部ニ改正ヲ加ヘ同年七月煙草製造業者組合規則ヲ制定セリ

葉煙草ノ專賣ハ明治三十一年一月一日ヨリ實施シタリシカ明治三十年度ノ專賣益金ハ僅ニ貳拾九萬貳千餘圓ニ止マル蓋シ葉煙草專賣法施行前ヨリ製造業者ノ持越セル葉煙草ハ舊税法ニ依ルコト、爲シタルタメ仲買人及耕作人ノ所持セル葉煙草ハ殆ト製造業者ノ買占ムル所トナレルヲ以テナリ而シテ明治三十一年度ノ專賣益金ハ五百拾四萬五千餘圓ニシテ明治三十二年度ニ至リ七百五拾五萬九千餘圓ニ増加セリ而シテ明治三十三年度ニ於テハ八百拾參萬五千餘圓ノ收入アリシモ本年度ヨリ作業會計法施行ノ結果作業事務費及年度末備品價格ヲ差引タルヲ以テ純益金ハ七百貳拾四萬四千餘圓ニ減少シタリシカ明治三十四年度ニ至リテハ千八拾六萬六千餘圓ノ收入ヲ見ルニ至リ明治三十五年度ニ於テハ千五百拾萬圓ノ收入ヲ見ルニ至レリ此ノ如ク葉煙草專賣事業ハ明治三十一年實施以來歲月ヲ經ルコト未タ久シカラスト雖モ逐年漸ク良好ノ結果ヲ見ルニ至レルモノト謂フヘシ



## 第二章 葉煙草專賣制度

明治二十七八年清國事件ノ後戰後經營ノ爲メ國家財政ノ必要ニ因リ新ニ營業稅ヲ起シ又酒造稅則等ヲ改正シテ以テ大ニ國庫歲入ノ増加ヲ企圖セリト雖モ尙ホ巨額ノ歲入ヲ要スルヲ以テ之レニ應スルノ計畫ナカルヘカラス而シテ當時各種ノ課稅物件中煙草ハ一般ノ嗜好品ニシテ其消費額モ亦極メテ多大ナルヲ以テ適當ノ方法ヲ設クルトキハ實ニ國家永久ノ重要財源トナスヲ得ヘシ然ルニ煙草課稅ノ制度ハ明治八年布告第百五十號煙草稅則ヲ以テ印紙稅ヲ課セルヨリ以來屢々稅則ニ改正ヲ加ヘ以テ脫稅ヲ防キ國家歲入ノ増大ヲ計レリト雖モ其歲入額ハ明治二十八年度ニ於テ約貳百八拾萬圓明治二十九年年度ニ於テ參百拾萬餘圓ニシテ近年煙草消費額ノ著シク増加セルニ拘ラス比較的的收入額ノ増加ヲ見サル所以ノモノハ煙草稅制度ノ當ヲ得サルモノアルニ因ルヲ以テ從來ノ課稅法ヲ改メ之ヲ國家ノ專賣品ト爲シ其耕作地ニ對シテハ適宜ノ獎勵的制度ヲ設ケ以テ耕作ノ發達ヲ圖ルトキハ其產額ハ益々増進シ將來最モ重要ノ財源トナルノミナラス印稅法ノ如キ檢束ヲ解キ之レヲ自由ナラシムルニ至ルヲ以テ當業者ノ便宜尠シトセス從テ一層消費ノ増進ヲ見ント必セリ然ルニ煙草ヲ國家ノ專賣トナスハ現ニ歐洲諸國ニ其實例乏シカラスト雖モ我國ニ在テハ最モ新規ノ事業ニ屬スルノミナラス彼我慣習ヲ異ニスルヲ以テ政府ハ國情ニ鑑ミ先ツ葉煙草ノ專賣ニ止メ製造煙草ノ專賣ハ之ヲ他日ニ期スルヲ以テ策ノ宜ヲ得タルモノト認メ明治二十九年一月葉煙草專賣法案ヲ第九期帝國議會ニ提出シ其協賛ヲ經テ明治二十九年三月法律第三十五號ヲ以テ葉煙草專賣法ヲ公布セリ葉煙草專賣法ノ規定ニ依レハ葉煙草ノ耕作



ハ毎年一定ノ期間ニ届出テタル土地ニ限り其收穫葉煙草ハ乾燥ノ後總テ政府ニ納付セシメ政府ハ之ヲ鑑定シテ豫メ公示セル葉煙草賠償金表ニ依リ之ニ賠償金ヲ交付スルモノトス而シテ葉煙草ハ政府ノ認許ヲ受ケタル場合ニ限り外國ニ輸出スルヲ得ヘク其葉煙草ハ政府ノ保管ニ付シ保管證ヲ以テ賣買スルヲ得ルコト、爲シ其他葉煙草ノ耕作竝ニ貯藏等ニ關シテ檢束ヲ加エタリ其全文左ノ如シ

法律第三十五號 (明治二十九年)

葉煙草專賣法

- 第一條 政府ハ葉煙草ノ專賣權ヲ有ス
- 第二條 葉煙草ハ政府之ヲ收納シ總テ定價ヲ以テ之ヲ賣渡スヘシ  
何人ヲ問ハス政府ヨリ買受ケタル葉煙草ニ非サレハ之ヲ賣買スルコトヲ得ス
- 第三條 葉煙草ヲ耕作スル者ハ乾燥ノ後總テ其ノ葉煙草ヲ政府ニ納付スヘシ之ヲ他ニ讓渡シ又ハ消費スルコトヲ得ス
- 第四條 葉煙草ヲ耕作シタル者葉煙草ヲ納付スルトキハ政府ハ之ニ對シ賠償金ヲ交付スヘシ  
葉煙草ノ賠償金ハ政府之ヲ定メ豫メ公示スヘシ其品位等級ハ鑑定人ヲシテ之ヲ鑑定セシム  
若此鑑定ニ不服アルトキハ更ニ鑑定ヲ求ムルコトヲ得
- 第五條 葉煙草ヲ耕作セムトスル者ハ毎年四月三十日迄ニ政府ニ其ノ段別ヲ届出ヘシ
- 第六條 葉煙草ハ政府ニ届出テタル土地ニ非サレハ耕作スルコトヲ得ス
- 第七條 葉煙草耕作者ノ變更シタルトキハ其ノ耕作ヲ繼承シタル者ヨリ其ノ旨政府ニ届出ヘシ

シ

- 第八條 煙草製造ヲ業トスル者及葉煙草賣買ヲ業トスル者ハ葉煙草ヲ耕作スルコトヲ得ス
- 第九條 葉煙草ヲ耕作スル者ハ葉煙草收穫ノ前及葉煙草乾燥ヲ了リタル後政府ニ届出テ検査ヲ受クヘシ
- 第十條 葉煙草ヲ耕作スル者ハ葉煙草ノ乾燥ヲ了リタル後翌年三月三十一日迄ニ政府ノ指定シタル場所ニ之ヲ納付スヘシ此ノ期限ヲ過キ葉煙草ヲ貯藏セムトスルトキハ政府ノ認許ヲ受クヘシ
- 第十一條 葉煙草ヲ耕作スル者ハ葉煙草ヲ買受クルコトヲ得ス又自己ノ耕作セサル葉煙草ヲ貯藏スルコトヲ得ス但シ當該官吏ノ承認ヲ受ケ標本トシテ買受クルハ此限りニ在ラス
- 第十二條 輸出ニ供スル葉煙草ハ政府ノ認許ヲ受クルトキハ之ヲ政府ニ納付セスシテ他ニ賣渡スコトヲ得
- 第十三條 前條ノ葉煙草ハ政府ノ保管ニ付スヘシ
- 第十四條 政府ニ於テ保管スル葉煙草ハ其保管證ヲ以テ賣買スルコトヲ得
- 第十五條 政府ニ於テ保管スル葉煙草ハ保管後一箇年内ニ輸出セサルトキハ政府ハ之ヲ收納シ第四條ニ依リ賠償金ヲ交付スヘシ
- 第十六條 政府ニ於テ保管シタル葉煙草ハ輸出ノ際之ヲ輸出者ニ交付スヘシ
- 第十七條 保管者ハ運搬ノ爲ニ生シタル費用ハ保管證所有者ノ負擔トス
- 第十八條 政府ハ何人ノ所屬ヲ問ハス葉煙草耕作地及貯藏所其ノ他所在ノ場所ヲ検査スルコトヲ得



トアルヘシ此ノ場合ニ於テ當該官吏ハ葉煙草所在場所又ハ葉煙草ノ所在ト認ムル場所ニ立入又ハ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得其ノ運送中ニアルモノハ其ノ所在ニ就キ之カ検査ヲ爲スコトヲ得

第十九條 政府ハ各地方便宜ノ地ニ葉煙草取扱所ヲ設ケテ葉煙草ノ收納及賣渡ヲ取扱ハシム  
第二十條 耕作ノ届出ヲ爲サスシテ葉煙草ヲ耕作シタル者又ハ届出ヲ爲サル土地ニ葉煙草ヲ耕作シタル者ハ參圓以上參拾圓以下ノ罰金ニ處シ仍其ノ葉煙草ヲ沒收ス

第二十一條 葉煙草ヲ耕作スル者政府ニ納付スヘキ葉煙草ヲ他ニ讓渡又ハ消費シタルトキハ拾圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ノ現存スルトキハ何人ノ所有ヲ問ハス政府ハ之ヲ收納シ第四條ニ準シテ其賠償金ヲ交付スヘシ

第二十二條 葉煙草ヲ耕作スル者葉煙草ヲ買受ケ又ハ自己ノ耕作セサル葉煙草ヲ貯藏シ又ハ政府ノ認許ヲ受ケスシテ翌年三月三十一日ヲ過キ葉煙草ヲ貯藏シタルトキハ參圓以上參拾圓以下ノ罰金ニ處ス但シ犯罪ニ係ル葉煙草ノ現存スルトキ其ノ收納及賠償金ノ交付ハ前條但書ヲ適用ス

第二十三條 葉煙草耕作者變更ノトキ其ノ繼承ノ届出ヲ爲サル者ハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第二十四條 葉煙草ノ收穫ヲ始ムル前又ハ葉煙草ノ乾燥ヲ了リタル後之カ届出ヲ爲サル者ハ貳圓以上貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十五條 政府ニ對シ又ハ當該官吏ノ尋問ニ對シ事實ノ申告ヲ詐リ若ハ之ヲ怠リタル者ハ

參圓以上參拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條 葉煙草ノ検査ニ際シ當該官吏ノ職務執行ヲ拒ミ又ハ之ヲ忌避シ又ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ貳圓以上貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第二十七條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不諭罪及減輕再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用キス但シ刑法第七十五條第一項ノ場合ハ此ノ限ニアラス

第二十八條 葉煙草ヲ耕作スル者ハ其代理人家族同居者雇人ニシテ其ノ業務ニ關シ本法ヲ犯シタルトキ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ本法ノ處罰ヲ免ル、コトヲ得ス

附 則

第二十九條 本法ハ明治三十一年一月一日ヨリ施行ス

第三十條 遠隔ノ島嶼ニシテ内地ト一般ノ狀勢ヲ異ニスルモノアルトキハ其ノ地方ニ對シ勅令ヲ以テ本法ヲ施行セサルコトヲ指定スルコトヲ得

本法ヲ施行セサル地方ヨリ本法施行地ニ葉煙草ヲ輸入スルコトヲ得ス  
第三十一條 明治二十一年勅令第二十號煙草稅則ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス但シ煙草製造營業者ニ於テ本法施行前ヨリ持越タル葉煙草ヲ以テ製造シタル煙草ニ關シテハ仍明治二十一年勅令第二十號煙草稅則ヲ適用ス

第三十二條 本法施行ノ際煙草仲買人又ハ葉煙草耕作者ノ所持スル葉煙草ハ政府ニ納付スヘシ但シ納付ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

法律第三十五號葉煙草專賣法ノ制定ニ伴ヒ其施行細則ヲ定ムルノ必要アルヲ以テ翌明治三十年



三月大藏省令第六號ヲ以テ葉煙草專賣法施行細則ヲ公布シ煙草耕作届出葉煙草廢棄幹根拔除葉分調理貯藏認許葉煙草輸出ニ關スル手續及葉煙草賣渡ニ關スル事項ヲ規定セリ其全文左ノ如シ

大藏省令第六號 (明治三十年三月二十六日)

葉煙草專賣法施行細則

第一條 葉煙草專賣法第五條ノ届出ヲ爲ス者ハ第一號ノ書式ニ準シタル書面ヲ所管葉煙草專賣所ニ差出スヘシ

第二條 枯葉他損其他不熟葉等ニシテ政府ニ納付スルコト能ハサルモノハ當該官吏ノ承認ヲ受ケ廢棄ノ處分ヲ爲スヘシ

第三條 葉煙草耕作生葉ノ收穫ヲ了シタルトキハ直チニ其幹根ヲ拔除スヘシ

第四條 葉煙草ハ總テ左ノ葉分ニ據リ調理スヘシ但上地ノ狀況ニ依リ當該官吏ノ承認ヲ得テ葉分ヲ増加スルコトヲ得

- 一 土葉 最下ニアル三四枚
- 二 中葉 土葉ノ上本葉マテ
- 三 本葉 中葉ノ上天葉マテ
- 四 天葉 最上ニアル三四枚

屑葉等ニシテ前項ノ葉分ニ據リ難キモノハ雜葉トシテ之レヲ調理スヘシ

第五條 聯干ノモノハ各自同尺ノ繩ヲ用キ種類葉分毎ニ區別スヘシ  
幹干ノモノハ葉ノ採收後種類葉分毎ニ各自一定ノ地ト爲スヘシ

第六條 葉煙草ハ其種類及葉分ニ據リ區別シ其品類葉竝同等ノモノヲ取揃ヘ成ルヘク一定ノ枚數ヲ以テ一把トシ輕量ノ莖管紙等ヲ以テ結束シ凡ソ六貫匁ヲ以テ一包トシ每包ニ種類葉分産地姓名ヲ標記シ第二號書式ノ納付書ヲ添ヘ所管葉煙草專賣所ニ納付スヘシ但本文ノ量目ニ滿タサルモノハ別ニ結束シ納付スヘシ  
包裝ハ蓆、吳座或ハ菰ノ類ヲ用キ葉先ヲ内ニシ十字形ニ積重ネ遠路ノ運搬ニ差支ナキ様堅固ニ結束スヘシ

第七條 左ニ掲クル如キ調理ノ不充分ナル葉煙草ハ耕作者ニ於テ相當ノ調理ヲ施シタル後ニアラサレハ納付スルコトヲ得ス

- 一 過度ノ濕氣ヲ含ムモノ
- 一 幹子付又ハ鍵付ト稱シ其幹ノ部分ヲ附著シアルモノ
- 一 種類葉分葉竝包裝ノ亂雜ナルモノ

第八條 葉煙草專賣法第十條ノ認許ヲ受ケムトスル者ハ其旨所管葉煙草專賣所ニ申出テ認許ヲ受ケヘシ但貯藏期限四箇月以上ニ渉ルモノハ葉煙草ノ種類葉分毎ニ量目ヲ記載シタル書面ヲ差出スヘシ

第九條 葉煙草耕作者葉煙草ヲ輸出ニ供セムトスルトキハ第三號書式ノ書面ニ現品ヲ添ヘ所管葉煙草專賣所ニ差出スヘシ

第十條 前條ニ據リ葉煙草專賣所ニ保管シタル葉煙草ニ調理ヲ加ヘムトスルトキハ調理ノ理由場所及日時等ヲ詳記シタル書面ニ保管證ヲ添ヘ所管葉煙草專賣所ニ差出シ承認ヲ受ケヘシ



シ

第十一條 前條葉煙草ノ調理ヲ了シタルトキハ撰屑葉莖等葉煙草ヨリ出テタル一切ノ屑ヲ葉煙草ト共ニ所管葉煙草專賣所ニ提供シ其處分ヲ受クヘシ

第十二條 保管葉煙草ヲ輸出セムトスルトキハ其輸出港ヲ指定シテ所管葉煙草專賣所ニ申出テ廻送ノ請求ヲ爲スヘシ

前項ノ葉煙草輸出港ニ到達シタルトキハ葉煙草專賣法第十七條ノ費用ヲ納付シテ保管證ヲ差出シ葉煙草ノ交付ヲ請フヘシ

第十三條 保管證ヲ毀損汚染シタル者ハ所管葉煙草專賣所ニ申出テ保管證ノ交換ヲ求ムルコトヲ得

第十四條 保管證ヲ亡失シタル者ハ葉煙草ノ價格ニ相當スル金錢又ハ國債證券ヲ擔保トシテ提供シ又ハ葉煙草專賣所ニ於テハ相當ト認ムル資産ヲ有スル者二名以上ノ保證人ヲ定メ損害ノ保證ヲ爲ストキハ保管葉煙草ノ交付ヲ爲スヘシ

第十五條 收穫ノ葉煙草若クハ認許ヲ受ケタル貯藏葉煙草ヲ亡失シタルトキハ其事由ヲ詳記シ直チニ所管葉煙草專賣所ニ届出ヘシ

第十六條 葉煙草ノ賣渡ヲ請フ者ハ葉煙草ノ名稱品類葉分數量ヲ葉煙草專賣所ニ申出ヘシ

第十七條 葉煙草ハ包裝ノ儘賣渡ヲナシ分割スルコトナシ但標本トシテ賣渡ヲ爲スモノハ此ノ限ニアラス

第十八條 葉煙草ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ直チニ代金ヲ納付シ現品ヲ引取ルヘシ

第十九條 葉煙草ノ賣渡ヲ受ケタル者葉煙草專賣所ノ指定スル金額又ハ之レニ相當スル國債證券ヲ擔保トスルトキハ代金ノ延納ヲ請フコトヲ得

第二十條 葉煙草ノ賣渡ヲ受ケタル者賣渡契約ノ日ヨリ三日以内ニ現品ヲ引取ラサルトキハ相當ノ保管料ヲ徴收ス但契約ヲ解除シタルトキハ此ノ限ニアラス  
(書式略)

斯クテ明治三十年三月勅令第五十三號ヲ以テ葉煙草專賣資金會計規則ヲ公布シ葉煙草專賣事業經營ノ爲メ葉煙草專賣資金ヲ置キ葉煙草賣渡代金ヲ以テ歲入トシ葉煙草納付者ニ對スル賠償金ヲ以テ歲出トシ之カ特別會計ヲ設置セリ尋テ同年四月勅令第二百二十一號ヲ以テ葉煙草專賣所官制ヲ公布シ葉煙草ノ検査收納保存賣渡ニ關スル事務ヲ處理スル爲メ東京外六十箇所ニ葉煙草專賣所ヲ置キ大藏大臣ノ管理ニ屬セシメ各專賣所ニ所長屬技手ヲ置キ又專賣所ノ管内必要ノ地方ニハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ葉煙草專賣支所ヲ置キ葉煙草專賣所ノ事務ヲ分掌セシムルコトトセリ然ルニ葉煙草專賣事務ニ從事スヘキ官吏ニ關シテハ特別ノ任用法ヲ設クルノ必要アルヲ以テ同年六月勅令第八十七號ヲ以テ葉煙草專賣所見習員ヲ置キ葉煙草ノ鑑定保存ヲ練習セシメ詮衡ヲ經テ葉煙草專賣所ノ技手ニ任用スルコト、シ同年勅令第七十九號ヲ以テ一等葉煙草專賣所長及葉煙草專賣屬特別任用ニ關スル方法ヲ定メタリ而シテ葉煙草專賣法第三十條ニ依レハ同法ハ國內特定ノ地方ニ之ヲ施行セサルコトヲ得ヘク此地方ハ勅令ヲ以テ定ムル旨ヲ規定セルヲ以テ同年五月勅令第六十九號ヲ以テ其地域ヲ左ノ如ク限定シタリ

勅令第六十九號 (明治三十一年)

(五月三十一日)



明治二十九年法律第三十五號葉煙草專賣法第三十條ニ依リ左ノ地方ニハ當分ノ内同法ヲ施行  
セス

一 北海道廳管下 國後郡、色丹郡、得撫郡、新知郡、占守郡、紗那郡、振別郡、擇捉郡、藥取郡

一 東京府管下 小笠原島及伊豆七島

一 鹿兒島縣管下 大島郡ノ内硫黃島、里島、竹島、口ノ島、臥蛇島、平島、中ノ島、惡石島、諏訪ノ瀨島、寶島、沖永良部島、與論島

一 沖繩縣管下 伊平屋島、伊是名島、具志川島、久米島、渡嘉敷島、前島、座間味島、阿嘉島、慶留間島、久場島、粟國島、渡名喜島、島、多良間島、大神島、水納島、鳩間島、波照間島、與那國島、大東島、魚釣島

葉煙草專賣法第四條第二項ニ依レハ政府ニ納付スル葉煙草ニ對スル鑑定人ノ鑑定ニ不服アルモノハ更ニ再鑑定ヲ求ムルコトヲ得ル旨ヲ定メタルヲ以テ再鑑定申請ニ關スル規定ヲ設クルノ必要アリ則チ同年九月大藏省令第十六號ヲ以テ左ノ如キ規定ヲ爲セリ

大藏省令第十六號 (明治三十年)

葉煙草再鑑定規程

第一條 葉煙草專賣法第四條第二項ニ依リ葉煙草ノ品位等級ノ再鑑定ヲ求ムルモノハ鑑定不服ノ要領ヲ具シ所管葉煙草專賣所ニ申出ツヘシ

第二條 葉煙草專賣所ハ前條再鑑定ノ申出アリタルトキハ二名以上ノ鑑定人ヲシテ之ヲ鑑定セシムヘシ

前項ノ鑑定人ハ少クモ其ノ半數ヲ葉煙草專賣所員以外ヨリ選定スルモノトス

第三條 再鑑定決定シタルトキハ其ノ決定書ヲ作り再鑑定申出人ニ交付スヘシ  
明治三十年九月大藏省令第十七號ヲ以テ煙草仲買人及葉煙草耕作者葉煙草納付規程ヲ定ム蓋シ葉煙草專賣法第三十二條ニ於テ明治三十一年一月一日同法施行ノ際ニ煙草仲買人又ハ葉煙草耕作者ノ所持スル葉煙草ハ政府ニ納付スルヲ要シ其納付ニ關スル手續ハ命令ヲ以テ定ムルコト、爲セルヲ以テナリ其規程左ノ如シ

大藏省令第十七號 (明治三十年)

煙草仲買人及葉煙草耕作者葉煙草納付規定

第一條 煙草仲買人又ハ葉煙草耕作者ニシテ葉煙草專賣法施行ノ際葉煙草ヲ所持スル者ハ左ノ期限ニ從ヒ所管葉煙草專賣所ニ納付スヘシ但葉煙草耕作者ニシテ此ノ期限ヲ過キ葉煙草ヲ貯藏セントスルトキハ所管葉煙草專賣所ノ認許ヲ受クヘシ

一 煙草仲買人 明治三十一年一月三十一日限

一 葉煙草耕作者 明治三十一年三月三十一日限

第二條 煙草仲買人及葉煙草耕作者ヨリ納付スル葉煙草ニ對シテハ大藏大臣定ムル所ノ賠償金ヲ交付ス

第三條 煙草仲買人及葉煙草耕作者納付葉煙草ノ再鑑定ヲ求ムルトキハ明治三十年大藏省令第十六條ヲ準用ス

第四條 葉煙草耕作者ヨリ納付スヘキ葉煙草ニ關シテハ本令ニ規定スルモノ、外葉煙草專賣ニ關スル一般ノ規定ヲ準用ス



尋テ同年十月勅令第三百七十五號ヲ以テ葉煙草保管證亡失及賣渡代金延納ニ關スル規定ヲ公布セリ蓋シ政府ノ保管ヲ受クル葉煙草ノ保管證ヲ亡失セル者ニシテ保管葉煙草ノ交付ヲ欲スルトキ竝ニ政府ヨリ葉煙草ノ賣渡ヲ受ケタル者ニシテ代金ノ延納ヲ請フ場合ニハ適當ノ擔保ヲ供セシメテ之ヲ許可スルハ頗ル便利ナルヲ以テ特ニ之ニ關スル規定ヲ設ケタルモノニシテ其保管葉煙草交付竝ニ代金延納申請ニ關スル規定ハ大藏省令第六號葉煙草專賣法施行細則第十四條第十九條ノ規定スル所ナリ右勅令第三百七十五號ハ左ノ如シ

勅令第三百七十五號 (明治三十年十月二十日)

第一條 保管葉煙草ノ保管證ヲ亡失シタルトキハ其ノ所有者ハ其ノ葉煙草ノ價格ニ相當スル擔保ヲ提供シテ保管葉煙草ノ交付ヲ請フコトヲ得

第二條 葉煙草ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ葉煙草專賣所ノ指定スル擔保ヲ提供シテ代金ノ延納ヲ請フコトヲ得

政府ニ納付スル葉煙草ニ對スル賠償金ハ明治三十年勅令第五十三號葉煙草專賣資金會計規則ニ基キ特別會計ト爲スヲ以テ其仕拂上一般會計ノ法規ニ據ル能ハサルモノアリ是ニ於テ同年十月大藏省訓令第六十一號ヲ以テ葉煙草賠償費取扱順序ヲ定メ之カ規定ヲ爲セリ即チ左ノ如シ

大藏省訓令第六十一號 (明治三十年十月十八日)

葉煙草賠償費取扱順序

第一條 大藏大臣ハ葉煙草賠償費仕拂豫算額ヲ定メ明治二十二年勅令第八十九號ニ依リ葉煙草專賣所長ニ其ノ仕拂ヲ委任ス

第二條 葉煙草專賣所長ハ前條ノ仕拂豫算額以內ニ於テ其ノ主管ノ葉煙草納付書ニ交付スヘキ金額ノ仕拂命令ヲ發スヘシ但葉煙草專賣支所ニ於テ交付スヘキ金額ニ就キ出納官吏ニ現金前渡ヲ爲スコトヲ得

第三條 葉煙草專賣所長ニ於テ第一條ノ仕拂豫算額ニ不足ヲ生スヘシト認ムルトキハ其ノ所要ノ金額及事由ヲ詳具シ大藏大臣ニ申請スヘシ

第四條 大藏大臣ハ前條ノ場合ニ於テハ追加仕拂委任ノ命令ヲ發ス

第五條 葉煙草專賣所長ニ於テ第一條ノ仕拂豫算額ニ過剩ヲ生スヘシト認ムルトキハ其ノ金額ヲ報告スヘシ

第六條 第二條ノ仕拂ニ對シ誤拂若ハ過渡ヲ生シタルトキハ直ニ一般歳入へ組入レノ手續ヲ爲シ其ノ金額事由ヲ報告スヘシ

第七條 葉煙草專賣所長ニ於テ第二條ノ仕拂ヲ爲シタルトキハ明治二十六年當省訓令第五十八號様式ニ準據シ毎月仕拂命令濟額報告書ヲ調製シ翌月七日マテニ其應ヲ發シ差出スヘシ

第八條 現金前渡ヲ受ケタル官吏ハ會計規則第九十八條ニ依リ毎月一回仕拂計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月七日以內ニ其ノ仕拂命令官ニ差出スヘシ但臨時ニ現金前渡ヲ受ケタル官吏ハ其ノ事件ノ一箇月中ニアリタルトキハ其ノ了リタル日ヨリ七日以內ニ差出スヘシ

第九條 葉煙草專賣資金會計規則第六條ニ依リ支出未済トシテ翌年度へ繰越ヲ要スルモノアルトキハ速ニ精算ヲ了シ第一號書式ニ倣ヒ仕拂未済金額要求書ヲ調製シ差出スヘシ

第十條 葉煙草專賣所長ハ左ノ帳簿ヲ設ケ仕拂ノ整理ヲ爲スヘシ



一 葉煙草賠償費支出簿 第二號書式

一 葉煙草賠償費現金前渡整理簿 第三號書式

葉煙草專賣所ニ於テ葉煙草ノ收納賣渡及保管ニ關スル規定ハ明治三十年大藏省令第六號葉煙草專賣法施行細則中ニ定ムル所アリト雖モ更ニ事務取扱方ノ揆一ヲ圖ル爲メ同年十月大藏省訓令第六十三號ヲ以テ之ニ關スル心得方ヲ左ノ如ク定メタリ

大藏省訓令第六十三號 (明治三十一年十月二十一日)

葉煙草收納賣渡及保管ニ關スル取扱方左ノ通心得ヘシ

第一條 葉煙草ヲ收納スルトキハ納付者又ハ代理人ヲ立會ハシメ其ノ現品ヲ調査秤量シテ之ヲ收納シ第一號書式ノ領收證書ヲ交付スヘシ其ノ品位等級ノ鑑定ヲ了シタルトキハ領收證書ニ其ノ等級價額ヲ記入スヘシ

第二條 賣渡ニ供スヘキ葉煙草ハ一包凡ソ六貫匁ヲ以テ常例トス各地方需要ノ狀況ニ依リ六貫匁以下ノ小包ト爲スモ妨ケナシ

第三條 葉煙草賣渡ノ請求アルトキハ代金納付済又ハ代金延納許可済ノ後現品ヲ引渡シ其ノ領收證書ヲ徴スヘシ

第四條 葉煙草專賣所長ハ葉煙草代價ノ延納ヲ許ストキハ代價ノ總額以內ニ於テ適宜擔保ノ金額ヲ指定スヘシ常時賣渡ヲ請フ者ニ付テハ其ノ請求ニ依リ擔保ヲ据置ト爲スコトヲ得

第五條 葉煙草賣渡代金ノ延納期限ハ六箇月以內ニ於テ便宜之ヲ定ムヘシ

第六條 品位等級再鑑定ノ請求アリタル葉煙草ハ再鑑定ノ決定ニテ之ヲ賣渡スコトヲ得ス

第七條 輸出ニ供スル葉煙草保管ノ際ハ所有者又ハ其ノ代理人ヲ立會ハシメ現品ヲ調査秤量シテ第二號書式ノ保管證ヲ交付スヘシ

第八條 保管葉煙草ハ政府所有ノ葉煙草ト同一ノ注意ヲ以テ之ヲ管理スヘシ

第九條 保管葉煙草ニ異狀アリテ改装ノ必要アリト認ムルトキハ假リニ應急ノ調理ヲ爲シ所有者ノ調理ヲ待ツヘシ

第十條 保管葉煙草ノ調理ヲ承認シタル場合ニ於テ其ノ包裝ヲ改メタルトキハ更ニ保管證ヲ交付スヘシ

第十一條 保管葉煙草ノ調理ニ依リ生シタル屑葉等ヲ提供シタルトキ收納ニ適スルモノハ之ヲ納付セシメ其ノ他ハ所有者ニ還付シ廢棄セシムヘシ

第十二條 保管葉煙草所有者ノ請求ニ依リ其ノ葉煙草ヲ回送シタルトキハ葉煙草專賣所ハ其ノ保管及運搬ニ要シタル費用竝ニ保管證記載ノ要件ヲ回送先葉煙草專賣所ニ通知スヘシ

第十三條 輸出ノ爲メ保管葉煙草ノ交付ヲ請フトキハ葉煙草專賣所ハ保管運搬等ニ關スル費用ヲ計算シ其ノ納入ヲ告知シ現金領收済ノ上保管證引換ニ現品ヲ交付スヘシ

第十四條 保管葉煙草ノ收納ヲ請フ者アルトキハ新ニ葉煙草ヲ納付スルモノトシ其ノ取扱ヲ爲スヘシ

第十五條 葉煙草專賣法第十五條ニ依リ保管葉煙草ヲ收納シタルトキハ其ノ等級及賠償價額ヲ所有者ニ通知スヘシ所有者ノ所在分明ナラサルトキハ適宜ノ方法ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

第十六條 第十四條及第十五條ノ場合ニ於テハ保管證ヲ返納セシメ保管運搬等ニ關スル費用



ヲ納付セシムヘシ

第十七條 葉煙草專賣法施行細則第十四條及第十九條ニ依リ擔保トシテ提供セシムヘキ國債證券ハ市場ニ於ケル前月中ノ平均價格ニ依リ其ノ擔保價額ヲ計算スヘシ

第十八條 葉煙草專賣所長ハ左ノ帳簿ヲ設ケ葉煙草ノ收納賣渡及保管ノ事項ヲ整理スヘシ

一 葉煙草專賣資金會計總括簿 第三號書式

一 葉煙草賣拂簿 第四號書式

一 葉煙草保管證元帳 第五號書式

一 保管葉煙草賣拂簿 第六號書式

前項帳簿ノ外必要ナル補助簿ハ適宜之ヲ設ケヘシ

第十九條 葉煙草專賣支所ニ出張シ葉煙草ノ收納及賣渡ヲ爲ストキハ適宜ノ補助簿ニ依リ整理シ毎回出張中取扱ニ係ル合計ヲ以テ第十八條ノ帳簿ニ登記スヘシ

第二十條 葉煙草專賣所長ハ第十八條ノ帳簿ノ結果ニ依リ毎月第七號書式ノ葉煙草專賣資金會計總括報告書第八號書式ノ葉煙草受拂報告書及第九號書式ノ葉煙草回送受拂内譯書ヲ調製シ翌月十日マテニ差出スヘシ

(書式略)

而シテ政府ノ所有ニ屬スル葉煙草ハ物品會計規則ノ規定ニ依リ其出納ヲ爲スヲ要スルハ勿論ナリト雖モ普通ノ器具機械類ト大ニ其趣ヲ異ニスルヲ以テ其出納ニ關シ特別ナル取扱方ヲ設クルノ必要アリ是ニ於テ同年十月大藏省訓令第六十四號ヲ以テ葉煙草出納順序ヲ定メ葉煙草會計官

吏ヲ設ケテ其保管及出納ヲ取扱ハシムルコト、爲セリ其規定左ノ如シ

大藏省訓令第六十四號 (明治二十一年)

葉煙草出納順序左ノ通相定ム

葉煙草出納順序

第一條 葉煙草專賣所葉煙草ノ出納ハ此順序ニ依リ取扱フヘシ

第二條 葉煙草專賣所ニ於テハ倉庫主任ノ官吏ヲ以テ葉煙草會計官吏トス

第三條 葉煙草ノ出納ハ葉煙草專賣所長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ノ命令ニ依ルヘシ

第四條 葉煙草ノ出納命令書ハ第一號書式ニ依ル但葉煙草專賣所長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ノ認印シタル左ノ書類ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

一 納付書 四 回送請求書 七 保管證

二 保管願書 五 回送案内書

三 賣渡請求書 六 調理願書

第五條 葉煙草ノ出納ハ包數(包ト爲サハル)ヲ以テシ一廉毎ニ總量目ヲ付シ之ヲ帳簿ニ登記スヘシ

第六條 葉煙草會計官吏葉煙草出納ノ命令ヲ受ケタルトキハ現品ノ受渡ヲ爲シ帳簿ニ登記スヘシ

第七條 葉煙草會計官吏ハ葉煙草亡失シ又ハ廢棄ニ歸シタルモノアルトキハ拂出命令ニ依リ損失拂ト爲スヘシ



第八條 葉煙草會計官吏ハ第二號書式ノ葉煙草出納簿ヲ設ケ其ノ出納ヲ整理スヘシ但必要ニ由リ適宜補助簿ヲ設クルコトヲ得

第九條 葉煙草會計官吏ハ毎月末日其ノ保管ニ係ル葉煙草現在高表ヲ調製シ葉煙草專賣所長ニ報告スヘシ

(書式略)

斯クテ同年十一月大藏省令第二十一號ヲ以テ同年勅令第二百一十一號葉煙草專賣所官制第二條ニ依リ葉煙草專賣支所ヲ設置シ各支所ニ於ケル事務取扱期節ハ其ノ都度葉煙草專賣所長之ヲ公示スル旨ヲ定メタリ而シテ同月大藏省訓令第七十一號ヲ以テ葉煙草專賣所ニ於テ收納スル葉煙草專賣收入及諸收入ノ收納取扱方ハ明治二十六年大藏省訓令第四十二號ニ準據スヘキ旨ヲ訓令シ更ニ同年十二月大藏省訓令第七十七號ヲ以テ葉煙草專賣資金ノ特別會計ニ關スル事項ヲ除ク外葉煙草專賣所ニ於ケル收入支出及出納官吏ニ關シテハ從前府縣ニ訓令シタルモノヲ準用スヘキ旨ヲ訓令シタリ

明治二十二年勅令第六十號會計規則第八十二條ニ依レハ物件賣買ノ隨意契約ハ一口五百圓未満ノ場合ノ外ハ第八十條第八十一條ニ準據シテ契約書ヲ作ラサル可カラサルモ葉煙草專賣所ニ於テ葉煙草ノ賣渡ヲ爲ス場合ニ於テモ必ス此規定ニ依リ契約書ヲ作成スルハ極メテ不便ナルヲ以テ是カ例外規定ヲ設クルノ必要アリ明治三十一年二月十四日勅令第二十五號ヲ以テ葉煙草專賣所ニ於テ葉煙草ノ賣渡ヲ爲ス時ハ會計規則第八十二條ノ契約書ヲ省略スルコトヲ得ル旨ヲ公布セリ而シテ同年三月十六日大藏省訓令第十六號ヲ以テ物品會計規則第十五條ニ據リ葉煙草專賣

所葉煙草會計官吏ノ證明スヘキ葉煙草出納計算書ニハ當該所長ニ於テ葉煙草出納簿トノ符合及其現在品ヲ認メタル保證書ヲ調製添付スルヲ要スルコト、ナセリ尋テ四月二十九日大藏省令第五號ヲ以テ葉煙草耕作地及貯藏所等検査證票様式ヲ定ム蓋シ葉煙草專賣法第十八條ノ規定ニ基クナリ同年七月一日大藏省訓令第四十七號ヲ以テ明治三十年大藏省訓令第六十三號葉煙草收納賣渡及保管ニ關スル取扱方心得中改正ヲ加ヘ第一條中等級價格ヲ記入スヘシトアルヲ賠償金額ヲ記入シ等級價格ヲ指示スヘシト改メ竝ニ其書式ヲ改正シタリシカ更ニ同月七日大藏省令第四十九號ヲ以テ明治三十年大藏省訓令第四十九號ヲ以テ明治三十年大藏省訓令第六十一號葉煙草賠償費取扱順序中改正ヲ加ヘ第二條中葉煙草專賣支所ニ於テ交付スヘキ金額ニ就キノ二十字ヲ削除セリ

明治三十年勅令第二百一十一號葉煙草專賣所官制ニ依レハ全國ニ六十一箇所ノ葉煙草專賣所ヲ置キ直接ニ大藏大臣ノ管理ニ屬シ葉煙草ノ検査收納保存賣渡ニ關スル事務ヲ處理セシメタリシカ專賣事業ノ經營上特別ノ一局ヲ設ケ政府ノ專賣ニ關スル事務ヲ管掌セシムルノ必要ヲ認メ明治三十一年十月二十二日勅令第二百七十四號ヲ以テ專賣局官制ヲ公布シ專賣局ハ大藏大臣ノ管理ニ屬シ政府ノ專賣ニ關スル事務ヲ掌ルモノトシ之ニ局長鑑定官屬鑑定官補ヲ置キ勅令第二百七十三號ヲ以テ葉煙草專賣所官制中改正ヲ加ヘ葉煙草專賣所ハ專賣局長ニ屬セシムルコト、爲シ共ニ同年十一月一日ヨリ之ヲ實施セリ

政府ハ葉煙草專賣法實施以來ノ實況ニ鑑ミ同法改正ノ必要ヲ認メ輸入葉煙草專賣ニ關スル規定ト葉煙草ノ賣渡方法及犯則取締ニ關スル條項ノ改正ニ關スル法案ヲ第十三議會ニ提出セリ然ル



ニ議會ハ尙ホ葉煙草産地ノ區域及耕作段別ノ制限ヲ設ケ且煙草營業者ニ對シ免許料ヲ徵收スルノ規定ヲ設クル等ノ修正ヲ加ヘ之ヲ協賛シ改正案ハ明治三十二年三月法律第二十八號ヲ以テ發布セラレ其一部ハ明治三十二年三月ヨリ其他ハ同年八月ヨリ施行セラル、ニ至レリ

法律第二十八號 (明治三十二年三月一日)

明治二十九年法律第三十五號葉煙草專賣法中左ノ通改正ス

第二條 葉煙草ハ政府之ヲ收納シ又ハ輸入シテ賣渡スヘシ

第五條 政府ハ豫メ葉煙草耕作地ノ區域ヲ定ムルコトヲ得但シ官費又ハ公費ヲ以テスル葉煙草試作地ハ此ノ限ニ在ラス

第六條 葉煙草ヲ耕作セムトスル者ハ政府ノ指定シタル期限内ニ毎年耕作スヘキ葉煙草ノ種類土地及段別ヲ政府ニ届出ヘシ其ノ届出事項ヲ變更シタルトキ亦同シ

政府ハ葉煙草ノ需要供給ノ如何ニ依リ前項ノ種類及段別ヲ制限スルコトヲ得

葉煙草耕作者ニシテ本法ニ違犯シ葉煙草ヲ耕作シ又ハ讓渡若ハ消費シタルトキハ其ノ情狀ニ依リ政府ハ三箇年以内葉煙草ノ耕作ヲ禁スルコトヲ得

第九條 (削除)

第十一條 葉煙草ヲ耕作スル者ハ自己ノ耕作セサル葉煙草ヲ貯藏スルコトヲ得又葉煙草耕作者以外ノ者ハ總テ政府ニ届出ヲ爲スニ非サレハ他人ノ葉煙草ヲ貯藏スルコトヲ得ス

第十五條中「收納」ヲ「收納スル」コトヲ得ルノ場合ニ於テハ「ニ改ム

第十九條ノ次ニ左ノ七條ヲ加フ

第十九條ノ二 葉煙草ハ總テ定價ヲ以テ賣渡スモノトス但シ必要ト認ムル場合ニ於テハ競争ニ付スルコトヲ得

第十九條ノ三 葉煙草ハ政府ノ外之ヲ外國ヨリ輸入スルコトヲ得ス

第十九條ノ四 煙草製造ヲ業トスル者又ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者ニ非サレハ葉煙草ノ讓渡ヲ受クルコトヲ得ス但シ當該官吏ノ承認ヲ受ケ標本トシテ葉煙草ヲ買受クルハ此ノ限ニ在ラス

政府ヨリ賣渡シタル葉煙草ハ之ヲ質物トシテ占有シ之ニ對スル質權ヲ行使スルヲ妨ケス

第十九條ノ五 煙草ノ製造又ハ葉煙草ノ賣買ヲ業トセムトスル者ハ毎年政府ニ申出テ免許ヲ受ケ左ノ免許料ヲ納ムヘシ其ノ業ヲ廢セムトスルトキハ其ノ際届出ヘシ

一 煙草ノ製造ヲ業トスル者

營業場一箇所毎ニ金五拾圓

一 葉煙草賣買ヲ業トスル者

金五拾圓

第十九條ノ六 煙草製造ヲ業トスル者又ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者ハ葉煙草ニ非サル品類ヲ使用シテ煙草ヲ製造シ又ハ煙草製造ニ供スヘキ目的ヲ以テ葉煙草ニ非サル品類ヲ賣買スルコトヲ得ス

第十九條ノ七 煙草製造ヲ業トスル者又ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者ハ帳簿ヲ調製シ營業ニ係ル要領ヲ記載スヘシ當該官吏ハ隨時之ヲ検査スルコトアルヘシ



第十九條ノ八 煙草製造ヲ業トスル者又ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者政府ヨリ賣渡ヲ爲サ、ル葉煙草ヲ所持スルトキハ何人ノ所有ヲ問ハス政府ハ之ヲ收納シ第四條ニ準シテ其ノ賠償金ヲ交付スヘシ

第二十條 葉煙草ノ耕作地域外又ハ届出ヲ爲サ、ル土地ニ葉煙草ヲ耕作シタル者ハ參圓以上參拾圓以下ノ罰金ニ處シ仍其ノ葉煙草ヲ沒收ス其ノ收穫前ニ係ルモノハ之ヲ廢棄セシム  
煙草製造ヲ業トスル者若ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者又ハ葉煙草ノ耕作ヲ禁セラレタル者葉煙草ヲ耕作シタルトキ亦前項ニ同シ

第二十一條 葉煙草ヲ耕作スル者政府ニ納付スヘキ葉煙草ヲ他ニ讓渡シ若ハ消費シタルトキ又ハ葉煙草ノ讓渡ヲ受クルコトヲ得サル者葉煙草ノ讓渡ヲ受ケタルトキ又ハ煙草製造ヲ業トスル者若ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者情ヲ知り政府ヨリ賣渡サ、ル葉煙草ノ讓渡ヲ受ケタルトキ若ハ葉煙草ノ讓渡ヲ受クルコトヲ得サル者ヨリ葉煙草ノ讓渡ヲ受ケタルトキ若ハ氏名居所不明ノ者ヨリ葉煙草ヲ讓受ケタルトキハ拾圓以上參百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ノ現存スルトキハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其代金ヲ追徴ス

第二十一條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ

第二十一條ノ二 免許ヲ受ケスシテ煙草製造ヲ業トシタル者又ハ葉煙草賣買ヲ業トシタル者ハ免許料ノ二倍以上五倍以下ニ相當スル罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草若ハ製造煙草ノ現存スルトキハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其代金ヲ追徴ス

第二十一條ノ三 煙草製造ヲ業トスル者又ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者葉煙草ニ非サル品類ヲ使用シテ煙草ヲ製造シ又ハ煙草製造ニ供スヘキ目的ヲ以テ葉煙草ニ非サル品類ヲ賣買シタルトキハ拾圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル製造品若ハ其ノ使用ニ供スヘキ葉煙草以外ノ品類ノ現存スルトキハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其ノ代金ヲ追徴ス

第二十二條 葉煙草ヲ耕作スル者自己ノ耕作セサル葉煙草ヲ貯藏シ又ハ政府ノ認許ヲ受ケスシテ翌年三月三十一日ヲ過キ葉煙草ヲ貯藏シタルトキハ參圓以上參拾圓以下ノ罰金ニ處ス但シ犯罪ニ係ル葉煙草ハ何人ノ所有ヲ問ハス政府之ヲ收納シ第四條ニ準シテ其賠償金ヲ交付スヘシ

葉煙草耕作者以外ノ者届出ヲ爲サス他人ノ葉煙草ヲ貯藏シタルトキハ參圓以上參拾圓以下ノ罰金ニ處ス但シ貯藏葉煙草ニシテ其ノ所有者不明ナルトキハ仍前項但書ヲ適用ス

第二十四條 煙草製造ヲ業トスル者又ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者營業ニ係ル帳簿ノ記載ヲ怠リ若ハ虛偽ノ記載ヲ爲シタルトキハ參圓以上參拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條中葉煙草ノ下ニ及帳簿ヲ加フ  
第二十八條中葉煙草ヲ耕作スル者ノ下ニ又ハ煙草製造ヲ業トスル者又ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者ヲ加フ

第三十條 特別ノ狀況アル地方ニ限り勅令ヲ以テ本法ヲ施行セサルコトヲ指定スルコトヲ得政府ノ外本法ヲ施行セサル地ヨリ葉煙草又ハ製造煙草ヲ本法施行地ニ移入スルコトヲ得ス



犯シタル者ハ拾圓以上參百圓以下ノ罰金ニ處シ其犯罪ニ係ル葉煙草若ハ製造煙草ノ現存スルトキハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其代金ヲ追徴ス

第三十二條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ

第三十三條 本法施行後葉煙草ノ讓渡ヲ受クルニトテ得サル者本法施行ノ際所有スル葉煙草

ハ明治三十二年四月三十日迄ニ煙草製造ヲ業トスル者若ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者ニ讓渡

スヘシ若此ノ期限ヲ過キ仍葉煙草ヲ所有セムトスル者ハ其ノ種類量目ヲ政府ニ申出テ認許

ヲ受クヘシ犯シタル者ハ其ノ葉煙草ヲ沒收ス

第三十四條 外國ヨリ輸入スル葉煙草ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ施行期日ヲ定ム

法律第二十八號ニ依リ葉煙草專賣法改正ノ結果同法施行細則亦自カラ改正ヲ施スノ必要ヲ生シ

タルヲ以テ明治三十二年三月大藏省令第三號ヲ以テ左ノ如ク改正ヲ加ヘタリ

大藏省令第三號 (明治三十二年三月三日)

明治三十年三月大藏省令第六號葉煙草專賣法施行細則中左ノ通改正シ本年三月二十二日ヨリ施行ス

第一條 葉煙草ヲ耕作セムトスル者ハ苗床ノ所在地及坪數耕作地ノ所在地段別植付見込株數

煙草ノ種名貯藏及乾燥ノ場所ノ所管葉煙草專賣所ニ申告スヘシ

第六條中第二號書式ノヲ削ル

第八條ノ二 他人ノ葉煙草ヲ貯藏セムトスル者ハ葉煙草所有者ト連署シ其ノ都度種類量目及貯藏場ヲ所管葉煙草專賣所ニ届出ヘシ貯藏場ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第八條ノ三 葉煙草專賣法第十九條ノ五ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ住所所管ノ葉煙草專賣所ニ申請スヘシ

第八條ノ四 煙草製造ヲ業トスル者又ハ葉煙草專賣ヲ業トスル者營業場外ニ葉煙草貯藏場ヲ

有スルトキハ之ヲ所管葉煙草專賣所ニ届出ヘシ貯藏場ヲ變更シタルトキ亦同シ

第八條ノ五 煙草製造ヲ業トスル者又ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者葉煙草ノ賣渡ヲ請求スルト

キハ葉煙草專賣所ハ其ノ請求者ニ對シ營業者タル證明ヲ求ムルコトアルヘシ

第八條ノ六 葉煙草專賣所ハ煙草製造ヲ業トスル者又ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者タルノ證明

ヲ求ムル者アルトキハ之ヲ證明スヘシ

第九條中第三號書式ノ書面ヲ種類葉分、包數量目ヲ記載シタル保管願ニ改ム

第一號書式第二號書式第三號書式ヲ削ル

而シテ煙草ノ製造又ハ葉煙草ノ賣買ヲ業トスル者ノ取締ニ關シ是ニ法律第二十八號ヲ以テ葉煙

草專賣法ヲ改正シ毎年一定ノ免許料ヲ納付シテ政府ノ免許ヲ受クルヲ要スルコト、爲セルヲ以

テ同年三月三日大藏省令第二號ヲ以テ從來煙草製造ヲ業トスル者又ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者

ニシテ明治三十二年法律第二十八號葉煙草專賣法中改正法施行後引續キ其ノ業ヲ營ムトスル

者ハ明治三十二年三月三十一日マテニ所管葉煙草專賣所ニ免許申請書ヲ差出スヘキモノトセリ

從來製造煙草ヲ外國ニ輸出スル場合ニ於テハ明治二十一年勅令第二十號煙草稅則第十一條ノ規

定ニ依リ其印紙稅ニ相當スル金額ノ下戻ヲ請フコトヲ得セシメラレシニ該煙草稅則ハ明治三十

二年法律第二十八號葉煙草專賣法施行ノ日ヨリ廢止ニ屬スルヲ以テ別ニ製造煙草ノ輸出ニ便宜



ヲ與フル爲交付金ノ制ナカルヘカラス因テ明治三十二年一月製造煙草輸出交付金ニ關スル法律案ヲ議會ニ提出シ同年三月法律第七十四號ヲ以テ之ヲ公布セリ即左ノ如シ

法律第七十四號 (明治三十二年三月二十日)

第一條 政府ハ葉煙草專賣法施行地ニ於テ製造シタル煙草ヲ外國ニ輸出シタル者ニ對シ其ノ價格ノ百分ノ二十ヲ超過セサル範圍内ニ於テ勅令ノ定ムル所ノ金額ヲ交付スルコトヲ得  
第二條 輸出煙草ノ價格ハ輸出ノ際ニ於ケル申告價格ニ依ル申告價格ヲ不相當ト認ムルトキハ政府之ヲ定ム

附則

第三條 此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

而シテ右法律第七十四號ニ基キ同年七月勅令第三百四十一號ヲ以テ輸出交付金額ノ割合及同法施行期日ヲ左ノ如ク定メタリ

勅令第三百四十一號 (明治三十二年七月十一日)

明治三十二年法律第七十四號ヲ明治三十二年八月一日ヨリ施行ス

明治三十二年法律第七十四號第一條ノ製造煙草輸出交付金ハ輸出煙草ノ價格ノ百分ノ二十トス

明治三十二年法律第二十八號ヲ以テ葉煙草專賣法改正ノ結果政府ヨリ賣渡ス葉煙草ハ必要ト認ムル場合ニ於テハ競争ニ付スルコトヲ得ルコト、ナレルヲ以テ葉煙草專賣所ニ於ケル競争賣渡ニ關スル規定ヲ設クルノ必要ヲ生シタレハ同年三月勅令第四十五號ヲ以テ之ニ關スル規定ヲ設

ケ競争賣渡ノ方法及其手續等ヲ定メタリ即左ノ如シ

勅令第四十五號 (明治三十二年三月二十二日)

第一條 葉煙草專賣所ニ於テ競賣ニ付シ葉煙草ヲ賣渡ストキハ入札又ハ競賣ノ方法ニ依ル葉煙草專賣所ハ競争ニ加ハラントスル者又ハ契約ヲ結ハントスル者ヲシテ現金ヲ以テ保證金ヲ納メシムルコトヲ得

第二條 競争ヲ行ハントスルトキハ豫メ揭示又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ成ルヘク廣ク公告スヘシ

第三條 競争ハ競争者ノ面前ニ於テ執行スヘシ競争ノ際出席セサルモノ、競争價格ハ無効トス

第四條 競争ニ付スルモ各人ノ競争價格定價以下ナルトキハ其ノ競争ハ無効トス

第五條 同一價格ヲ以テ競争シ落札又ハ競落トナルヘキ者數人アリタルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ其ノ落札者又ハ競落者ヲ定ムヘシ

第六條 落札者又ハ競落者ハ直ニ買請書ヲ提出スヘシ

而シテ同月大藏省訓令第九號ヲ以テ明治三十年大藏省訓令第六十四號葉煙草出納順序中左ノ如ク改正ス蓋シ葉煙草ノ出納上實際ノ便宜ニ基クモノナリ

大藏省訓令第九號 (明治三十二年三月十日)

明治三十年十月大藏省訓令第六十四號葉煙草出納順序中左ノ通改正ス

第四條 葉煙草ノ出納命令書ハ第一號書式ニ依ル但出納命令ノ要項ヲ具備シタル書類ニ葉煙



草專賣所長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ノ認印シタルモノヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得  
第五條中「一廉毎ニ總ヲ其ノ」ニ改ム

(舊式略)

葉煙草專賣法ノ改正ト共ニ同法違犯者ニ對スル處分方ニ關シテハ普通犯罪審理ノ方法ニ據ルハ  
極メテ不便ナルモノアルヲ以テ其犯則事件ニ對シ行政上特別處分ヲ爲スノ必要アリ是ニ於テ明  
治三十二年四月法律第九十八號ヲ以テ間接國稅犯則者處分法第一條乃至第十九條ノ規定ヲ準用  
スルコト、セリ

法律第九十八號 (明治三十二年四月十七日)

間接國稅犯則者處分法第一條乃至第十九條ノ規定ハ葉煙草專賣法違犯事件ニ準用ス  
間接國稅犯則者處分法中間稅官吏ニ屬スル職務ハ葉煙草專賣事務ニ從事スル官吏稅關官吏及  
警察官吏之ヲ行ヒ間稅署長間稅分署長ニ屬スル職務ハ違犯事件發覺地ヲ管轄スル葉煙草專賣  
所長之ヲ行フ

右法律第九十八號ニ由リ葉煙草專賣法違犯事件ニ間接國稅犯則者處分法ノ規定ヲ準用スルコト  
トナレルヲ以テ明治三十二年五月大藏省令第十九號ヲ以テ其施行細則ヲ左ノ如ク定メタリ

大藏省令第十九號 (明治三十二年五月十三日)

葉煙草專賣法違犯事件ニ關スル法律施行細則左ノ通相定ム

第一條 當該官吏ハ處分請求書ヲ差出シタル後ト雖モ若シ證據又ハ事實參考トナルヘキモノ  
ヲ發見シタルトキハ之ヲ專賣局長若クハ專賣支局長ニ差出スヘシ

第二條 犯則處分ニ關スル書類ハ每葉ニ契印スヘシ若シ文字ノ挿入削除及欄外ノ記入アルト

キハ之ニ認印スヘシ但削除シタルモノハ其ノ字體ヲ存シ其字數ヲ記載スヘシ

第三條 沒收ニ該ル物品ニシテ市町村吏員又ハ隣佑若ハ本人ニ預ケアルモノハ保管ノ儘納付  
ノ手續ヲナサシムヘシ

而シテ葉煙草專賣法犯則者處分ニ關スル書類送達方ニ付テハ明治三十二年五月二十二日勅令第  
二百一十一號ヲ以テ明治二十三年勅令第二百三十二號間接國稅犯則者處分ニ關スル書類送達ノ規  
定ヲ準用スルコト、爲セリ

明治三十二年四月二十一日勅令第七十號ヲ以テ專賣局官制ヲ改正シ同時ニ葉煙草專賣所官制  
ヲ廢止シ同年五月一日ヨリ施行スル旨ヲ公布セリ改正ノ官制ニ依レハ東京ニ專賣局ヲ置キ大藏  
大臣ノ管理ニ屬シ葉煙草ノ検査、收納、輸入、賣渡、營業免許及專賣取締ニ關スル事務ヲ掌ルモノトシ  
各地方ニ五十六箇所ノ專賣支局ヲ置キ專賣局ノ事務ヲ分掌セシメ更ニ大藏大臣ハ必要ト認ムル  
地ニ專賣局出張所ヲ設クルコトヲ得ルモノトシ專賣局ニ局長、事務官、鑑定官、事務官補、屬鑑定官補  
監視、技手ヲ置クヘキ旨ヲ定メタリ而シテ同時ニ勅令第七十五號、同第七十六號、同第七十七  
號ヲ以テ特別任用ニ關スル規定ヲ改正セリ

明治三十二年法律第二十八號ニ依リ葉煙草專賣法改正ノ結果葉煙草ハ政府ノ外、外國ヨリ輸入ス  
ルヲ得サルコト、ナセシカ、同法第三十四條ヲ以テ外國ヨリ輸入スル葉煙草ニ關スル規定ハ勅令  
ヲ以テ其施行期日ヲ定ムル旨ヲ規定セルヲ以テ明治三十二年三月三十日勅令第八十三號ヲ以テ  
其施行期日ヲ定メ同年八月十五日ヨリ之ヲ施行スルコト、ナセリ而シテ政府ニ於テ外國ヨリ葉



煙草ヲ買入ル、場合ニ於テ一般ノ規定ニ依リ競争ノ方法ニ依ルモノトスルトキハ極メテ不便ナルヲ以テ同年六月一日勅令第二百二十一號ヲ以テ右ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意契約ニ依ルコトヲ得ルモノトセリ

斯クテ同年八月十五日大藏省訓令第五十八號ヲ以テ從來ノ葉煙草收納賣渡及保管ニ關スル取扱方心得中改正ヲ加ヘ第十八條中收納ノ下ニ「輸入」ノ二字ヲ加ヘ又其書式ヲ改正シ同月十五日大藏省訓令第五十九號ヲ以テ葉煙草出納順序中改正ヲ加ヘ第五條中割註ノ下ニ「又ハ撥數」ノ四字ヲ加ヘ又其書式ヲ改正セリ尋テ同年十一月十四日大藏省令第四十七號ヲ以テ明治三十年大藏省令第六號葉煙草專賣法施行細則中改正ヲ加ヘ第十九條中「國債證券」ノ下ニ「地方債券、政府ノ保護又ハ監視ヲ受クル株式會社ノ株券若クハ債券」ノ二十九字ヲ加ヘタリ是レ葉煙草賣渡代金延納ノ擔保ノ範圍ヲ擴張セルナリ右ノ如ク葉煙草專賣法施行細則改正ノ結果明治三十年大藏省訓令第六十三號葉煙草收納賣渡及保管ニ關スル取扱方心得中改正ヲ加ヘ第十七條中「國債證券」ノ下ニ「地方債證券、政府ノ保護又ハ監視ヲ受クル株式會社ノ株券若クハ債券」ノ二十九字ヲ加ヘタリ

葉煙草專賣經營ニ就テハ明治二十九年法律第七十九號葉煙草專賣資金會計法ニ依リ葉煙草賠償ノ爲葉煙草專賣資金ヲ置キ特別會計トシテ經理シ來リシカ政府ノ專賣事業ノ經營上之ニ關スル作業特別會計ヲ設置スルノ必要ヲ認メタルヲ以テ明治三十二年三月一日法律第三十號ヲ以テ明治二十三年法律第十七號作業會計法ヲ改正シ其第一條第五、廣島嶺山ノ次ヘ專賣局ヲ加ヘ第二條ニ「專賣局据置運轉資本ハ明治三十三年四月一日ヨリ現在ノ葉煙草專賣資金ヲ以テ之ニ充テ漸次増加シテ八百萬圓トス」ノ一項ヲ追加シ又法律第三十一號ヲ以テ從來ノ葉煙草專賣資金會計法ヲ

廢止シ共ニ明治三十三年度ヨリ施行スルコト、セリ

從來法人ノ代表者又ハ其雇人等法人ノ業務ニ關シ葉煙草專賣ニ關スル法規ニ違犯セル場合ノ處分ノ規定不完備ニシテ實際上極メテ不便ヲ感セルヲ以テ右ノ場合ニ於テハ法人ヲ處罰スルコトトシ明治三十三年三月法律第五十二號ヲ以テ之ニ關スル特別法ヲ公布セリ即左ノ如シ

法律第五十二號 (明治三十三年三月十二日)

- 第一條 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ租稅及葉煙草專賣ニ關スル法規ヲ犯シタル場合ニ於テハ各法規ニ規定シタル罰則ヲ法人ニ適用ス但シ其ノ罰則ニ於テ罰金科料以外ノ刑ニ處スヘキコトヲ規定シタルトキハ法人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第二條 法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス
- 第三條 法人ヲ處罰スルノ裁判確定シタル日ヨリ罰金ニ關シテハ一月以内科料ニ關シテハ十日以内ニ之ヲ納完セサルトキハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ其ノ執行ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ檢事ノ命令ヲ以テ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ効力アルモノトス
- 前項ニ依リ執行ヲ爲スニハ執行前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

明治二十九年法律第八十六號間接國稅犯則者處分法ハ疑ニ明治三十二年法律第九十八號ヲ以テ葉煙草專賣法違犯事件ニ準用スルコト、ナリシカ明治三十三年三月法律第六十七號ヲ以テ間接國稅犯則者處分法ノ全部ヲ改正セルヲ以テ同年三月法律第六十八號ヲ以テ更ニ同法準用ニ關スル法律ヲ左ノ如ク定メタリ

法律第六十八號 (明治三十三年三月十六日)



間接國稅犯則者處分法ハ葉煙草專賣法違犯事件ニ準用ス  
間接國稅犯則者處分法中收稅官吏ニ屬スル職務ハ葉煙草專賣事務ニ從事スル官吏收稅官吏稅  
關官吏又ハ警察官吏之ヲ行ヒ稅務管理局長ニ屬スル職務ハ違犯事件發見地ヲ管轄スル專賣支  
局長之ヲ行フ

專賣局長ノ直轄スル區域内ニ在リテハ前項專賣支局長ニ屬スル職務ハ專賣局長之ヲ行フ  
而シテ右法律第六十八號ノ施行ニ付テハ同年三月二十二日勅令第五十三號ヲ以テ間接國稅犯則  
者處分法施行規則ヲ準用スルコト、セリ

第十條 物品會計規則第十五條ニ依リ葉煙草會計官吏ノ差出スヘキ葉煙草出納計算書ハ翌年  
度六月十五日限リ專賣局長又ハ專賣支局長ニ差出スヘシ

第十條 物品會計規則第十五條ニ依リ葉煙草會計官吏ノ差出スヘキ葉煙草出納計算書ハ翌年  
度六月十五日限リ專賣局長又ハ專賣支局長ニ差出スヘシ

第十一條 物品會計規則第十七條ノ下検査ハ專賣局ニ於テハ局長之ヲ執行シ專賣支局ニ於テ  
ハ支局長之ヲ執行スヘシ

但右葉煙草出納順序ハ同年十月十日大藏省訓令第六十一號ヲ以テ第十條第一項中翌年度六月十  
五日限リノ十字ヲ削リ又同條第二項ヲ削除セリ而シテ明治二十九年法律第三十五號葉煙草專賣  
法ニ於テ同法施行ノ地域ニ於テハ葉煙草耕作地ノ範圍ニ別段ノ制限ヲ設ケス耕作ヲ爲サムトス  
ル者ハ其段別ヲ届出ツヘキモノトセルモ明治三十二年法律第二十八號ヲ以テ同法中改正ヲ施シ

第五條ニ於テ官公費ヲ以テスル試作地ヲ除ク外政府ハ豫メ葉煙草耕作地ノ區域ヲ定ムルコトヲ  
得ルコト、爲シタリシカ明治三十三年十一月十日勅令第三百九十六號ヲ以テ右葉煙草專賣法第  
五條ニ依リ葉煙草耕作地區域ヲ定メ區域内各郡市區町村ヲ列舉セリ左ニ之ヲ掲ケン

勅令第三百九十六號 (明治三十三年十一月十日)

葉煙草專賣法第十五條ニ依リ葉煙草耕作地區域別表ノ通之ヲ定ム  
(別表)

葉煙草耕作地區域表

區域内郡市區町村

千葉縣

安房郡ノ内

九重村 稻都村 瀧田村 國府村 健田村 千歲村 壘田村

君津郡ノ内

中 村 小糸村 秋元村 三島村

夷隅郡ノ内

千町村 古澤村

長生郡ノ内

一宮町 土陸村

東葛飾郡ノ内



野田町 關宿町 梅郷村 福田村 旭村 七福村 川間村 木間ヶ瀬村 二川村  
埼玉縣

北葛飾郡ノ内  
豊岡村 寶珠花村

秩父郡ノ内

大宮町 小鹿野町 横瀬村 高篠村 原野村 皆谷村 三澤村 白鳥村 樋口村 野上村  
國神村 下吉田村 太田村 尾田蔭村 長若村 影森村 久那村

群馬縣

多野郡ノ内

吉井町 藤岡町 新町 鬼石町 神流村 小野村 八幡村 美土里村 平井村 美九里村 多胡村 入野村 日野村

北甘樂郡ノ内

富岡町 福島町 黒岩村 高瀬村 額部村 秋畑村 小幡村 新屋村 岩平村 小野村  
群馬郡ノ内

片岡村

勢多郡ノ内

敷島村

利根郡ノ内

茨城縣  
桃野村 湯ノ原村 久賀村 川田村

猿島郡ノ内

岩井町 境町 櫻井村 靜村 長田村 八俣村 幸島村 猿島村 森戸村 生子菅村 逆井山村 七重村 杓掛村 弓馬田村 飯島村 神大實村 七郷村 中川村 長須村

結城郡ノ内

下結城村 名崎村 安靜村 大形村 岡田村 飯沼村 菅原村 大花羽村 西豊田村  
豊岡村

北相馬郡ノ内

菅生村 坂手村 内守谷村  
東茨城郡ノ内

上中妻村 下中妻村 中妻村 渡里村 飯富村 山根村 石塚村 小松村 西郷村 坪村 岩船村 澤山村 伊勢畑村  
西茨城郡ノ内

笠間町 大原村 大池田村 七倉村 北山内村 西山内村 南山内村 東那珂村 北那珂村 西那珂村  
那珂郡ノ内



大宮町 國田村 戸多村 芳野村 木崎村 瓜連村 淨村 大湯村 上野村 大賀村  
玉川村 鹽田村 山方村 檜澤村 小瀬村 野口村 長倉村 八里村 薩郷村  
久慈郡ノ内

大子町 太田町 機初村 世矢村 幸久村 佐竹村 郡戸村 久米村 金郷村 世喜村  
金砂村 天下野村 高倉村 染和田村 山田村 譽田村 佐都村 河内村 中里村 賀  
美村 小里村 生瀬村 宮川村 黒澤村 依上村 佐原村 袋田村 上小川村 下小川  
村 諸富野村

多賀郡ノ内

豊浦町 河原子町 坂上村 國分村 鮎川村 高鈴村 日立村 日高村

栃木縣

那須郡

河内郡ノ内

上三河町 横川村 平石村 瑞穂野村 本郷村 明治村 雀宮村 姿川村 國本村 富  
屋村 篠井村 羽黒村 絹島村 古里村 田原村 豊郷村

上都賀郡ノ内

北犬飼村

下都賀郡ノ内

稻葉村 南犬飼村 姿村

芳賀郡ノ内

真岡町 益子町 茂木町 中村 物部村 山前村 田野村 七井村 逆川村 中川村  
須藤村 小貝村 市羽村 南高根澤村 祖母井村 水橋村 清原村 大内村  
鹽谷郡ノ内

矢板町 氏家町 喜連川町 泉村 箆根村 船生村 玉生村 大宮村 阿久津村 北

高根澤村 熱田村 片岡村

福島縣

石川郡

東白川郡ノ内

鮫川村 竹貫村 宮本村

石城郡ノ内

川前村 三坂村

田村郡ノ内

三春町 小野新町 常葉町 御木澤村 高野村 逢隈村 小泉村 巖江村 中妻村 宮  
城村 高瀬村 守山村 谷田川村 二瀬村 御館村 中郷村 蘆澤村 七郷村 飯豊村  
夏井村 瀧根村 大越村 山根村 片曾根村 美山村 移村 瀬川村 澤石村 文  
珠村 要田村

安達郡ノ内



南會津郡ノ内  
 和木澤村 白岩村 小濱村 新殿村 旭村  
 田島町 旭田村 檜原村 檜澤村 荒海村 二川村 長江村  
 北會津郡ノ内  
 川南村 門田村 大戸村  
 大沼郡ノ内  
 高田町 永井野村 旭村 藤川村 本郷村 赤澤村 新鶴村 田川村 氷玉岡村 川  
 路村  
 河沼郡ノ内  
 若宮村 坂本村 柳津村 倉戸村 飯谷村 高寺村 片門村 東松村 新郷村 千咲村  
 宮城縣  
 登米郡ノ内  
 米川村 錦織村 米谷村  
 巖手縣  
 東盤井郡ノ内  
 千厩町 折壁村 矢越村 小梨村 八澤村 小津保村 藤澤村 黄海村 薄衣村 奥玉  
 村 磐清水村 門崎村 長坂村 猿澤村 摺澤村 澁民村 興田村 大原村  
 江刺郡ノ内

米里村  
 稗貫郡ノ内  
 大迫村 内川目村 外川目村 龜ヶ森村  
 紫波郡ノ内  
 赤澤村 佐比内村  
 上閉伊郡ノ内  
 宮守村 達會部村  
 二戸郡ノ内  
 金田一村  
 青森縣  
 三戸郡ノ内  
 三戸町 名久井村 留崎村 向村 平良崎村  
 北海道  
 幌別郡ノ内  
 幌別村  
 秋田縣  
 雄勝郡ノ内  
 東成瀬村 西成瀬村 駒形村 川連村 三梨村 稻庭村 皆瀬村 須川村 小野村



平鹿郡ノ内

山内村

由利郡ノ内

直根村 川内村 笹子村

山形縣

米澤市

北村山郡ノ内

楯岡町 東根町 西郷村 大倉村 東郷村 高崎村 山口村 田麥野村 大富村 小田

島村 長瀬村

東村山郡ノ内

天童町 成生村 津山村 千布村

東田川郡ノ内

黒川村 廣瀬村 泉村 手向村

南置賜郡ノ内

南原村 萬世村 山上村 上長井村

新潟縣

北蒲原郡ノ内

水原町 安田村 大和村 分田村 小島村 堀越村 安野村 京ヶ瀬村 駒林村 長場

村 越岡村

中蒲原郡ノ内

五泉町 新津町 新關村 満日村 阿賀浦村 泉本村 木津村 横越村 澤海村

西蒲原郡ノ内

赤塚村 五十嵐濱村 木山村 河西村 西川村 仁ヶ村 稻島村 松野尾村 越前濱村

角田濱村 内野村

三島郡ノ内

岩田村 飯塚村 深澤村 才津村 大島村 日越村 王寺川村 關原村 宮本村 大積

村 日吉村 上岩井村 天津村

中魚沼郡ノ内

秋成村 赤崎村 倉俣村 中深見村 谷内村 上郷村 下船渡村 馬場村 田澤村 宮

野原村

中頸城郡ノ内

新井町 島坂村 原通村 妙高村 矢代村 中郷村 境村 水原村 泉村 平丸村

瑞穂村 豊葦村 關山村 關川村 大鹿村 長澤村 小出雲村

長野縣

上高井郡ノ内

保科村 川田村 綿内村 井上村 高甫村 仁禮村 豊丘村



埴科郡ノ内 南條村 中之條村 坂城村

東筑摩郡ノ内

錦部村 會田村 五常村 中川村 本城村 坂北村 生坂村 東川手村 中川手村 上

川手村

更級郡ノ内 牧郷村 大岡村 日原村

北安曇郡ノ内 社 村 池田町村 會染村 七貴村 陸郷村 廣津村 八坂村

下伊那郡ノ内 清内路村 根羽村

山梨縣

中巨摩郡ノ内

龍王村 玉幡村 松島村 池田村 貢川村 國母村 大鎌田村 二川村 稻積村 三町

村 西條村 常永村 小井川村 花輪村 忍 村 御影村 田之岡村 源 村 飯野村

百田村 豊 村 在家塚村 西野村 今諏訪村 三惠村 鏡中條村 藤田村 明穂村

神 村 野々瀬村 落合村 大井村 五明村 南湖村 平林村

南巨摩郡ノ内

増穂村

神奈川縣

中郡

三浦郡ノ内

三崎町 北下浦村 南下浦村 初聲村 武山村 中西浦村 長井村

足柄上郡ノ内

中 村 曾我村 金田村 松田村 上秦野村 川 村 北足柄村 南足柄村 福澤村

酒田村 櫻井村 岡本村 上中村 山田村 井ノ口村 寄 村 吉田島村

足柄下郡ノ内

盧子村 二川村 富水村 豊川村 上府中村 下府中村 下曾我村 下中村 前羽村

酒匂村 久野村 田島村 國府津村

愛甲郡ノ内

玉川村

静岡縣

富士郡ノ内

大宮町 富士根村 富丘村 北山村 上井出村 白糸村 上野村 袖野村 芝富村

小笠郡ノ内

大須賀村 大淵村 大坂村 三濱村 三俣村 千濱村 池新田村 朝比奈村 比木村

佐倉村 新野村 南山村

磐田郡ノ内

見付町 中泉町 掛塚町 幸浦村 東淺羽村 豊濱村 西淺羽村 上淺羽村 田原村

御厨村 福島村 於保村 南御厨村 西貝村 梅原村 天龍村 長野村 袖浦村 十束



村 井通村 池田村 富岡村 岩田村 向笠村 大藤村 今井村 三川村 廣瀬村 敷地村 野部村

濱名郡ノ内

濱松町 笠井村 曳馬村 三方原村 天神町村 白脇村 淺場村 新津村 村櫛村 南庄内村 北庄内村 和地村 吉野村 伊佐見村 神久呂村 雄踏村 入野村 富塚村 有玉村 小野田村 平貴村 美島村 赤佐村 中瀬村 龍池村 豊西村 中郡村 市野村 天王村 蒲村 和田村 中ノ町村 飯田村 芳川村 河輪村 五島村

愛知縣

寶飯郡ノ内

國分町 三谷町 蒲郡町 御馬村 御津村 大塚村 豊岡村 靜里村 神ノ郷村 鹽津村 形原村 西浦村

額田郡ノ内

相見村 深溝村

碧海郡ノ内

知立町 菊谷町 上重原村 重原村 半高村 元菊谷村 小垣井村 箕輪村 野田村 長崎村 里村 今村 牛橋村 若園村 和會村 竹村 堤村 駒場村 境村 東境村 逢見村 一ツ木村 小山村 逢妻村 西加茂郡ノ内

舉母町 梅坪村 宮口村 逢妻村 明越村 三好村 萌生村 伊保村 橋見村 根川村

東加茂郡ノ内

生駒村

知多郡ノ内

有松町 大高町 緒川村 吉田村 森岡村 大府村 横根村 北崎村 共和村 長草村 名和村 荒尾村 大田村 富木島村

愛知郡ノ内

鳴海町 島野村 彌富村 廣路村 千種村 鍋屋上野村 田代村 猪子石村 高社村 植田村 平針村 香久山村 諸和村 春木村 沓掛村 豊明村 白山村 岩崎村 岩作村 長湫村 幡野村 上郷村 山口村

東春日井郡ノ内

勝川町 小牧町 味美村 春日井村 片山村 外山村 岩崎村 久保一色村 味岡村 池林村 大野村 大草村 陶村 田樂村 下原村 八幡村 小木田村 和爾良村 柏井村 小野村 志談村 上志談味村 雛五村 不二村 玉川村 神坂村 内津村 高間村 二城村 小幡村 大森村 印場村 新居村 八白村 水野村 掛川村 丹羽郡ノ内

犬山町 富成村 樂田村 羽黒村 岩田村 今井村 池野村 善師野村 岩橋村 高雄村



北設樂郡ノ内

稻橋村 武節村

岐阜縣

海津郡

惠那郡ノ内

上村 下原田村 串原村

可兒郡ノ内

帷子村 池田村

稻葉郡ノ内

南長森村 北長森村 日野村 那加村 更木村 藤原村 前宮村 鵜沼村 各務村 芥

見村 岩村

三重縣

度會郡ノ内

宇治山田町 田丸町 宮本村 御蘭村 豊濱村 北濱村 小俣村 有田村 東外城村

城田村 下外城田村 内城田村

多氣郡ノ内

明星村 五ヶ谷村

飯南郡ノ内

茅廣江村 大石村 粥見村 宮前村

一志郡ノ内

竹原村 八知村 太郎生村 伊勢地村 八幡村 多氣村

名賀郡ノ内

名張町 藏持村 鷹原村 花垣村 古山村 猪田村 依那古村 神戸村 美濃波多村

阿山郡ノ内

上野町 小田村 城南村 花之木村 長田村 新居村 三田村 中ノ瀬村 府中村 山

田村 友生村

鈴鹿郡ノ内

井田川村 高津瀬村 久間田村 深伊澤村 椿村 庄内村 川崎村

三重郡ノ内

小山田村 水澤村 櫻村 菰野村 千種村 鵜川原村 縣村 保々村 竹永村

員辨郡ノ内

治田村 東藤原村

滋賀縣

愛知郡ノ内

西小椋村 角井村 豊椋村

神崎郡ノ内



八日市村 御園村 建部村

蒲生郡ノ内

安土村 老蘇村 市邊村 中野村 玉緒村

野洲郡ノ内

速野村 中洲村 兵主村 中里村 北里村

福井縣

大野郡ノ内

大野町 勝山町 小山村 乾側村 下庄村 上庄村 阪谷村 富田村 平泉寺村 猪野  
瀬村 村岡村 北谷村 野向村 荒土村 北郷村 鹿谷村 遅羽村

吉田郡ノ内

浄法寺村 上志比村

石川縣

江沼郡ノ内

西谷村

能美郡ノ内

別宮村 河野村 吉原村 尾口村 中海村 宮内村

石川郡ノ内

鶴來町 藏山村 河内村 吉野谷村 額村 富樫村 野村 崎浦村

富山縣

婦負郡ノ内 西吳羽村 細入村

上新川郡ノ内 新保村 大久保村 大澤野村 下夕村 船峯村

下新川郡ノ内

舟見村 下立村 内山村 愛本村 山崎村

京都府

相樂郡ノ内

上狛村 高麗村 棚倉村

南桑田郡ノ内

龜岡町 篠村 曾我部村

北桑田郡ノ内

周山村 細野村 神吉村 宇津村 山國村 弓削村 宮島村 大野村

船井郡ノ内

下和知村 上和知村 五ヶ莊村 世木村

天田郡ノ内

曾我井村 下豊富村 上川口村 金山村 下川口村

大阪府

北河内郡ノ内



牧方町 友呂岐村 蹉跎村 水本村 星田村 川越村 津田村 交野村 磐船村 氷室村  
 菅原村 山田村 甲可村 豊野村  
 南河内郡ノ内  
 川西村 錦郡村 市新野村 狭山村 三都村 大艸村 日置莊村 野田村  
 泉北郡ノ内  
 鶴田村 八田莊村 深井村 東百舌鳥村 久世村 東陶器村 西陶器村 北上神村 上  
 神谷村 美木多村 北池田村  
 泉南郡ノ内  
 日根野村 長瀧村 上之郷村 南中通村 大土村 田尻村 新家村 東信達村 北信達  
 村 西信達村 鳴瀧村 樽井村 雄信達村 尾崎村 東鳥取村  
 奈良縣  
 高市郡  
 宇陀郡ノ内  
 松山町 神戸村 政始村 宇太村 宇賀志村 伊那佐村 内牧村 室生村 曾爾村 御  
 杖村  
 磯城郡ノ内  
 櫻井町 城島村 平野村 多村 香久山村 安倍村 多武峰村  
 北葛城郡ノ内

高田町 新庄村 浮孔村 磐園村 陵西村 王寺村 瀬南村 馬見村 百濟村 箸尾村  
 河合村 土庫村 松塚村  
 南葛城郡ノ内  
 忍海村 櫛羅村 檜原村  
 宇智郡ノ内  
 大阿太村 南阿太村  
 吉野郡ノ内  
 下市町 大淀村 秋野村 南芳野村 白銀村 賀名生村 宗槍村 十津川村 上龍門村  
 和歌山縣  
 伊都郡ノ内  
 笠田村 大谷村 四郷村 妙寺村 紀見村 隅田村  
 那賀郡ノ内  
 上名手村  
 日高郡ノ内  
 名田村  
 東牟婁郡ノ内  
 敷屋村  
 兵庫縣



加古郡

明石郡ノ内

平野村 神出村 岩岡村 大久保村 魚住村 林崎村

水上郡ノ内

上久下村 久下村 小川村 和田村 葛野村 神樂村

養父郡ノ内

口大屋村 大屋村 西谷村 南谷村

宍粟郡ノ内

萬澤村 千種村 三河村 土萬村 菅野村

揖保郡ノ内

西栗栖村

佐用郡ノ内

中安村 徳久村 大廣村 三日月村

岡山縣

上房郡

真庭郡

川上郡

久米郡ノ内

廣島縣

小田郡ノ内

小田村 堺村 美山村 宇戸村

後月郡ノ内

井原町 高屋村 西江原村 山野上村 青野村 芳水村 明治村 足次村 下鴨村 山

吉備郡ノ内

下倉村 水内村 秦村 池田村 日美村 富山村 大和村 菅谷村 福谷村

御津郡ノ内

宇甘西村 加茂村 福山村 長田村 上田村 富津村 豊岡村 新山村 江與味村

阿哲郡ノ内

美穀村 草間村 豊永村 丹治部村 刑部村 上刑部村 矢神村 野馳村 新砥村 萬

赤磐郡ノ内

大井西村 倭文西村 西川村 吉岡村 福岡村 豊岡村

山方村

富村

苦田郡ノ内

美穀村 草間村 豊永村 丹治部村 刑部村 上刑部村 矢神村 野馳村 新砥村 萬



神石郡  
 甲奴郡  
 比婆郡ノ内  
 東城町 高村 久代村 帝釋村 本村 峰田村 敷信村  
 雙三郡ノ内  
 吉舎村 萩原村  
 深安郡ノ内  
 山野村  
 蘆品郡ノ内  
 府中町 出口町 岩谷村 河佐村 阿字村 行藤村 桑木村 木野山村 藤尾村 常金  
 丸村 廣谷村 栗生村  
 御調郡ノ内  
 三原町 貢村 山中村 西野村 諸田村 上川邊村 下川邊村 菅野村  
 豐田郡ノ内  
 忠海町 田萬里村 小谷村 入野村 大河村 戸野村 船木村 長谷村 本郷村 下北  
 方村 上北方村 善入寺村 南方村 小泉村 沼田西村 沼田東村 田野浦村 須波村  
 佐江崎村 大乘村 吉名村 木谷村  
 賀茂郡ノ内

三浦村 竹原町 三津口村 早田原村 下野村 東野村 莊野村  
 高田郡ノ内  
 丹比村 郷野村 刈田村 根野村 横田村 本村 志屋村 市川村  
 安佐郡ノ内  
 大林村  
 山口縣  
 美禰郡ノ内  
 岩佐村 大嶺村 於福村 別府村  
 鳥取縣  
 西伯郡  
 八頭郡ノ内  
 登米村 小畑村 若櫻村 赤松村 菅野村 池田村  
 日野郡ノ内  
 野上村 二部村 黒坂村 渡村 安井村 眞住村 根雨村 神奈川村 江尾村 米澤  
 村 金岩村 溝口村 榮村 旭村 米原村 金澤村 日吉村 吉壽村  
 島根縣  
 八束郡ノ内  
 波入村 二子村



大原郡ノ内  
 日登村 佐世村  
 仁多郡ノ内  
 布施村 三深村 温泉村  
 飯石郡ノ内  
 一宮村 三刀屋村 鍋山村 飯石村 中野村 田井村 掛合村 多根村 笠松村  
 徳島縣  
 三好郡  
 美馬郡  
 麻植郡ノ内 木屋平村  
 名西郡ノ内  
 上分上山村 下分上山村  
 香川縣  
 香川郡ノ内  
 安原村 安原上東村 安原上西村  
 綾歌郡ノ内  
 西分村 枋所村 長炭村 造田村 美合村  
 仲多度郡ノ内

吉野村 十郷村 七箇村  
 三豊郡ノ内  
 豊濱町 麻村 神田村 財田村 河内村 粟井村 紀伊村 中姫村 萩原村 五郷村  
 和田村 大野原村  
 愛媛縣  
 宇摩郡ノ内  
 金田村 川瀧村 富郷村 金砂村 新立村 上山村  
 周桑郡ノ内  
 千足山村 櫻樹村 中川村 田野村 徳田村  
 温泉郡ノ内  
 川上村 三内村  
 上浮穴郡ノ内  
 父二峰村 小田町村 田渡村  
 伊豫郡ノ内  
 原町村 砥部村 廣田村 出淵村 中山村 佐禮谷村 下灘村 南山崎村  
 喜多郡ノ内  
 滿穂村 田所村 柳澤村 喜多山村 瀧川村  
 高知縣



長岡郡ノ内

東本山村 西豊永村 東豊永村

福岡縣

朝倉郡ノ内

秋月町 甘木町 寶珠山村 松末村 把木村 久喜宮村 高木村 朝倉村 宮野村 福成村 大庭村 志波村 三奈木村 蟻城村 福田村 金川村 立石村 上秋月村 安川村

浮羽郡ノ内

吉井町 田主丸町 大石村 山春村 椿子村 浮羽村 千年村 福富村 江南村 船越村 水分村 川會村 柴刈村 水繩村 竹野村

宗像郡ノ内

赤間町 津屋崎町 吉武村 河東村 池野村 神湊村 田島村 岬村 東郷村 宮田村 野坂村 神興村 上西郷村 宮地村 下西郷村 勝浦村

佐賀縣

藤津郡ノ内

南鹿島村 能古見村 古枝村 八本木村 七浦村 北鹿島村 西嬉野村 東嬉野村 吉田村

長崎縣

北松浦郡ノ内

田平村 呈鹿村 御厨村

南高來郡ノ内

島原町 湊町 島原村 杉谷村 三會村 大三東村 湯江村 多比良村 千々岩村 小濱村 北串山村 南串山村 加津佐村 口ノ津村 南有馬村 北有馬村 西有家村 東有家村 堂崎村 布津村 深江村 安中村

熊本縣

球摩郡ノ内

人吉町 西村 一武村 兔田村 大村 藍田村 川村 中原村 上村 木上村

葦北郡ノ内

水俣村

上益城郡ノ内

木山町 秋津村 白水村 津森村 廣安村 福田村

飽託郡ノ内

龍田村 黒髮村 清水村 川上村 大江村 供合村 廣畑村 小山戸島村 健軍村 菊池郡ノ内

大津町 原水村 津田村 瀬田村 陣内村 平真城村 護川村 合志村 西合志村

阿蘇郡ノ内



高森町 馬見原町 古城村 坂梨村 南小國村 錦野村 野尻村 山西村 草部村 白  
水村 色見村 波野村 産山村 菅尾村 柏村

大分縣

日田郡ノ内

豆田町 隈町 三花村 大鶴村 夜明村 光岡村 朝日村 三芳村 五和村 高瀬村  
直入郡ノ内

竹田町 豊岡村 岡本村 玉來村 松本村 入田村 堀嶽村 宮砥村 柏原村 萩村  
菅生村 宮城村 城原村 明治村 白丹村 久住村 都野村 長湯村 下竹田村

大野郡ノ内

川登村 田野村 野津市村 戸上村 南野津村 菅尾村 百枝村 三重村 新田村 白  
山村 合川村 牧口村 南緒方村 長谷川村 上緒方村 小富士村 緒方村 上井田村  
西大野村 今市村 田中村 中井田村 養老村 大野村 柴原村 井田村 犬飼村 長  
谷村 土師村

北海道郡ノ内

臼杵町 下ノ江村 海邊村 下北津留村 上北津留村 中臼杵村 上南津留村 下南津  
留村 市濱村 上浦村 青江村 津組村

大分郡ノ内

戸次村 吉野村

東國東郡ノ内 竹田津村 上伊美村

西國東郡ノ内 西眞玉村 上眞玉村 中眞玉村 白野村 三浦村 卯村 三重村  
宮佐郡ノ内 横山村 豊川村

宮崎縣

西臼杵郡ノ内

高千穂村 上野村 岩戸村 三ヶ所村 田原村  
兒湯郡ノ内

下穂北村 都於郡村 上穂北村

東諸縣郡ノ内

高岡村 穆佐村 倉岡村 木脇村 本庄村 八代村  
宮崎郡ノ内 生目村 瓜生野村

鹿兒島縣

鹿兒島郡

日置郡

川邊郡

揖宿郡

大島郡

出水郡ノ内



- 阿久根村 野田村 高尾野村 上出水村 大川内村 中出水村 下出水村
- 薩摩郡ノ内
- 隈之城村 永利村 入來村 高江村 平佐村 樋脇村 下東鄉村 上東鄉村 東水引村
- 西水引村 高城村 山崎村 宮之城村 鶴田村 大村 佐志村 永野村 黒木村 藪牟田村
- 始良郡ノ内
- 加治木村 重富村 蒲生村 山田村 帖佐村 西巖山村 東巖山村 福山村 敷根村
- 國分村 西國分村 東國分村 清水村
- 贈嶽郡ノ内
- 大崎村 東志布志村 西志布志村
- 肝屬郡ノ内
- 花岡村 新城村 鹿尾村 始良村 大始良村 高山村 西串良村 東串良村 垂水村
- 牛根村 佐多村 大根占村 小根占村 田代村
- 熊毛郡ノ内
- 北種子村 中種子村 南種子村
- 沖繩縣
- 那覇區
- 首里區

島尻區

- 中頭郡
- 國頭郡
- 八重山郡

葉煙草專賣法ハ明治二十九年制定以來已ニ明治三十二年一度之カ改正ヲ施セリト雖モ爾來同法實施ノ狀況ニ微スレハ未タ之レニ依リテ完全ナル發達ヲ期シ能ハサルヲ以テ更ニ其改正案審議中恰モ第十五議會ニ於テ衆議院ヨリ提出シタル本法中一部改正案ハ政府ノ提出セントスル改正ノ主タル目的ヲ達スルモノト認メタルヲ以テ之レニ同意ヲ表セリ今同法改正案ノ要點ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 一 耕作ハ申告制ナリシヲ許可制トシ耕作ノ方法及手續ハ政府ノ定ムル所ニ依ラシム
- 二 政府ハ收穫前ニ於テ葉煙草ノ數量ヲ査定シ正當ノ事由ナクシテ納付不足アルトキハ相當ノ金額ヲ納付セシム
- 三 葉煙草ノ納付期日ヲ指定シ又ハ運送ノ場所通路時間及方法ヲ制限ス
- 四 輸出葉煙草ハ政府在庫品ヲ特定價格ニ依リ輸出者ニ賣渡ス
- 五 製造免許料ノ標準ハ營業場ナリシヲ製造場ニ改ム
- 六 煙草製造業者ニ組合ヲ設ケシム

右葉煙草專賣法改正法律案ハ議會ノ協賛ヲ經テ明治三十四年四月法律第二十四號ヲ以テ公布セラレタリ即左ノ如シ



法律第二十四號 (明治三十四年四月二十八日)

葉煙草專賣法中左ノ通改正ス

第五條中葉煙草耕作地ノ區域ノ下ニ耕作段別及葉煙草ノ種類ヲ加フ

第六條 葉煙草ヲ耕作セムトスル者ハ毎年煙草苗床ノ位置及坪數、煙草耕作地ノ位置及段別、煙草ノ種類本數、乾燥場及貯藏場ヲ定メ政府ニ申請シ許可ヲ受クヘシ若之ヲ變更シ又ハ耕作ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ

第六條ノ次ニ左ノ四條ヲ加フ

第六條ノ二 葉煙草耕作者ハ政府ノ定ムル方法及手續ニ依リ耕作ヲ完成スルノ義務ヲ負フ

第六條ノ三 政府ハ收穫前ニ於テ葉煙草ノ收穫量目又ハ葉數ヲ査定ス

前項査定ノ場合ニ於テハ煙草耕作者ハ之ニ立會フヘシ若立會ハサルトキハ其査定ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第六條ノ四 葉煙草耕作者前條ノ量目又ハ葉數ノ査定ニ不服ナルトキハ即時異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

異議ノ申立アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ二人以上ノ鑑定人ヲ選定シ其意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

異議申立人ノ主張ニ係ル葉煙草ノ量目又ハ葉數ト前項決定額トノ差カ前條ノ査定額ト前項決定額トノ差ヨリ大ナルトキハ鑑定ニ關スル費用ハ其ノ申立人ノ負擔トス

第六條ノ五 葉煙草耕作者正當ノ事由ナクシテ政府ノ査定若ハ決定シタル量目又ハ葉數以上

ノ葉煙草ヲ納付セサルトキハ政府ハ其ノ不足額ニ對シ其ノ年ニ於ケル近傍類似煙草耕作地ノ葉煙草生産額及之ニ對スル賠償價格ニ相當スル金額ヲ納付セシムルコトヲ得

第十條 葉煙草耕作者ハ政府ノ指定シタル期日ニ其ノ葉煙草ヲ政府ニ納付スヘシ

第十一條ノ二 葉煙草ヲ耕作スル者ハ其ノ耕作シタル葉煙草ヲ耕作地乾燥場貯藏場又ハ收納官署ノ外他ニ運送スルコトヲ得ス

政府ハ必要ト認ムルトキハ葉煙草運送ノ通路及時間ヲ指定スルコトヲ得

第十一條ノ三 葉煙草ハ相當ノ包裝ヲ爲シ且政府ノ指定スル方法ニ依リ一定ノ目標ヲ附スルニ非サレハ之ヲ運送スルコトヲ得ス

第十二條ニ左ノ一項ヲ加フ

政府ハ特ニ定メタル價格ヲ以テ葉煙草輸出者ニ輸出葉煙草ヲ賣渡スコトヲ得

第十九條ノ五第一號中營業場一箇所毎ニ「ラ」製造場一箇所毎ニ「ニ」改ム

第十九條ノ五ニ左ノ一項ヲ加フ

政府ハ取締上必要ト認ムルトキハ煙草製造又ハ葉煙草專賣ノ營業ヲ免許セサルコトヲ得

第十九條ノ八ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十九條ノ九 煙草製造ヲ業トスル者ハ他人ノ煙草ヲ製造スルコトヲ得ス(追加)  
煙草製造ヲ業トスル者ハ製造場外ニ於テ煙草製造ヲ爲スコトヲ得ス但シ紙卷煙草ノ貨卷ヲ爲サシムルハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 第一項ヲ左ノ如ク改ム



葉煙草耕作者ニ非スシテ葉煙草ヲ耕作シ若ハ煙草苗ヲ育成シタルトキ又ハ煙草耕作者ニシテ許可ヲ受ケサル土地ニ葉煙草ヲ耕作シ若ハ煙草苗ヲ育成シ又ハ許可ヲ受ケサル種類ノ葉煙草ヲ耕作シ又ハ許可ヲ受ケサル場所ニ葉煙草ヲ乾燥シ若ハ貯藏シタルトキハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草又ハ煙草苗ハ之ヲ沒收ス

第二十一條ノ二中「業ト」ヲ「爲」ニ改ム

第二十二條 葉煙草耕作者他人ノ葉煙草ヲ貯藏シ又ハ葉煙草耕作者届出ヲ爲サス他人ノ葉煙草ヲ貯藏シタル時ハ參圓以上參拾圓以下ノ罰金ニ處シ其犯罪ニ依ル葉煙草ハ之ヲ沒收ス 權利者ノ不明ナル葉煙草ヲ運送スル者アルトキハ政府ハ其ノ葉煙草ヲ無償ニテ收納スルコトヲ得

第二十二條ノ次ニ左ノ四條ヲ加フ

第二十二條ノ二 葉煙草耕作者正當ノ事由ナクシテ政府ノ指定シタル納付期日ニ葉煙草ヲ納付セサルトキハ參圓以上參拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十二條ノ三 第十一條ノ二第一項及第十一條ノ三ニ違反シタル者ハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ハ之ヲ沒收ス

政府ノ指定シタル通路及時間外ニ葉煙草ヲ運送シタル者ノ罰前項ニ同シ

第二十二條ノ四 第十九條ノ九ニ違反シタル者ハ貳拾圓以上貳百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル製造煙草及葉煙草ハ之ヲ沒收ス

第二十二條ノ五 葉煙草耕作者煙草製造ヲ業トスル者又ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者本法又ハ

本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ政府ハ耕作又ハ營業ノ許可ヲ取消シ又ハ三箇年以内ニ於テ政府ノ指定シタル期間之ヲ許可セサルコトヲ得

第二十八條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ事

第二十八條ノ二 煙草製造ヲ業トスル者ハ組合ヲ設クヘシ組合ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ

第三十五條 本法施行前既ニ届出ヲ爲シ現ニ葉煙草ヲ耕作スル者ハ本法ニ依リ葉煙草耕作ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

第三十六條 煙草製造ヲ業トスル者ニシテ數個ノ製造場ヲ有スルトキハ一箇所以外ノ製造場ニ對シテハ本法施行ノ日ヨリ一箇月以内ニ本法ニ定ムル免許料ヲ納ムコトヲ要ス

右法律第二十四號葉煙草專賣法改正ニ伴ヒ從來ノ葉煙草專賣法施行細則ヲ改正スルノ必要アリ然ルニ葉煙草專賣法ハ右法律第二十四號ノ爲メ多大ノ變更ヲ生シタルヲ以テ其施行細則ハ全部ノ改正ヲ加フルノ必要ヲ生シタルヲ以テ明治三十四年四月大藏省令第四號ヲ以テ左ノ如ク之ヲ公布セリ

大藏省令第四號 (明治三十四年四月二十二日)

葉煙草專賣法施行細則左ノ通相定ム

葉煙草專賣法施行細則

第一條 葉煙草ヲ耕作セントスル者ハ專賣局長又ハ專賣支局長ノ定ムル期限内ニ第一號書式



ノ申請書ヲ專賣局又ハ專賣支局ニ差出シ許可ヲ受クヘシ

前項耕作ノ許可ヲ得タル者ニハ第二號書式ノ許可證ヲ交付スヘシ

第二條 專賣局長又ハ專賣支局長ハ左ノ順序ニ依リ葉煙草ノ耕作ヲ許可スヘシ

一 前年ニ於テ葉煙草ノ耕作乾燥調理包裝品質等他ノ模範トナルヘキモノト認ムル者

二 前年迄葉煙草ノ耕作ヲ繼續シタル者

三 本年新規耕作ヲ申請セル者

第三條 專賣局長又ハ專賣支局長ハ耕作許可申請ニ係ル耕作段別カ申請者ノ資力及其ノ耕作

上ノ設備ニ比シテ適當ト認ムルトキハ其ノ段別ヲ減少シテ許可スルコトアルヘシ

第四條 專賣局長又ハ專賣支局長ハ左ノ各號ニ該當スルモノニハ葉煙草耕作ヲ許可セサルコ

トアルヘシ

一 葉煙草ニ關スル法律命令ニ違反シタルモノ

二 葉煙草耕作ノ成績不良ナリシモノ

三 葉煙草ノ耕作ニ不適當ト認ムルモノ

四 葉煙草ノ耕作取締上不便ト認ムルモノ

五 耕作段別五畝步未滿ノモノ

第五條 葉煙草耕作者苗床ノ位置坪數耕作スヘキ土地段別煙草種類本數乾燥及貯藏場ヲ變更

増減シ又ハ耕作ヲ廢セムトスルトキハ第一號書式ニ準シ專賣局又ハ專賣支局ニ申請シ許可

ヲ受クヘシ

第六條 葉煙草耕作者其ノ耕作段別ノ減少又ハ耕作廢止ノ許可ヲ受ケタルトキハ其ノ現存スル葉煙草ハ當該官吏ノ承認ヲ受ケ相當ノ處置ヲ爲スヘシ葉煙草專賣法第二十二條ノ五ニ依リ耕作ノ許可ヲ取消サレタルトキ亦同シ

第七條 葉煙草耕作者其許可證ヲ亡失シタルトキハ直ニ事由ヲ具シ之カ再渡ヲ專賣局又ハ專賣支局ニ申請スヘシ

第八條 左ニ掲クル事項ハ專賣局長又ハ專賣支局長ノ指示スル所ニ從フヘシ

一 苗床ノ設備及其ノ管理

二 播種期

三 移植期

四 一坪當植付株數並畦間及株間ノ距離

五 腋芽ノ摘播

六 心止期

七 其ノ他ノ耕作方法

八 葉分ノ撰別

九 乾燥方法

十 聯繩ノ長サ

十一 一繩ノ吊垂葉數

十二 一坪ノ吊垂葉數



- 十三 葉袋ノ方法
- 十四 一把ノ葉數
- 十五 一包ノ量目又ハ把數
- 十六 結束材料
- 十七 包裝ノ方法
- 第九條 煙草ノ移植ヲ了シタルトキハ煙草苗ハ直ニ廢棄スヘシ但シ移植後三週間ヲ限リ豫備苗トシテ必要ノ本數ヲ保存スルコトヲ得
- 第十條 葉煙草耕作者ハ其ノ耕作地一箇所毎ニ字地番及耕作者ノ氏名ヲ記シタル目標ヲ設クヘシ
- 第十一條 葉煙草專賣法第六條ノ三ニ依リ葉煙草ノ量目又ハ葉數ヲ査定セムトスルトキハ專賣局長又ハ專賣支局長ハ其ノ期日ヲ定メ豫メ之ヲ公示スヘシ
- 第十二條 葉煙草耕作者當該官吏ノ査定シタル量目又ハ葉數ニ對シ異議ノ申立ヲ爲サムトスルトキハ即時其ノ不服ノ要領ヲ當該官吏ニ申出ヘシ
- 第十三條 葉煙草專賣法第六條ノ四第二項ノ鑑定人ハ專賣局長又ハ專賣支局長ニ於テ少クトモ其ノ半數ヲ專賣局員以外ヨリ選定スルモノトス
- 第十四條 專賣局長又ハ專賣支局長葉煙草專賣法第六條ノ四第二項ノ決定ヲ爲シタルトキハ之ヲ異議申立人ニ通知スヘシ
- 第十五條 葉煙草耕作者災害其ノ他ノ事故ニ因リ其ノ耕作葉煙草ニ損害ヲ受ケタルトキハ直

- ニ其ノ事由ヲ具シ專賣局又ハ專賣支局ニ届出ヘシ
- 第十六條 葉煙草耕作者種子採取ノ爲メ母木ヲ保存セムトスルトキハ其ノ種類本數ヲ定メ豫メ當該官吏ヘ申出テ承認ヲ受クヘシ
- 第十七條 葉煙草耕作者葉煙草ノ收穫ヲ終リタルトキハ直ニ其ノ幹根ヲ拔除スヘシ
- 第十八條 枯葉不熟葉蝕損葉立枯等アルトキハ當該官吏ニ申出テ其ノ指揮ヲ受ケ相當ノ處置ヲ爲スヘシ
- 第十九條 葉煙草ハ其ノ種類乾燥法葉分品質葉莖ニ依リ區分調理スヘシ
- 第二十條 前條ノ葉分ハ總テ左ノ區分ニ據ルヘシ
  - 一 土葉
  - 二 中葉
  - 三 本葉
  - 四 天葉
- 前項ノ葉分ニ據リ難キモノハ雜葉トスヘシ
- 第二十一條 乾燥調理ノ際生シタル葉屑等ニシテ納付ニ堪ヘサルモノハ當該官吏ノ承認ヲ經テ之ヲ處分スヘシ
- 第二十二條 葉煙草納付ノ場所及期日ハ專賣局長又ハ專賣支局長之ヲ定メ豫メ公示スヘシ
- 第二十三條 葉煙草耕作者納付ノ爲メ葉煙草ヲ運送スルトキハ耕作許可證ヲ携帶スヘシ
- 前項ノ許可證ハ納付ノ際之ヲ專賣局又ハ專賣支局ニ提出シ葉煙草納付量目賠償金等ノ記入



ヲ受クヘシ

第二十四條 葉煙草耕作者ノ納付セムトスル葉煙草ニシテ乾燥、調理、包裝ノ不完全ナルモノハ、耕作者ヲシテ更ニ相當ノ處理ヲ爲サシムヘシ

第二十五條 葉煙草耕作者以外ノ者葉煙草ヲ運送スルトキハ外部ノ賭易キ箇所ニ葉煙草ト記シタル布片ヲ付著スヘシ

第二十六條 他人ノ葉煙草ヲ貯藏セムトスル者ハ葉煙草所有者ト連署シ其ノ都度種類、包數、量目及貯藏場ヲ專賣局又ハ專賣支局ニ届出ヘシ其ノ貯藏場ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第二十七條 葉煙草製造ヲ業トセムトスル者ハ其ノ製造場毎ニ第三號書式ノ申請書ニ製造場貯藏場、販賣場ノ圖面及製造器械ノ種類個數ノ調書ヲ添ヘ專賣局又ハ專賣支局ニ差出シ免許ヲ受クヘシ

葉煙草賣買ヲ業トセムトスル者ハ其ノ店舗毎ニ第三號書式ニ準シタル申請書ニ營業場、貯藏場ノ圖面ヲ添ヘ專賣局又ハ專賣支局ニ差出シ免許ヲ受クヘシ

前二項ノ場合ニ於テ前年ニ引繼キ免許ヲ申請セムトスル者ハ異動アルトキノ場合ノ外附屬書類ノ添付ヲ要セス

專賣局又ハ專賣支局ニ於テ第一項又ハ第二項ノ申請ヲ許可シタルトキハ第四號書式ノ免許證ヲ交付スヘシ

第二十八條 葉煙草製造業者又ハ葉煙草賣買業者其ノ製造場又ハ營業場ヲ移轉セムトスルトキハ第三號書式ニ準シタル申請書ニ免許證ヲ添ヘ專賣局又ハ專賣支局ニ差出シ許可ヲ受ク

ヘシ

第二十九條 煙草製造業者又ハ葉煙草賣買業者其ノ業ヲ廢止シ又ハ其ノ製造場、營業場ヲ減セムトスルトキハ免許證ヲ添ヘ專賣局又ハ專賣支局ニ届出ヘシ

第三十條 煙草製造業者又ハ葉煙草賣買業者ノ帳簿ニハ少クモ左ノ事項ヲ記載スヘシ  
煙草製造業者

一 葉煙草受拂ニ關シテハ

受拂ノ月日、包裝番號、種類、葉分量目及買入代金、買入先

一 煙草製造ニ關シテハ

製造ノ月日、卷葉量目、製造箇數（本數別又ハ總本數又ハ總量目）

一 製造煙草賣渡ニ關シテハ

賣渡ノ月日、箇數（本數別又ハ總本數又ハ總量目）、代金、賣渡先

葉煙草賣買業者

一 葉煙草買入ニ關シテハ

買入ノ月日、包裝番號、種類、葉分量目、代金、買入先

一 葉煙草改装ニ關シテハ

改装ノ月日、元包裝番號、元量目、改装番號、改装量目

一 葉煙草賣渡ニ關シテハ

賣渡ノ月日、包裝番號、量目、代金、賣渡先



第三十一條 葉煙草ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ直ニ代金ヲ納付シ又ハ延納ヲ許可セラレタル場合ニ於テハ擔保物ヲ提供シ現品ヲ引取ルヘシ若賣渡契約ノ日ヨリ三日以内ニ現品ヲ引取ラサルトキハ相當ノ保管料ヲ徴收ス但シ契約ヲ解除シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 葉煙草耕作者輸出ニ供スル葉煙草ヲ他ニ賣渡サムトスルトキハ其ノ種類葉分包數量目ヲ記載シタル申請書ヲ專賣局又ハ專賣支局ニ差出シ認許ヲ受クヘシ

第三十三條 專賣局長又ハ專賣支局長ニ於テ輸出葉煙草ヲ保管シタルトキハ第五號書式管證ヲ交付スヘシ

第三十四條 專賣局又ハ專賣支局ニ保管シタル輸出葉煙草ニ調理ヲ加ヘムトスルトキハ保管證ヲ提出シ其ノ旨專賣局又ハ專賣支局ニ申出テ承認ヲ受クヘシ

第三十五條 前項葉煙草ノ調理ニ依リ其ノ包數量目ニ異動ヲ生シタルトキハ更ニ保管證ヲ交付スヘシ  
第三十五條 前條調理ノ爲メ生シタル選屑葉莖等ハ當該官吏ノ指揮ニ依リ相當處分ヲ爲スヘシ

第三十六條 保管葉煙草ノ讓渡ヲ爲ストキハ其ノ保管證ニ裏書ヲ爲スヘシ

前項ノ保管葉煙草ヲ讓受ケタル者ハ其ノ旨專賣局又ハ專賣支局ニ申出ヘシ

第三十七條 保管證ノ分割又ハ書換ヲ要スルトキハ專賣局又ハ專賣支局ニ申出ヘシ

第三十八條 保管證ヲ亡失シタル者專賣局又ハ專賣支局ニ於テ相當ト認ムル資産ヲ有スル二名以上ノ保證人ヲ定メ損害ノ保證ヲ爲ストキハ保管葉煙草ノ交付ヲ受クルコトヲ得

第三十九條 保管葉煙草ヲ輸出セムトスルトキハ其ノ輸出港ヲ指定シテ專賣局又ハ專賣支局

ニ申出テ回送ノ請求ヲ爲スヘシ

前項ノ葉煙草輸出港ニ到達シタルトキハ葉煙草專賣法第十七條ノ費用ヲ納付シテ保管證ヲ差出シ葉煙草ノ交付ヲ受クヘシ

附 則

第四十條 本省令ハ明治三十四年四月二十九日ヨリ之ヲ施行ス

第四十一條 明治三十年大藏省令第六號葉煙草專賣法施行細則ハ本省令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

(書式略)

葉煙草專賣法第六條ノ規定ニ依レハ葉煙草收穫前ニ政府ノ爲セル量目又ハ葉數ノ査定ニ不服アル者ハ即時異議ノ申立ヲ爲スヲ得ヘク此場合ニ於テハ二人以上ノ鑑定人ヲ選定シ其意見ヲ徴シテ政府之ヲ決定ス而シテ其申立人ニアル場合ニハ右鑑定ニ關スル費用ハ其申立人ノ負擔トナスコト、ナレリ是ニ於テ右選定鑑定人ノ手當旅費支給方及異議申立人ノ負擔費用徴收方ヲ定ムルノ必要アルヲ以テ明治三十四年六月大藏省令第十一號ヲ以テ左ノ如ク之ヲ規定セリ

大藏省令第十一號 (明治三十四年六月十九日)

葉煙草專賣法第六條ノ四第二項ニ依リ選定スル鑑定人ノ手當旅費支給方及同條第三項ニ依リ異議申立人ノ負擔スヘキ費用徴收方法等左ノ通相定ム

第一條 鑑定人鑑定ニ從事シ若ハ鑑定用務ノ爲メ旅行スルトキハ其日數ニ應シ手當トシテ一日金貳圓以内ヲ支給ス



第二條 鑑定人公務ニ依リ旅行スルトキハ前條手當ノ外旅費トシテ別表定ムル所ニ依リ汽車賃、船賃、車馬賃ヲ支給ス

第三條 旅費支給ノ方法ハ内國旅費規則ニ準據ス但同規則第九條ハ此限ニアラス

第四條 前各條ノ規定ハ之レヲ專賣局員ヨリ選定スル鑑定人ニ適用セス

第五條 葉煙草專賣法第六條ノ四第三項ニ依リ異議申立人ノ負擔スヘキ費用ハ鑑定人ノ手當旅費及直接鑑定ニ要スル用紙代、郵便料、人夫賃トス

旅費額

汽車賃一哩ニ付	船賃一海里ニ付	車馬賃一里ニ付
四錢	四錢	拾五錢

同年六月大藏省訓令第二十三號ヲ以テ葉煙草出納順序中改正ヲ施シ同年七月一日ヨリ之ヲ施行セリ其改正左ノ如シ

大藏省訓令第二十三號 (明治三十四年六月二十四日)

葉煙草出納順序中左ノ通改正シ明治三十四年七月一日ヨリ施行ス

第二條 專賣局及專賣支局ニ主任葉煙草會計官吏及分任葉煙草會計官吏ヲ置キ倉庫主任ノ官吏ヲ以テ之ニ充ツ但分任葉煙草會計官吏ハ各出張所ニ於ケル事務ヲ分掌スヘシ

第五條 中包數ノ下 (包トナサ、ル) ヲ削ル

第九條 ノ二 分任葉煙草會計官吏ハ物品出納計算書ニ準シ毎年度間ニ執行シタル葉煙草出納

報告書ヲ調製シ證書類ヲ添ヘ年度經過後一箇月以内ニ之ヲ主任葉煙草會計官吏ニ差出スヘシ

(書式略)

更ニ同月大藏省訓令第二十四號ヲ以テ葉煙草收納賣渡及保管ニ關スル取扱方心得中改正ヲ加ヘ左ノ如ク改メタリ

大藏省訓令第二十四號 (明治三十四年六月二十七日)

明治三十年十月大藏省訓令第六十三號葉煙草收納賣渡及保管ニ關スル取扱方心得中左ノ通改正ス

第一條 中第一號書式以下削除シ葉煙草耕作許可證ニ書式ノ如ク領收ノ記入ヲ爲スヘシノ二十四字ヲ加フ

第七條 中調査秤量シテノ下第二號書式ノ一ノ六字ヲ削除ス

第十七條 明治三十年勅令第三百七十五號ニ依リ擔保トシテ提供セシムヘキモノ左ノ如シ

- 一 國債證券
- 二 地方債證券
- 三 政府ノ保護又ハ監視ヲ受クル株式會社ノ株券若ハ債券
- 四 現金

前項第一號乃至第三號ノ價格ハ市場ニ於ケル前月中ノ平均價格ニ依ルヘシ  
第十八條 第十九條 第二十條 削除ス